

令和4年度 事業実施報告書

【期間 : 令和4年4月1日～令和5年3月31日】

社会福祉法人 志摩市社会福祉協議会

【目次】

経過報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

各課の取り組み

I. 法人運営事業

○総務課

1. 法人運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
2. 共同募金運動・・・・・・・・・・・・・・・・ P 15
3. 放課後児童クラブ事業（志摩市受託事業）・・・・・・・・ P 17
4. 地域包括支援センター事業（志摩市受託事業）・・・・・・・・ P 18

II. 地域福祉活動推進事業

○地域支援課

1. 地域福祉活動推進事業・・・・・・・・ P 21
2. 共同募金配分金事業・・・・・・・・ P 35
3. 会員サービス事業・・・・・・・・ P 42
4. 生活福祉資金貸付事業（三重県社会福祉協議会受託事業）・・・ P 44
5. 日常生活自立支援事業（三重県社会福祉協議会受託事業）・・・ P 47
6. 生活困窮者自立支援事業（志摩市受託事業）・・・・・・・・ P 49

III. 在宅福祉サービス事業

○居宅介護支援課

1. 居宅介護支援事業・・・・・・・・ P 53

○在宅サービス課

1. 訪問介護事業・・・・・・・・ P 57
2. 訪問入浴介護事業・・・・・・・・ P 59
3. 福祉用具貸与事業・・・・・・・・ P 61
4. 訪問看護事業・・・・・・・・ P 62
5. 通所介護事業・・・・・・・・ P 64
6. 介護予防事業・・・・・・・・ P 66

○障がい福祉課

1. 障がい者生活介護センター事業・・・・・・・・ P 68
2. 放課後等デイサービスセンター事業・・・・・・・・ P 71
3. 就労支援事業・・・・・・・・ P 73

経過報告

令和4年度の経営状況は、阿児通所介護事業所の廃止や新型コロナウイルス感染症の影響等により大変厳しい結果となりました。サービス活動収益は、令和2年度の105,260万円余りから2年連続の減益となり前年比2.75%減の101,550万円余りとなりました。サービス活動収益が減益となった主要因は、阿児通所介護事業所を令和3年度末にて廃止したことによるものです。令和3年度の阿児通所介護事業所のサービス活動収益は3,980万円余りでしたが、安定した経営を継続させいくことが困難であることなどから事業所を廃止したことにより、収益に大きな影響がでています。また、新型コロナウイルス感染症にも影響を受けました。浜島、大王、磯部の通所介護事業所においては、事業所内において職員及びお客様に感染が拡大したことによりそれぞれの事業所において6～7日間、休業いたしました。感染の拡大によるサービスの利用控えなども重なり、前年比472人の利用者減、200万円余りの減益となりました。サービス活動費用は、前年比0.18%、180万円余り増加しました。サービス活動費用が増加した主要因は人件費で、前年比580万円余り増加しております。人件費が増加した主要因は、退職手当制度の対象職員を拡大したことによるもので、増加した費用は1,640万円余りです。収益が減り費用が増えた結果、令和4年度のもうけを示す当期活動増減差額は、前年比82.82%減（約-3,140万円）の650万円余りの決算となりました。令和4年度の結果をしっかりと受け止め、令和5年度の健全経営に向けた取り組みに繋げていかなければなりません。

総務課においては、個人情報保護法、育児・介護休業法、三重県最低賃金の改正などにより、該当する諸規程を整理しました。文書の電子化やペーパーレス化、体系化された研修計画や中期的な採用計画、財政計画などの取り組むべき課題は、総務課の職員が退職したことも影響し、整理することができませんでした。引き続き課題に向き合える環境を整え、検討をすすめていきます。

地域支援課は、第4次地域福祉（活動）計画がスタートし、地域支援コーディネーターがふくし座談会の開催に向けて自治会長との打ち合わせをすすめましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり19地区の開催に留まりました。また、令和4年度より受託した重層的支援体制整備事業は、軌道にのせるべく努力してきました。加齢、介護、障がい、貧困、ひきこもりなど複合的な課題を抱えている人の相談を受けとめ、多機関が協働した相談支援調整会議を開催し、支援方針などについて整理し、課題解決に向けた支援を行いました。

居宅介護支援課が所管する大王、磯部の居宅介護支援事業所は、介護プラン、予防プラン共に令和3年度と比較し作成件数が減少いたしました。特に大王事業所の減少が顕著となっており、大王・志摩地域の介護に関する相談が他の事業所に流れているものと考えられます。その原因を分析し、対応を検討していかなければなりません。

在宅サービス課では、阿児通所介護事業所の廃止や新型コロナウイルス感染症の影響があり、浜島、大王、磯部通所介護事業の当期活動増減差額は、前年比で1,910万円減少しました。風評被害が懸念された磯部通所介護事業所は、クラスター発生前の利用状況と比べて徐々に回復してはきましたが、前年比302人の減少となりました。訪問系のサービスでは、柱となる訪問介護事業について新型コロナウイルス感染症の影響によりサービス提供時間が前年比で減少しましたが、職員体制を変更したことなどにより1,790万円余りの利益を確保することができましたが、訪問看護事業、訪問入浴事業については赤字決算となりました。福祉用具貸与事業については、令和4年9月末日をもってその役割を終え、事業を廃止しました。

障がい福祉課が所管する事業では、障がい者生活介護センターかがやきと障がい者就労支援事業所あいのそのの2事業所は利益を確保できましたが、その他の事業所は赤字決算となりました。障がい福祉課が所管する事業においても新型コロナウイルス感染症による利用控えなど影響がでているものと分析しています。

中区分において掲げた「目標」に対して、下記の5段階の評価基準で事業評価を記載しました。

*中区分の例：P3 総務課 (1) 法人運営

記号	評価基準
A	・計画を大きく上回った
B	・概ね計画どおり
C	・十分ではなく、努力を要する
D	・計画を大きく下回った
E	・未着手、準備中、評価不能



各課の取り組み

I. 法人運営事業

○総務課（事業方針）

本会の運営基盤及び健全経営を目指した管理体制の強化を図るとともに、単年度における収支が均衡となる経営改善を重点として、次の事業に取り組みます。

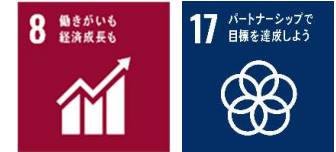
1. 法人運営事業・・・・・・・・支出予算 94,449千円

(1) 経営基盤の見直し及び強化

■目標

- ①経営組織の管理体制及び財務規律を強化し、事業運営の透明性を向上するとともに、効率的かつ適切な業務執行を行います。
- ②組織機構の再編や事業内容及び実施体制などを見直し、収支の均衡が図れるよう身の丈にあった経営改善に取り組みます。

■行動計画の進捗状況



行動計画	進捗率	実施状況		
①-1 定例理事会を開催します。（年3回） ①-3 理事会、評議員会を必要に応じて柔軟に開催します。 ・参考：令和3年度 理事会 9回開催 評議員会 3回開催	100%	①-1 下表のとおり理事会を開催しました。（定例理事会：3回、臨時理事会：1回、書面理事会：4回）		
		開催日	決議及び協議事項（○印は協議事項）	出席者
		[第1回] 6月9日	1. 経理規程の一部変更について 2. 令和3年度事業実施報告について 3. 令和3年度社会福祉事業会計決算について 4. 事務局規程の一部変更について 5. 処務規程の一部変更について 6. 公印管理規程の一部変更について 7. 職員給与規程の一部変更について 8. 安全衛生管理規程の一部変更について 9. 職員旅費規程の一部変更について 10. 個人情報保護規程の一部変更について 11. 虐待防止対策実施要綱の一部変更について 12. 評議員候補者（補欠）の推薦について 13. 令和4年度第1回評議員会の招集について ① 社協ふくし用具の「あい」の事業展開について	理事9人 監事2人

		[第2回書面] 8月9日	1. 評議員候補者（補欠）の推薦について 2. 理事候補者（補欠）の推薦について 3. 令和4年度第2回評議員会（書面による）の招集について	理事9人 書面協議
		[第3回] 9月22日	1. 育児・介護休業等に関する規程の制定について 2. 職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定について 3. 職員の懲戒処分等の手続及び公表に関する規程の一部変更について 4. 職員就業規程の一部変更について 5. 嘱託職員就業規程の一部変更について 6. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 7. 社協ふくし用具の「あい」運営規程の廃止について ① 社会福祉大会における被表彰者及び被感謝者の審査選考について	理事6人 監事2人
		[第4回書面] 11月21日	1. 令和4年度第3回評議員会の招集について	理事9人 書面協議
		[第5回] 12月21日	① 自治会地域福祉活動補助事業について	理事9人 監事2人
		[第6回書面] 2月9日	1. 評議員候補者（補欠）の推薦について 2. 理事候補者（補欠）の推薦について 3. 令和4年度第4回評議員会（書面による）の招集について	理事8人 書面協議
		[第7回書面] 2月28日	1. 令和4年度第5回評議員会の招集について	理事9人 書面協議
		[第8回] 3月24日	1. 令和4年度資金収支第1次補正予算について 2. 在宅サービス課関連の事業所運営規程の一部変更について 3. 障がい福祉課関連の事業所運営規程の一部変更について 4. 福祉基金及び積立金管理規程の一部変更について 5. 公益通報者保護に関する規程の制定について 6. 福祉委員会設置・運営要綱の一部変更について 7. 福祉委員会活動助成金交付要綱の一部変更について 8. 役員等賠償責任保険の契約について 9. 令和5年度事業計画について 10. 令和5年度資金収支予算について 11. 重要な職員（事務局長）の選任について 12. 理事候補者の推薦について	理事9人 監事2人
		①-2 定例評議員会を開催します。（年3回）	100%	①-2 下表のとおり評議員会を開催しました。（定例評議員会：3回、書面評議員会：2回）

①-4 監事監査を実施します。(年2回)	100%	開催日	決議及び協議事項	出席者
		[第1回] 6月24日	1. 令和3年度事業実施報告について 2. 令和3年度社会福祉事業会計決算について	評議員10人 会長1人 副会長1人 監事2人
		[第2回書面] 8月19日	1. 理事(補欠)の選任について	評議員12人 書面協議
		[第3回] 12月21日	第3回の理事会事項等について報告を行いました。	評議員12人 会長1人 副会長2人 監事2人
		[第4回書面] 2月17日	1. 理事(補欠)の選任について	評議員11人 書面協議
		[第5回] 3月24日	1. 令和4年度資金収支第1次補正予算について 2. 令和5年度事業計画について 3. 令和5年度資金収支予算について 4. 理事(補欠)の選任について	評議員12人 会長1人 副会長2人
	①-4 下表のとおり監事監査を実施しました。			
	100%	開催日	内容	出席者
		[第1回] 5月27日	令和4年度決算監査(下記書類を中心に監査) ①令和3年度事業実施報告書 ②令和3年度決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書など)	監事2人
		[第2回] 11月25日	令和4年度上半期決算監査(下記書類を中心に監査) ①令和4年度上半期事業実施報告書 ②令和4年度上半期決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書など)	監事2人
①-5 内部監査を実施します。(年2回)	100%	①-5 内部監査を下記のとおり実施しました。		
		開催日	決議及び協議事項	出席者
		10月5日	法人内10カ所の事業所を対象に、「内部監査確認書類チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。	事務局長 総務課長
2月28日	監事と共に、法人内10カ所の事業所を対象に、「内部監査確認書類チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。	監事2人 事務局2人		

<p>①-6 国等の施策・制度に即し、各種規程・要綱を改正し、適正に管理します。</p>	<p>100%</p>	<p>①-6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人会計基準の一部改正（会計計算書類を補足する有用な情報を注記する）により、経理規程を改正しました。 ・機構改革（「部」の廃止）により、関係する規程を整理し、改正しました。 ・個人情報保護法の一部改正により、個人情報保護規程を改正しました。 ・育児・介護休業法の改正（出生時育児休業関係等）により、これまでの育児休業等に関する規程及び介護休業等に関する規程をそれぞれ廃止して、新たに育児・介護休業等に関する規程を制定しました。 ・労働施策総合推進法（パワーハラスメント関係）、男女雇用機会均等法（セクシャルハラスメント関係）及び育児・介護休業法（妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント関係）の改正に伴い、事業主が雇用管理上講ずべき措置等を定めるために職場におけるハラスメントの防止に関する規程を新たに制定しました。 ・三重県内の最低賃金が時間額にて933円に改定されたことに伴って、契約職員・パート職員就業規程を改正しました。 ・UMOU 災害支援プロジェクトに参加したことにより受領する寄付金は、災害支援に限定した財源とする必要があることから、福祉基金及び積立金管理規程を改正しました。 ・公益通報保護法の改正により、公益通報者保護に関する規程を新たに制定しました。 												
<p>①-7 その他（計画外）</p>	<p>100%</p>	<p>①-7 評議員の辞任に伴い、下表のとおり評議員を選任する評議員選任・解任委員会を開催しました。</p> <table border="1" data-bbox="728 893 2105 1165"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>決議事項</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[第1回] 6月14日</td> <td>1. 評議員（補欠）の選任について</td> <td>委員6人 会長1人</td> </tr> <tr> <td>[第2回] 8月23日</td> <td>1. 評議員（補欠）の選任について</td> <td>委員5人 会長1人</td> </tr> <tr> <td>[第3回] 2月24日</td> <td>1. 評議員（補欠）の選任について</td> <td>委員5人 会長1人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	決議事項	出席者	[第1回] 6月14日	1. 評議員（補欠）の選任について	委員6人 会長1人	[第2回] 8月23日	1. 評議員（補欠）の選任について	委員5人 会長1人	[第3回] 2月24日	1. 評議員（補欠）の選任について	委員5人 会長1人
開催日	決議事項	出席者												
[第1回] 6月14日	1. 評議員（補欠）の選任について	委員6人 会長1人												
[第2回] 8月23日	1. 評議員（補欠）の選任について	委員5人 会長1人												
[第3回] 2月24日	1. 評議員（補欠）の選任について	委員5人 会長1人												
<p>②-1 管理職会議を原則毎月1回開催し、運営状況及び方向性の確認と協議を行います。 定例会議：12回 臨時会議：3回</p>	<p>100%</p>	<p>②-1 原則、毎月第3水曜日を開催日とし、管理職会議を20回開催しました。主な協議内容は以下のとおりです。 「令和4年4月末日に正職員が退職することによる体制について」「令和5年度職員採用計画について」「令和3年度決算概要について」「志摩市社会福祉大会について」「中期発展強化指針事業計画書の総括について」「大王・志摩地域包括支援センターの受託について」「新型コロナウイルス感染症の検査対象基準について」「ふくしの魚屋の運営について」「福祉市場レインボー事業の運営について」「令和4年度人事評価の運用について」「最低賃金の改正による時給単価の改正について」「令和5年度の体制（組織</p>												

<p>②-2 文書事務の電子化、ペーパーレス化を推進します。</p>	<p>75%</p>	<p>②-2 文書事務の電子化、ペーパーレス化に向けて協議をして幾つかの提案を行いました。費用対効果が低いため令和4年度では見送りとなり、令和5年度に継続協議となりました。</p>
<p>②-3 既存システムの有効性と業務軽減状況について検証します。</p>	<p>75%</p>	<p>②-3 現状のシステムのうち、会計については法律の改正（電子帳簿保存法）に対応したシステムについてメーカーを招いて検証しましたが、費用対効果が低いと判断し、導入を見送りました。その他給料システムについては、勤怠システムの検証と合わせて整理を行う必要があると判断し、令和5年度に改めて検証を行う予定です。</p>
<p>②-4 車両やパソコン等の備品の使用状況の把握と保守管理を徹底します。</p>	<p>80%</p>	<p>②-4 車両については、現在の使用場所等の変更等、把握に努めました。パソコン等については、廃棄するパソコンなどについて整理を行いました。</p>
<p>②-5 各種リース物件等の契約と有効性について検証します。</p>	<p>75%</p>	<p>②-5 会計、給料システムのリースについては、その他のネットワーク環境等のシステムと一体的に管理する必要性について検証を行いました。また、ホームページのサーバーレンタルについて検証を行い、不必要なサーバーについて契約を終了しました。車両物件のリース状況については、既存の劣化した車両を廃車し、新たにリース車両を導入しました。</p>
<p>②-6 職員の給与等について検証し、職員給与及び退職手当の改正に着手します。</p>	<p>70%</p>	<p>②-6 退職手当については、令和4年4月から新たな制度で運用を開始しました。パート職員の基本給については、最低賃金の改訂に伴う改正を行いました。ただし、正職員等の給与等については、令和5年度に継続協議となりました。</p>
<p>②-7 最終年となる中期発展強化指針を総括し、財政計画を中心とした次期中期計画を立案します。</p>	<p>70%</p>	<p>②-7 平成30年度から令和4年度の計画期間に取り組んだ実績などについて総括いたしました。次期中期計画については、令和5年度中に立案することとしました。</p>

■評価

<p>目標の達成度</p> <p>評価 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会、評議員会では計画どおり開催し、令和3年度の事業報告及び決算、令和5年度の事業計画及び予算などを提案し、全議案が承認されました。 ・機構改革による部長制を廃止したことにより、意思決定のスピードを高めました。 ・出生時育児休業、ハラスメントへの対応など法律改正への対応はできましたが、ペーパーレス化や給与体系の検証など積み残した課題もありました。
---------------------------	--

(2) 広報活動

■目標

①本会の取り組みや地域の福祉活動、先駆的な取り組み事例について、各種広報媒体を最大限に活用し、より多くの市民に地域福祉への関心をもっていただき、参加や協力の輪が広がっていくことを目指します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 社協だよりを発行します。(年6回)	100%	①-1 広報紙「志摩市社協だより」を、次のとおり発行しました。 発行回数 / 計 6回発行 (5、7、9、11、1、3月の1日発行) A4版2色刷り (4ページ) / 約15,650部発行 (1回あたり)
①-2 ホームページにより、情報を発信します。	100%	①-2 ホームページの発信により、定期的に必要な情報を提供しました。
①-3 SNSにより、情報を発信します。	100%	①-3 地域支援課が実施する事業の予定や実施状況などを中心に、SNSによりタイムリーな情報発信に努めました。
①-4 志摩市社会福祉大会を開催します。	100%	①-4 多年にわたり地域福祉の向上に率先して、ご尽力、ご協力をいただいた方々の功績に敬意と感謝の意を表すことを目的とした志摩市社会福祉大会を開催しました。 開催日 / 令和4年11月11日 (金) 13:00~14:00 場所/阿児アリーナ 内容 / 顕彰 顕彰者数 / 社会福祉功労表彰 個人:9人 団体:2団体 社会福祉功労感謝 個人:3人 団体(法人):5団体

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「志摩市社協だより」は事業計画や予算、事業報告や決算など定例的な情報を発信する媒体として計画どおり奇数月に発行しました。 ・ホームページやSNSは、行事予定や実施状況などタイムリーな情報を発信する媒体として、随時、活用しました。 ・志摩市社会福祉大会は、予定どおり実施することが出来ました。ただ、コロナ禍とはいえ来場者の参加が少なかったことについて工夫と一考の必要性がありました。
評価	B		

(3) 職員定着に向けた取り組み

■目標

- ①次世代職員の育成と組織の活性化を目指し、人事評価制度の効果的な運用を目指します。
- ②業務に必要な基本姿勢や知識、技術を取得させるなど人材の育成に取り組みます。
- ③正職員・嘱託職員・契約職員・パート職員のバランスに注視し、法人の事業規模に応じた職員体制を整備します。
- ④職員の働き方を検証し、選ばれる職場づくりに努めることで、優秀な人材確保に繋がります。
- ⑤障がいのある人が働く職場環境づくりに取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 人事評価制度の運用について、目標設定、評価基準などこれまでの運用の課題を検証し、制度が成熟するよう改善に取り組みます。	60%	①-1 人事評価制度については、これまでの運用における課題を改善するため制度設計を変更しました。それに伴い令和4年度は、10月1日から3月31日の半年間の運用を行いました。令和5年度より、年度単位での運用を行う予定ですが、併せて職員アンケートの実施などさらなる精査に取り組みます。
①-2 人事評価の精度を高めるための研修を実施し、人事評価の効果的な運用につなげます。	60%	①-2 10月1日からの運用に向け準備を進めるなかで、管理職を対象とした説明会や検討会を開催し、理解を深めました。
②-1 新規採用職員、既存職員とも、三重県社協のキャリアパス対応生涯研修課程などを活用し、階層に応じた研修を順次、受講させていきます。	90%	②-1 キャリアパス対応生涯研修課程は部署内において周知し、該当する職員を参加させました。階層に応じた研修は概ね全員が受講したこともあり、階層に応じた新たな研修の在り方を令和5年度において継続して検証していきます。
②-2 持続可能な法人運営を目指し、事業に必要とされる資格取得を支援します。	80%	②-2 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員などの受験に必要な証明書の発行手続きなどについて支援しました。
②-3 階層毎に体系化された研修計画の作成に着手します。	40%	②-3 現状の各課における研修状況の把握に努めました。なお研修計画については、令和4年度は着手できませんでした。
③-1 中期的な職員採用計画の作成に着手します。	0%	③-1 新卒者を対象とした採用試験を実施して1人を採用しました。ただし、中期的な職員採用の計画については、令和4年度は着手できませんでした。

③-2 相互理解が進む人事異動により、職員の士気高揚に務めます。	80%	③-2 人事評価制度や異動希望調書を活用しながら管理職会議において体制を検討し、人事異動を行いました。
④-1 パートタイム・有期雇用労働法による正規雇用と非正規雇用の不合理な待遇差を解消するため、職員就業規程や給与規程等の関係諸規程を見直します。	100%	④-1 法律が求める不合理な待遇差は令和3年度において概ね整理し、退職手当制度は令和4年度から新たな運用を開始しました。
④-2 労働災害の低減や職場の安全衛生を推進します。	100%	④-2 毎月開催している安全衛生委員会において、発生した労働災害の状況を共有するとともにリスクアセスメントを行い、労働災害の低減に向けた取り組みを継続しました。
④-3 セクハラ・マタハラ・パワハラなどのハラスメント対策を強化します。	80%	<p>④-3 セクシャルハラスメント、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント及びパワーハラスメントの対策として、</p> <p>ア) 「職場におけるハラスメントの防止に関する規程」を新設して、事業主が雇用管理上講ずべき措置等を定めました。</p> <p>イ) 職場における各ハラスメント問題に対する労働者の関心と理解を深めることを目的として研修会を実施しました。</p> <p style="padding-left: 40px;">日 時 : 令和4年9月7日(水) 14:00~15:00</p> <p style="padding-left: 40px;">場 所 : 磯部健康福祉センターかがやき 多目的ホール</p> <p style="padding-left: 40px;">講 師 : 楠井法律事務所 赤木 邦男 弁護士</p> <p style="padding-left: 40px;">研修形態 : 会場参加、ZOOMによる参加、後日録画視聴のハイブリッド式</p> <p style="padding-left: 40px;">参加対象 : 全職員(約250人の参加)</p> <p>ウ) 職員に対してハラスメントに関するアンケートを実施して、職員の意識や実態の把握に努めました。</p>
④-4 仕事と子育て、介護の両立を支援し、女性が働きやすい環境づくりを推進します。	80%	④-4 「育児休業等に関する規程」及び「介護休業等に関する規程」を廃止して、新たに「育児・介護休業等に関する規程」を制定し、これまでの育児休業よりも柔軟で休業を取得しやすい環境に変更しました。
④-5 コロナ禍における多様な働き方に対応できる環境づくりを推進します。	80%	④-5 事業や職種においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からも有効な働き方である在宅勤務制度を令和2年度から導入しており、令和4年度は延べ45人(延べ233日)が在宅勤務を行いました。
⑤-1 障がい特性に応じた職場配置や業務を検討し、職場定着を推進します。	70%	⑤-1 障がい者職業生活相談員資格認定講習を受講し、障がい者から職務内容や作業環境などの相談を受けて適宜助言等ができるように体制整備に努めました。

<p>⑤-2 法定雇用率が令和5年度も充足するよう障がい者の採用を検討し、必要に応じて募集します。</p>	<p>90%</p>	<p>⑤-2 本会の法定雇用障がい者数は令和5年3月31日現在で4人に対して障がい者雇用実績数は4人です。今後も維持できるように採用を検討していきます。また令和5年度において1人を採用予定です。</p>
---	------------	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 421 282 467"> <tr> <td>評価</td> <td>C</td> </tr> </table>	評価	C	<p>・本会が健全経営を継続していくための大きな要素のひとつが人事評価制度であると認識しています。人事評価制度は、職員の相互理解により本会の質や価値を高め、地域から必要とされる組織を目指しており、制度の成熟が求められています。令和4年度は制度の課題に向き合い、下半期からの運用に向けて制度変更の準備を進めました。人事評価の効果や職員が働きやすい環境、業務達成度に応じた評価の在り方について継続して検証していきます。</p>
評価	C		

(4) 防災対策・感染症対策の強化

■目標

- ①自然災害などの非常時における対策に取り組みます。
- ②新型コロナウイルス感染症等の感染症防止対策に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①-1 BCP（事業継続計画）を検証し、実情に応じ修正を行います。</p>	<p>100%</p>	<p>①-1 令和2年度に策定しましたBCP（事業継続計画）は継続しており、今後、実情に応じ修正を行います。</p>
<p>①-2 自然災害などの非常時に必要とされる防災備蓄品を確保し、管理ルールを整備します。</p>	<p>0%</p>	<p>①-2 令和3年度に防災備蓄品を購入し磯部健康福祉センターかがやきにて管理していますが、防災備蓄品を市内のどの施設にて管理・運用していくのかについては整理できませんでした。磯部健康福祉センターでの管理を継続するとともに令和5年度において整理します。</p>
<p>①-3 消防訓練・避難訓練を実施します。</p>	<p>100%</p>	<p>①-3 指定管理施設及び事業所において消防計画（年2回訓練実施）に基づき、志摩消防署磯部分署の協力のもと消防訓練を実施しました。</p>
<p>①-4 関係部署と調整のうえ、事業者等と福祉版DCPの協議を行います。</p>	<p>0%</p>	<p>①-4 令和4年度は着手できませんでした。令和5年度において調整します。</p>

<p>②-1 コロナBCP（新型コロナウイルス感染症行動計画）を検証し、実情に応じ修正を行います。</p>	100%	<p>②-1 令和2年度に策定しました新型コロナウイルス感染症対策行動計画（事業継続計画）は継続しており、最新版は9月22日に改定しています。</p>
<p>②-2 感染症対策本部会議を開催し、感染症への対策方針について協議します。</p>	100%	<p>②-2 本会の職員、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性患者又は濃厚接触者として確認されたことなどに伴い、管理職を構成員とした会議を120回開催し、感染に伴う対応策などについて協議を行いました。</p>
<p>②-3 感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための対策要綱により、感染症予防に取り組みます。</p>	100%	<p>②-3 感染対策研修として、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも志摩市民病院の医師を招いて、新型コロナウイルス感染症に限らず種々の感染症についての研修を実施しました。</p> <p>日 時 : 令和5年3月30日(木) 14:00~15:00</p> <p>場 所 : 磯部健康福祉センターかがやき 多目的ホール</p> <p>講 師 : 志摩市民病院 林 俊太 医師</p> <p>研修形態 : 会場参加、ZOOMによる参加、後日録画視聴のハイブリッド式</p> <p>参加対象 : 全職員(約250人の参加)</p>

■評価

<p>目標の達成度</p> <p>評価 C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP（事業継続計画）は、実情に応じ修正を加えておりますが、福祉版DCPの協議が遅々として進んでいない状況です。協議を開始できる環境整備を進める必要性を感じています。 ・志摩市内における新型コロナウイルス感染症の感染状況は減少傾向にあるものの、本会の職員やお客様が感染したり、また、濃厚接触者となったりするケースが散発しました。新型コロナウイルス感染症対策行動計画を基本とし、新型コロナウイルス感染症対策会議においてその対応等について協議し、対処することができました。 ・感染対策研修会では、感染症の怖さと対策の必要性を再認識でき、職員の関心の高さを垣間見ることができました。
---------------------------	---

(5) 地域福祉活動財源の確保

■目標

①地域福祉活動の貴重な財源である会費の増額に務めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
------	-----	------

<p>①-1 自治会及び関係機関、法人に協力を求め、実績額の増加に務めます。</p> <p>①-2 広報誌やホームページを通じて社協を理解してもらえよう、活動や事業の積極的な情報発信を行います。</p> <p>①-3 会費の使途を明確にし、資料等へ使途を記載するなど市民への理解を深めます。</p> <p>①-4 特別会費については、依頼する企業について見直し、幅広い企業への募集を実施します。(前年比+10件以上)</p>	<p>95%</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>94%</p>	<p>①-1 自治会の会議や自治会事務所等に出向き会費への協力を求めるとともに、書面において協力を呼びかけました。新型コロナウイルス感染症の影響も大きく、全ての会員区分において令和3年度より実績が減少する結果となりました。</p> <p>①-2 広報誌やホームページにおいて本会の事業を啓発するとともに会費への協力を求めました。</p> <p>①-3 会費への協力を求める書類に、会費を財源として実施する事業や実績を記載するなど市民への理解を深める工夫を行いました。</p> <p>①-4 企業へ協力を依頼する際に新型コロナウイルス感染症の拡大に対応した事業や会員サービスについての案内文書を同封し、7月に書面にて協力を求めました。実績は、令和3年度を下回る結果となりました。</p> <p>・一般会費の状況</p> <table border="1" data-bbox="846 858 2092 1062"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納入件数</td> <td>1,159件</td> <td>1,169件</td> <td>1,917件</td> <td>2,960件</td> <td>2,121件</td> </tr> <tr> <td>納入金額</td> <td>579,500円</td> <td>581,101円</td> <td>967,802円</td> <td>1,432,630円</td> <td>1,060,300円</td> </tr> <tr> <td>納入件数合計</td> <td colspan="2">9,326件〔前年比-326件〕</td> <td colspan="3">納入金額合計</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">4,621,333円〔前年比-154,673円〕</td> </tr> </tbody> </table> <p>・賛助会費の状況</p> <table border="1" data-bbox="846 1161 2092 1347"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>市外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納入件数</td> <td>20件</td> <td>5件</td> <td>27件</td> <td>50件</td> <td>12件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>納入金額</td> <td>63,000円</td> <td>15,000円</td> <td>81,000円</td> <td>153,000円</td> <td>36,000円</td> <td>19,000円</td> </tr> <tr> <td>納入件数合計</td> <td colspan="2">118件〔前年比-31件〕</td> <td colspan="4">納入金額合計</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">367,000円〔前年比-92,000円〕</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	納入件数	1,159件	1,169件	1,917件	2,960件	2,121件	納入金額	579,500円	581,101円	967,802円	1,432,630円	1,060,300円	納入件数合計	9,326件〔前年比-326件〕		納入金額合計						4,621,333円〔前年比-154,673円〕				浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	納入件数	20件	5件	27件	50件	12件	4件	納入金額	63,000円	15,000円	81,000円	153,000円	36,000円	19,000円	納入件数合計	118件〔前年比-31件〕		納入金額合計							367,000円〔前年比-92,000円〕			
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町																																																														
納入件数	1,159件	1,169件	1,917件	2,960件	2,121件																																																														
納入金額	579,500円	581,101円	967,802円	1,432,630円	1,060,300円																																																														
納入件数合計	9,326件〔前年比-326件〕		納入金額合計																																																																
			4,621,333円〔前年比-154,673円〕																																																																
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外																																																													
納入件数	20件	5件	27件	50件	12件	4件																																																													
納入金額	63,000円	15,000円	81,000円	153,000円	36,000円	19,000円																																																													
納入件数合計	118件〔前年比-31件〕		納入金額合計																																																																
			367,000円〔前年比-92,000円〕																																																																

・特別会費の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外
納入件数	10件	24件	10件	96件	34件	18件
納入金額	65,000円	128,000円	115,000円	565,000円	265,000円	115,000円
納入件数合計	192件〔前年比-6件〕			納入金額合計	1,253,000円〔前年比-87,000円〕	

・会費の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般会費	4,989,044円	5,011,348円	4,773,528円	4,776,006円	4,621,333円
賛助会費	461,000円	478,000円	500,000円	459,000円	367,000円
特別会費	1,390,000円	1,353,000円	1,265,000円	1,340,000円	1,253,000円
合計	6,840,044円	6,842,348円	6,538,528円	6,575,006円	6,241,333円

・寄附金の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外
寄附件数	7件	2件	16件	9件	7件	4件
寄附金額	388,297円	15,000円	93,950円	595,446円	411,000円	101,640円
合計〔寄附件数〕	45件〔前年比:-21件〕			合計〔寄附金額〕	1,605,333円〔前年比:-504,979円〕	

※物品のうち1万円以上の価値のあるものについては、金額に換算しています。

・寄附金額の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
寄附金	2,844,678円	4,477,406円	1,885,967円	2,110,312円	1,605,333円

■評価

目標の達成度

評価 B

- ・会員募集については、新型コロナウイルス感染症の影響により、募集時期の変更等地域の実情に合わせた対応といたしました。
- ・会費の実績額は令和3年度と比較し、件数、金額ともに減少する結果となりました。新型コロナウイルス感染症の影響やそれに伴う積極的な働きかけが不十分であったことが減少となった要因であると分析しています。

(6) 志摩市との連携事業

■目標

①志摩市介護・総合相談支援課、志摩市生活支援課に職員を派遣し、市との福祉サービス事業の連携強化を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 定期的に地域支援コーディネーター会議を開催し、地域福祉事業の方向性の確認、実践方法などについて協議し、共有します。	100%	①-1 介護・総合相談支援課に職員1名を派遣しました。毎月1回、定例会を開催し、第4次地域福祉（活動）計画の進捗状況を確認しながら、地域福祉事業の方向性、実践状況について情報を共有し、進行管理を行いました。
①-2 経済的な課題を抱えている市民の相談を受け止め、関係機関と連携を図りながら市民に寄り添った支援を進めます。	100%	①-2 生活支援課への職員派遣は、派遣期間が長期間であったこともあり、令和3年度とは異なる職員を1名派遣しました。前職からの引き継ぎを受け、経済的な生活課題を受け止め、生活保護制度や他制度への橋渡しなど市民に寄り添った支援に努めました。

■評価

目標の達成度 評価 B	・人事異動により生活支援課へ派遣した職員の相談援助技術については、担当課より一定の評価をいただいている状況です。また、介護・総合相談支援課に派遣した職員については経験年数も重ね業務内容を熟知し、1層の地域支援コーディネーターとしての役割を十分に果たしているとの評価をいただいております。福祉サービスの連携強化が図られたものと評価しています。
----------------	--

2. 共同募金運動・・・支出予算 290千円 (志摩市共同募金委員会予算)

(1) 共同募金運動

■目標

①三重県共同募金会志摩市共同募金委員会の事務局として共同募金運動を推進します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況		
①-1 運営委員会を開催します。(年3回)	100%	①-1 下表のとおり運営委員会を開催しました。		
		開催日	内容	出席者
		[第1回] 6月17日	1. 令和3年度事業実施報告について 2. 令和3年度社会福祉事業会計決算について 3. 令和4年度(令和5年度充当)一般募金配分計画(案)について	委員10人 監事2人

①-2 監事監査を実施します。(年2回)	50%	[第2回] 8月19日	1. 令和4年度共同募金目標額について 2. 令和3年度(令和4年度充当)一般募金配分計画変更について	委員9人 監事2人						
		[第3回書面] 3月6日	1. 運営委員(補欠)の選任について	委員11人 書面協議						
		[第4回] 3月19日	1. 令和4年度社会福祉事業会計収支補正予算について 2. 令和5年度事業計画について 3. 令和5年度社会福祉事業会計収支予算について	委員9人 監事2人						
		①-2 下表のとおり監事監査を実施しました。								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[第1回] 6月2日</td> <td>令和4年度決算監査(下記書類を中心に監査) ①令和3年度事業実施報告書 ②令和3年度決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書など)</td> <td>監事2人</td> </tr> </tbody> </table>			開催日	内容	出席者	[第1回] 6月2日	令和4年度決算監査(下記書類を中心に監査) ①令和3年度事業実施報告書 ②令和3年度決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書など)	監事2人
		開催日	内容	出席者						
[第1回] 6月2日	令和4年度決算監査(下記書類を中心に監査) ①令和3年度事業実施報告書 ②令和3年度決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書など)	監事2人								
①-3 10月1日から自治会や関係機関、市内の企業・法人に共同募金へのご協力をいただきました。自治会には戸別募金、関係機関には窓口募金、企業には職域募金、法人募金としてそれぞれご協力をいただくことができました。少子高齢化が進む中、さらにコロナ禍の影響もあり、募金額は減少となりました。										
①-3 自治会及び関係機関、法人に協力を求め、実績額の増加に努めます。	90%									
①-4 広報誌やホームページを通じて共同募金運動を理解してもらえよう、活動や事業の積極的な啓発を行います。	100%	①-4、①-5 共同募金運動の趣旨や募金の使途についての理解を深めるため、広報紙で特集的な記事を掲載し、またホームページで常設コーナーを設けて情報を発信しました。また、10月には自治会を通じ趣意書の各戸配布、イオン阿児店での啓発掲示、地域イベントでの啓発活動を実施しました。								
①-5 募金の使途を明確にし、資料などへ使途を記載するなど市民への理解を深めます。	100%									
①-6 法人募金については、依頼する企業について見直し、幅広い企業への募集を実施します。(前年比+10件以上)	83%	①-6 法人募金は、10月以降に市内の企業を中心に趣意等の案内文書の郵送を行い、志摩市共同募金会運営委員と社協職員とが共同で訪問し、各企業への協力依頼を行いました。								

■評価

目標の達成度 評価 B	・実績額は令和3年度と比較し、件数、金額ともに減少した結果となりました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、運動の開始が遅れる地域や実施できない地区もあり、それに伴い積極的な働きかけが充分できなかったことが減少となった要因であると分析しています。
----------------	---

3. 放課後児童クラブ事業（志摩市受託事業）・・・・・・支出予算 18,053千円

(1) 浜島・磯部放課後児童クラブ事業

■目標

①市及び関連機関と協調し磯部及び浜島地域において、放課後児童の健全育成と保護者の就労支援に寄与すべく、事業を運営します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 放課後児童クラブ運営委員会を年2回開催し、保護者及び有識者代表の意見・助言を事業運営に活かしていきます。	100%	①-1 11月9日及び3月2日に実施いたしました。 ※保護者代表より、夏休み期間の外部委託による弁当対応に関して、評価を頂いたので、令和5年度以降も市と連携し継続して提供していきます。 ※学校長からの要望で、今後、より一層、学校と放課後児童クラブとの連携を深めていきます。
①-2 必要に応じて利用者ニーズをアンケート等で把握し、事業改善や施設的环境整備を行います。	100%	①-2 過去に実施した利用者向けアンケートの結果の中で、学童保育室の空調環境に指摘が多かったことから、川辺自治会と市へ働きかけたところ、新しいエアコンが導入されて過ごしやすい環境が整いました。
①-3 児童の健全育成に関心のあるボランティアに活動の場を提供します。	100%	①-3 愛知県在住の大学生及び磯部町在住の高校生計2人がボランティアとして登録しており、夏休みなどの長期休業期間に放課後児童クラブの活動に参加し児童と交流しています。
①-4 伝統的な遊びやスポーツ、文化活動の知識や経験のある地域の方を招き、交流やレクリエーションの場を提供します。	0%	①-4 夏休み期間中に民生委員・児童委員との、昔遊び(竹馬・読み聞かせ等)交流を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。冬休みの開催を模索していましたが、新型コロナウイルス感染症第8波の影響により令和4年度の開催は見送りとしました。

	・経営状況			
		浜島	磯部	合計
	定員	25人	75人	100人
	延べ利用者数	2,047人	9,222人	11,269人
	[前年比]	+369人	-1,306人	-937人
	1日平均利用者数	8人	32人	40人
	当期利益			-472,744円
当期利益増減値 [前年比]			-3,322,179円	
・磯部放課後児童クラブの延べ利用者数は、コロナ禍による利用控えが主な原因により減少しております。				

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域、学校との連携のもと、放課後に児童が過ごす場として定着しています。コロナ禍の中ではありましたが、夏期には、学生ボランティアの協力も得て相互交流を実現することができました。 ・利用者数の減少と一時的に職員体制の変更もありましたが、総評としては、安全に児童の過ごし場として運営することが出来ました。
評価	B		

4. 地域包括支援センター事業（志摩市受託事業）・・・・・・支出予算 26,754千円

(1) 浜島・磯部地域包括支援センター事業

■目標

①保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員がチームアプローチによる住民の健康保持及び生活の安定に向けた必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 高齢者やその家族からの介護、福祉などに関する相談を総合的に受けるとともに、必要に応じ訪問して実態を把握し、必要なサービスにつなぎます。	80%	①-1 総合相談支援業務 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に関する総合相談窓口として、相談支援を行いました。 ・自宅への訪問や関係者からの情報提供を受け、適切な制度やサービスへつなげました。また、かかりつけ医、民生委員・児童委員や生活困窮者自立支援事業担当者、地域支援コーディネーターとの同行訪問も適宜行っています。 ・地域ケア会議の開催や認知症カフェへの参加を通じて、地域支援体制づくりを進めました。 ・相談のために来所しやすい雰囲気づくりとして、環境整備を行いました。

	生活 家庭	介護 保険	介護 予防	医療	経済 問題	虐待	福祉サービス (介護保険外)	権利 擁護	その他	合計
浜島町	166件	228件	0件	19件	2件	21件	34件	0件	16件	486件
磯部町	222件	262件	0件	32件	9件	28件	48件	0件	15件	616件
その他	6件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	7件
合計	394件	490件	0件	51件	11件	49件	83件	0件	31件	1,109件

(参考)	令和3年度実績
浜島町	527件
磯部町	526件
その他	6件
合計	1,059件

①-2 高齢者の虐待の早期発見・防止のための地域支援体制づくり、成年後見制度の利用促進、消費者被害防止のための情報提供などを行います。

80%

①-2 権利擁護業務

- ・虐待通報、相談を受けた案件について、現地への状況確認、相談支援を行いました。志摩市が虐待事例に対して開催するコアメンバー会議にも担当地域包括支援センターとして出席しています。
- ・志摩市介護総合相談支援課や鳥羽警察署との連携を図り、必要時に対応できる体制づくりに努めています。

	浜島町	磯部町	合計
虐待通報件数	5件	5件	10件
虐待認定された件数	4件	2件	6件

(参考)	令和3年度 実績		
	浜島町	磯部町	合計
虐待通報件数	5件	2件	7件
虐待認定された件数	4件	2件	6件

①-3 ケアマネジャーが孤立しないよう、一緒に

80%

①-3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

ケアマネジメント過程を振り返り、また連絡会議などを開催し、他機関との連携が行えるよう支援します。

①-4 要支援者に対する予防給付、要介護・要支援状態となるおそれのある方に対する介護予防事業が、効果的かつ効率的に提供されるための適切なケアマネジメントを行います。

100%

①-4 介護予防ケアマネジメント業務

・居宅介護支援事業所のケアマネジャーへ、主任介護支援専門員として随時個別相談・アドバイスをを行いました。支援困難事例等への対応指導や、虐待事例における同行訪問も行っています。

・要支援者及び事業対象者が要介護状態となることを予防し、または維持するために適切なケアマネジメントを行いました。

	自機関	委託	合計
介護予防ケアマネジメント数	459 件	208 件	667 件

(参考)	令和3年実績		
	自機関	委託	合計
介護予防ケアマネジメント数	442 件	333 件	775 件

自機関：浜島・磯部地域包括支援センター

委託：浜島・磯部地域包括支援センターが業務委託した居宅介護支援事業所（7事業所）

①-5 要支援者が介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、その心身の状況や環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成します。

100%

①-5 介護予防支援

・要支援者が必要な介護予防サービス等を適切に利用できるよう、介護予防計画の作成を行いました。

	自機関	委託	合計
介護予防サービス計画作成数	612 件	563 件	1,175 件

(参考)	令和3年度 実績		
	自機関	委託	合計
介護予防サービス計画作成数	520 件	610 件	1,130 件

自機関：浜島・磯部地域包括支援センター

委託：浜島・磯部地域包括支援センターが業務委託した居宅介護支援事業所（7事業所）

①-6 大王・志摩地域包括センター事業の受託に 関して検証し、方針を決定します。	60%	①-6 大王・志摩地域包括支援センター事業 ・大王・志摩地域包括支援センター運営事業の受託可能性について協議を行い、前提条件を整理し管理職会議へ提案しました。
---	-----	--

■評価

目標の達成度 <table border="1" data-bbox="91 336 282 384"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として、随時在宅勤務を活用しながら、令和3年度と同程度の実績を計上し、事業の進捗状況は順調です。 ・民生委員に協力を得て開催している地域ケア会議が定着しつつある地区もあり、今後さらに増やしていきたいと考えています。 ・地域の方々や民生委員・児童委員からの相談が増えてきていることから、浜島・磯部地域包括支援センターの認知度が高まっていると考えます。今後も気軽に介護のことが相談できる機関として、地域包括支援センターの機能について啓発していきます。 ・生活困窮者自立支援事業や地域支援コーディネーターと協働し、社会福祉協議会で地域包括支援センターを受託している強みを活かした活動を行っていきます。
評価	B		

II. 地域福祉活動推進事業

○地域支援課（事業方針）

令和4年度から、第4次志摩市地域福祉（活動）計画が始動します。

本格的な超少子高齢化が進んでいる中、第3次地域福祉（活動）計画を踏襲し、本会から地域や関係機関へ呼びかけていく役割りを果たしていく任務があります。地域住民やボランティア、企業や学校、市や福祉関係者と共に、今の時代に見合った持続可能な地域の姿（ビジョン）を組み立てていきたいと考えております。



また、第4次地域福祉（活動）計画では、地域共生・住民主体をベースとした地域支援策として、地域支援コーディネーターによる地域訪問（アウトリーチ）に加えて、重層的支援体制により、市や地域と連携した相談体制の整備と地域のボランティア団体や市民団体が活動しやすい志摩市社協ボランティアセンターの強化にも取り組んでいく予定としています。

また、コロナ禍による生活相談が増加している中で、生活困難世帯へのセーフティネットとして、生活再建に向けた支援（自立相談支援、家計改善支援、就労準備支援）と協力先の開拓などを実施していきます。

1. 地域福祉活動推進事業・・・・・・・・支出予算 68,668千円

(1) 地域福祉（活動）計画の推進

■目標

- ①第4次地域福祉（活動）計画の推進に向けて、市関係部署と連携、協働し、進行管理を行います。
- ②第4次地域福祉（活動）計画の理念「誰もがつながりあい自分らしく暮らす志摩市」の実現に向け、3つの重点施策に取り組みます。

重点施策1：「地域づくり」のための環境整備

重点施策2：「包括的な相談体制」の構築

重点施策3：「包括的な支援体制」の構築

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																			
<p>①-1 第4次地域福祉（活動）計画における全体的な調整と進捗状況の確認を行います。 （定例地域福祉推進会議への参加：月1回）</p>	<p>100%</p>	<p>①-1 地域福祉活動計画に関する会議への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例地域福祉推進会議（全体会議：月1回、コアメンバー会議：月1回程度） <p>目的：第4次地域福祉（活動）計画推進の全体的な調整と進捗状況の確認 参加：志摩市地域福祉推進アドバイザー（三重大学 深井教授）、志摩市（地域福祉課、介護・総合相談支援課、こども家庭課、健康推進課、生活支援課、保険年金課）、本会（地域支援課）</p> <table border="1" data-bbox="837 571 2065 1414"> <thead> <tr> <th data-bbox="837 571 1025 622">開催日</th> <th data-bbox="1025 571 1895 622">内 容</th> <th data-bbox="1895 571 2065 622">本会出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="837 622 1025 673">5月17日</td> <td data-bbox="1025 622 1895 673">地域福祉推進会議と協働する各事業について、地域福祉推進会議について</td> <td data-bbox="1895 622 2065 673">職員4人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 673 1025 724">5月25日</td> <td data-bbox="1025 673 1895 724">企業へのアプローチについて（コアメンバー会議）</td> <td data-bbox="1895 673 2065 724">職員2人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 724 1025 775">6月16日</td> <td data-bbox="1025 724 1895 775">各事業からの報告、企業等の訪問について</td> <td data-bbox="1895 724 2065 775">職員3人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 775 1025 826">6月22日</td> <td data-bbox="1025 775 1895 826">地域福祉推進会議の進め方について（コアメンバー会議）</td> <td data-bbox="1895 775 2065 826">職員2人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 826 1025 877">7月7日</td> <td data-bbox="1025 826 1895 877">各事業からの報告、地域課題の共有</td> <td data-bbox="1895 826 2065 877">職員3人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 877 1025 928">7月19日</td> <td data-bbox="1025 877 1895 928">地域福祉推進審議会への報告方法について（コアメンバー会議）</td> <td data-bbox="1895 877 2065 928">職員2人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 928 1025 979">8月5日</td> <td data-bbox="1025 928 1895 979">各事業からの報告、企業等との取組み方法について</td> <td data-bbox="1895 928 2065 979">職員3人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 979 1025 1031">8月23日</td> <td data-bbox="1025 979 1895 1031">地域福祉推進審議会の報告内容について、地域課題の共有（コアメンバー会議）</td> <td data-bbox="1895 979 2065 1031">職員2人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 1031 1025 1082">9月5日</td> <td data-bbox="1025 1031 1895 1082">各事業からの報告、ひきこもり支援の推進について</td> <td data-bbox="1895 1031 2065 1082">職員4人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 1082 1025 1133">9月21日</td> <td data-bbox="1025 1082 1895 1133">地域福祉推進審議会の進め方について（コアメンバー会議）</td> <td data-bbox="1895 1082 2065 1133">職員2人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 1133 1025 1184">10月6日</td> <td data-bbox="1025 1133 1895 1184">各事業からの報告、ひきこもり支援の推進について、ふくし座談会について</td> <td data-bbox="1895 1133 2065 1184">職員4人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 1184 1025 1235">10月27日</td> <td data-bbox="1025 1184 1895 1235">各事業の行動目標に対する達成状況等について（コアメンバー会議）</td> <td data-bbox="1895 1184 2065 1235">職員3人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 1235 1025 1286">11月24日</td> <td data-bbox="1025 1235 1895 1286">地域課題の共有、福福まつりについて（コアメンバー会議）</td> <td data-bbox="1895 1235 2065 1286">職員1人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 1286 1025 1337">12月2日</td> <td data-bbox="1025 1286 1895 1337">各事業からの報告</td> <td data-bbox="1895 1286 2065 1337">職員2人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 1337 1025 1388">12月23日</td> <td data-bbox="1025 1337 1895 1388">ひきこもり支援の推進について（相談支援調整会議コアメンバーと臨時会議）</td> <td data-bbox="1895 1337 2065 1388">職員3人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="837 1388 1025 1439">1月12日</td> <td data-bbox="1025 1388 1895 1439">各事業からの報告、ひきこもり支援の推進について</td> <td data-bbox="1895 1388 2065 1439">職員2人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内 容	本会出席者	5月17日	地域福祉推進会議と協働する各事業について、地域福祉推進会議について	職員4人	5月25日	企業へのアプローチについて（コアメンバー会議）	職員2人	6月16日	各事業からの報告、企業等の訪問について	職員3人	6月22日	地域福祉推進会議の進め方について（コアメンバー会議）	職員2人	7月7日	各事業からの報告、地域課題の共有	職員3人	7月19日	地域福祉推進審議会への報告方法について（コアメンバー会議）	職員2人	8月5日	各事業からの報告、企業等との取組み方法について	職員3人	8月23日	地域福祉推進審議会の報告内容について、地域課題の共有（コアメンバー会議）	職員2人	9月5日	各事業からの報告、ひきこもり支援の推進について	職員4人	9月21日	地域福祉推進審議会の進め方について（コアメンバー会議）	職員2人	10月6日	各事業からの報告、ひきこもり支援の推進について、ふくし座談会について	職員4人	10月27日	各事業の行動目標に対する達成状況等について（コアメンバー会議）	職員3人	11月24日	地域課題の共有、福福まつりについて（コアメンバー会議）	職員1人	12月2日	各事業からの報告	職員2人	12月23日	ひきこもり支援の推進について（相談支援調整会議コアメンバーと臨時会議）	職員3人	1月12日	各事業からの報告、ひきこもり支援の推進について	職員2人
開催日	内 容	本会出席者																																																			
5月17日	地域福祉推進会議と協働する各事業について、地域福祉推進会議について	職員4人																																																			
5月25日	企業へのアプローチについて（コアメンバー会議）	職員2人																																																			
6月16日	各事業からの報告、企業等の訪問について	職員3人																																																			
6月22日	地域福祉推進会議の進め方について（コアメンバー会議）	職員2人																																																			
7月7日	各事業からの報告、地域課題の共有	職員3人																																																			
7月19日	地域福祉推進審議会への報告方法について（コアメンバー会議）	職員2人																																																			
8月5日	各事業からの報告、企業等との取組み方法について	職員3人																																																			
8月23日	地域福祉推進審議会の報告内容について、地域課題の共有（コアメンバー会議）	職員2人																																																			
9月5日	各事業からの報告、ひきこもり支援の推進について	職員4人																																																			
9月21日	地域福祉推進審議会の進め方について（コアメンバー会議）	職員2人																																																			
10月6日	各事業からの報告、ひきこもり支援の推進について、ふくし座談会について	職員4人																																																			
10月27日	各事業の行動目標に対する達成状況等について（コアメンバー会議）	職員3人																																																			
11月24日	地域課題の共有、福福まつりについて（コアメンバー会議）	職員1人																																																			
12月2日	各事業からの報告	職員2人																																																			
12月23日	ひきこもり支援の推進について（相談支援調整会議コアメンバーと臨時会議）	職員3人																																																			
1月12日	各事業からの報告、ひきこもり支援の推進について	職員2人																																																			

1月25日	地域福祉推進審議会、ひきこもり支援の推進について（コアメンバー会議）	職員2人
2月2日	各事業から報告、ひきこもり支援の推進について	職員2人
3月2日	地域福祉推進審議会での各事業の報告について	職員3人

①-2 地域福祉推進審議会の開催に合わせ、地域福祉の進捗状況を確認し、検討します。
(年2回程度)

100%

①-2 地域福祉推進審議会を11月10日（中間）と3月9日（期末）に開催し、地域福祉活動計画の重点施策を評価しました。審議会委員からは、特にボランティアセンター事業の展開やひきこもり課題への取り組みに、関心と期待が寄せられました。

②-1 地域支援コーディネーター（2層）による地域活動を推進します。

100%

②-1 ふくし座談会の開催に向けて、主に3層（地区）単位の自治会長との面談により、開催日程を調整しました。

- ・地域訪問（各町月20回以上）
- ・ふくし座談会の開催支援（年1回）
- ・事業所等の訪問（月1回以上）

また、ふくし座談会は、地域の実情に合わせ、主に買い物や防災、地域アセスメントによる地域の実情や社会資源の確認をテーマとして打合せを行いました。さらに、地域支援コーディネーターがまちづくりのための研修会へ参加しました。

※1-（2）生活支援体制整備事業参照

〔詳細は下記1-（2）参照〕

・地域訪問等の実施

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町
訪問・来所	236回	432回	717回	450回	651回
会議・事業	73回	153回	98回	98回	96回

・ふくし座談会の開催支援

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町
開催	3回	5回	5回	3回	3回
支援	71回	104回	117回	38回	101回

・事業所等の訪問

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町
訪問	39回	50回	77回	29回	56回

②-2 ボランティアセンターの機能を強化します。

100%

②-2 令和4年度から志摩市より重層的支援体制整備事業（地域力活性化支援事業と参加支援事業）を受託し、アウトリーチ（訪問）による相談支援と社協ボランティアセンターの機能を高めることを目的として、地域のボランティアコーディネートを行いました。また、月1回の地域福祉推進会議へ参加し、市健康福祉部各担当者と意見交換を行い、各部署の進捗状況の確認

※1-（3）重層的支援体制整備事業参照

<p>②-3 定例の相談支援調整会議へ参画します。 ※1-(3) 重層的支援体制整備事業参照</p>	<p>100%</p>	<p>と課題解決に向けて協議しました。 〔詳細は下記1-(3)参照〕</p> <p>②-3 令和4年度から重層的支援体制整備事業の相談支援を推進する位置づけとなった相談支援調整会議へ参画しました。市の健康福祉部各相談担当者が集まり、多問題ケースについて支援方策や支援プランについて検討しました。 〔詳細は下記1-(3)-②参照〕</p>
--	-------------	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 528 282 576"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度から第4次地域福祉（活動）計画が始動し、計画の基本理念である「誰もがつながりあい自分らしく暮らす志摩市」の実現を目指して、3つの重点施策「地域づくり」、「包括的な相談体制」、「包括的な支援体制」に取り組んでいます。令和3年度までの計画策定において積み上げてきた市担当部局との協力体制は、人事異動による新体制となっても継続しており、計画の推進に向けた取組みを進め、地域課題を共有・検討することができました。 地域支援コーディネートについては、新型コロナウイルス感染症の影響が依然続いている状況にはありますが、感染症対策に配慮し地域への訪問活動や実態把握を重ね、地域課題の把握や検討を行いました。
評価	B		

(2) 生活支援体制整備事業（志摩市受託事業）

■目標

- ①総合事業にかかる地域での取り組み状況を把握し、地域づくりに向けた問題意識や目的意識の共有化を目指します。
- ②地域アセスメントや地域組織化などの手法やコミュニティソーシャルワークによる地域ネットワークのしくみづくりを進めるための技術や知識を習得し、質の高い地域支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①-1 3層単位でふくし座談会の開催を支援し、地域力向上に向けた協議を進めます。</p>	<p>95%</p>	<p>①-1 市内50地区のうち48地区の自治会長と面談し、ふくし座談会の趣旨を説明して開催を支援しました。（延べ支援回数491回/年）しかし新型コロナウイルス感染症の影響で地域の行事が中止している中、全地区の開催にまでは至りませんでした。（開催地区19地区）今後もふくし座談会の開催に向け自治会へ働きかけます。〔上記1-(1)-②参照〕</p>
<p>①-2 ふくし座談会において、地域住民と共同で地域アセスメントを実施します。</p>	<p>100%</p>	<p>①-2 地域支援コーディネーターは地域におけるニーズや社会資源の把握に努め、情報を活用できるようにアセスメントシートを作成しています。（市内50地区、年2回更新）ふくし座談会を開催した地区においてはアセスメントシートを活用し、参加者と共同で地域アセスメントを実施しました。</p>

<p>②-1 地域アセスメントやコーディネート機能を担うことができるように、技術や知識の習得に努めます。 (研修会への参加：1人3回)</p>	<p>80%</p>	<p>②-1 質の高い地域支援を行うことができるように、下記研修会へ参加しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>研修名</th> <th>主催（主体）</th> <th>本会出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>重層的支援体制整備事業及びアセスメント研修(5/20, 23)</td> <td>志摩市・志摩市社会福祉協議会</td> <td>職員5人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>地域の医療と介護に関わる研修会(7/4)</td> <td>志摩市</td> <td>職員1人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>生活支援コーディネーター養成研修(8/26)</td> <td>三重県社会福祉協議会</td> <td>職員3人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>社協職員オンラインサロン(8/30)</td> <td>全国社会福祉協議会</td> <td>職員2人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ひきこもり支援者スキルアップ研修(9/2)</td> <td>三重県ひきこもり支援センター</td> <td>職員1人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>地域福祉コーディネーター研修会(11/25, 26)</td> <td>全国社会福祉協議会</td> <td>職員2人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ネコ問題を知る！多頭飼育問題と生活困窮者支援の現状～正しい知識が地域と小さな命を救う～(1/26)</td> <td>志摩市社会福祉協議会</td> <td>職員2人</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>人権講座(11/30, 12/2)</td> <td>志摩市</td> <td>職員1人</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>子どもの居場所に関する研修会(2/9)</td> <td>三重県</td> <td>職員1人</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>生活支援コーディネーター実践者研修(3/10)</td> <td>三重県社協</td> <td>職員1人</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>課内研修(3/13, 14)</td> <td>志摩市社協</td> <td>職員3人</td> </tr> </tbody> </table>	No.	研修名	主催（主体）	本会出席者	1	重層的支援体制整備事業及びアセスメント研修(5/20, 23)	志摩市・志摩市社会福祉協議会	職員5人	2	地域の医療と介護に関わる研修会(7/4)	志摩市	職員1人	3	生活支援コーディネーター養成研修(8/26)	三重県社会福祉協議会	職員3人	4	社協職員オンラインサロン(8/30)	全国社会福祉協議会	職員2人	5	ひきこもり支援者スキルアップ研修(9/2)	三重県ひきこもり支援センター	職員1人	6	地域福祉コーディネーター研修会(11/25, 26)	全国社会福祉協議会	職員2人	7	ネコ問題を知る！多頭飼育問題と生活困窮者支援の現状～正しい知識が地域と小さな命を救う～(1/26)	志摩市社会福祉協議会	職員2人	8	人権講座(11/30, 12/2)	志摩市	職員1人	9	子どもの居場所に関する研修会(2/9)	三重県	職員1人	10	生活支援コーディネーター実践者研修(3/10)	三重県社協	職員1人	11	課内研修(3/13, 14)	志摩市社協	職員3人
No.	研修名	主催（主体）	本会出席者																																															
1	重層的支援体制整備事業及びアセスメント研修(5/20, 23)	志摩市・志摩市社会福祉協議会	職員5人																																															
2	地域の医療と介護に関わる研修会(7/4)	志摩市	職員1人																																															
3	生活支援コーディネーター養成研修(8/26)	三重県社会福祉協議会	職員3人																																															
4	社協職員オンラインサロン(8/30)	全国社会福祉協議会	職員2人																																															
5	ひきこもり支援者スキルアップ研修(9/2)	三重県ひきこもり支援センター	職員1人																																															
6	地域福祉コーディネーター研修会(11/25, 26)	全国社会福祉協議会	職員2人																																															
7	ネコ問題を知る！多頭飼育問題と生活困窮者支援の現状～正しい知識が地域と小さな命を救う～(1/26)	志摩市社会福祉協議会	職員2人																																															
8	人権講座(11/30, 12/2)	志摩市	職員1人																																															
9	子どもの居場所に関する研修会(2/9)	三重県	職員1人																																															
10	生活支援コーディネーター実践者研修(3/10)	三重県社協	職員1人																																															
11	課内研修(3/13, 14)	志摩市社協	職員3人																																															

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で地域の行事やいきいきサロンは自粛傾向にありましたが、一部の地域ではいきいきサロンを再開しているところもありました。担い手の高齢化が著しい住民組織（老人クラブ、いきいきサロン、女性の会等）は解散に至っており、新しい担い手の確保や世代交代が課題となっている一方で有志のメンバーが集まり従来の活動を継続する地域もあります。引き続き、地域の活動や社会資源を把握するため、地域訪問を行い、ふくし座談会の開催を支援することで地域づくりや地域課題の解決について継続的に話し合いの機会が持てるよう進めていきます。 技術や知識の習得に努めつつ、質の高い地域支援を行うことができるように、研修会への参加と定例会議を通じた学びの場を継続していきます。
評価	B		

(3) 重層的支援体制整備事業（志摩市受託事業）（評価は①、②共通）

1) 地域力活性化支援事業 [2- (1)、2- (2) 共同募金配分金事業との連携]

■目標

- ①地域へのアウトリーチ等を通じ、地域生活課題の取り組みや相談を受け止める体制を整備します。
- ②地域へのアウトリーチを通じて、地域の集いの場の整備、相談窓口機能・ボランティアセンター機能の強化を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①-1 アウトリーチ等を通じた地域づくりを推進するため、専任職員を2人配置します。</p> <p>①-2 多機関協働事業、参加支援事業、生活支援体制整備事業との連携体制を構築します。</p> <p>①-3 地域住民の相談を包括的に受け止める場を整備します。</p>	<p>100%</p> <p>80%</p> <p>100%</p>	<p>①-1、①-2、①-3</p> <p>ア. 専任職員を2人配置しました</p> <p>イ. アウトリーチ（訪問）等を通じた継続的な支援に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携先：志摩市が開催する相談支援調整会議〔下記1-(3)-②参照〕、参加支援事業〔下記1-(3)-②参照〕、生活支援体制整備事業〔上記1-(1)参照〕 ・対象者：複数の分野にまたがる複合的な課題を抱えているために、自ら支援を求めることのできない者や支援につながることに拒否的な者 ・実績：相談受付件数17件、プラン策定件数0件（目標値5件） <p>ウ. 地域福祉推進会議〔上記1-(1)参照〕へ参加しました。（計9回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当会議のコアメンバー会議へ参加しました。（計9回） ・当該事業と参加支援事業の実績を報告しました。 ・ひきこもり課題の解決に向けて検討の必要性を提案し、検討しました。（令和5年度へ継続課題となっています。） <p>エ. 包括的相談体制を地域に整備することを目的に、ボランティア交流会〔下記2-(2)参照〕において重層的支援体制整備事業について説明しました。</p>
<p>②-1 ボランティア活動やサロン活動など、地域住民の主體的な地域活動を支援します。</p> <p>※2-(2) ボランティアセンター事業参照</p>	<p>100%</p>	<p>②-1 重層的支援体制整備事業の地域力活性化支援事業の中で、下記の事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音訳ボランティア養成講座 ・ボランティアチャレンジ体験（ボラチャレ） ・ボランティア、団体情報の発信（社協公式フェイスブック、LINE、インスタグラム等SNSの活用） ・ボランティア交流会 ・ひきこもり支援事業 <p>〔下記2-(2)参照〕</p>
<p>②-2 地域の課題解決に向けた住民主体の拠点づくりを支援します。</p> <p>（志摩町間崎・浜島町）</p>	<p>100%</p>	<p>②-2 拠点づくりを下記のとおり支援しました。</p> <p>○間崎地区地域生活拠点もやい</p> <p>ア. いきいきショップの運営を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もやいとイオン阿児店が協働したショップ営業で食品や日用品を販売しています。（営業日：祝日を除く月・水・金の午前）

		<p>[主な支援内容]</p> <ul style="list-style-type: none">・謝金や燃料費など運営経費の補助・週1回の職員派遣・発注作業や実績の集計・空調設備の故障への対応など <p>[いきいきショップの利用状況(参考)]</p> <p>営業日:140日(月平均11.7日)、来店者数:延べ1,193人(月平均99.4人)</p> <ul style="list-style-type: none">・9月に空調設備が故障したため、地域支援員と市と協力してスポットクーラー等を設置して応急処置をしました。(同月中に市が新たにエアコンを設置済)また12月に電話回線に不具合があり、NTTに修理を依頼しました。・その他対応:7月日本離島センター取材と機関誌掲載、3周年記念行事、2月三重大学(深井教授)の調査と国土交通省外郭団体機関誌掲載、3月経産省ホームページ掲載、国土交通省離島振興課視察 <p>イ.買い物ツアー(月1回)をもやい地域支援員と連携して開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none">・本会所有のマイクロバスで賢島定期船乗り場からイオン阿児店までを送迎し、購入物品の運搬を手伝いました。・計12回開催、利用者数延べ68人(1回平均5.6人) <p>○志摩LABO(三重ダルクの志摩事業所)と地域による買い物支援活動(しまあし号)</p> <ul style="list-style-type: none">・買い物支援活動は、浜島町の桧山路、塩屋、迫子、大崎地区の自治会・区と志摩LABOが協働して買い物弱者を支援する会員制の取り組みです。独自に設定した停留所からイオン阿児店までを送迎し、購入した商品の運搬を支援する活動です。各地区週1回運行しています。・令和3年度から試験的に運行してきましたが、令和4年5月から正式に運行が開始されました。・5月から運行の開始にあたり、志摩LABOと交通行政や志摩市総合政策課との協議、関係者会議(買い物支援座談会、しまあし号運営協議会)の開催を調整しました。・大王町船越地区においてしまあし号への関心が高まり、運行開始に向けて検討する会議(ふくし座談会)を実施しました。検討の結果、令和4年12月より試験的に運行することとなりました。(経路:船越地区で独自設定した停留所からぎゅーとらラブリー志摩店 頻度:第2・4木曜日の月2回) <p>【実績】浜島町 迫子・大崎地区:47回147人、桧山路・塩屋地区:47回63人 大王町 船越地区:8回50人</p>
--	--	--

2) 参加支援事業

■目標

- ①福祉事務所、地域包括支援センター、自立相談支援機関(ふんばり)等と連携し、支援に向けた環境の整備に取り組みます。
- ②孤立、孤独等の課題に対し、地域の社会資源を活用して社会とのつながり作りに向けた支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																								
<p>①-1 相談支援調整会議と連携し、参加支援プランを作成します。 (相談支援調整会議への参加：週1回)</p>	90%	<p>①-1、①-2 ア. 相談支援調整会議と連携し、参加支援に取り組みました。 ・相談支援調整会議へ参加しました。(計47/48回参加、検討件数延べ134件) 相談支援調整会議は、市健康福祉部6課に各1人配置された相談支援コーディネーターと参加支援事業担当者で構成され、志摩市総合相談窓口で受け付けた相談や多問題世帯等をアセスメントし、支援方針を検討します。また、アセスメント力向上のため、志摩市相談支援アドバイザーから月1回程度のアセスメント指導(事例検討)を受けています。</p>																								
<p>①-2 多機関協働事業、地域力活性化支援事業、生活支援体制整備事業との連携体制を構築します。</p>	100%	<p>・相談支援調整会議のコアメンバー会議へ参加しました。(計14回) ・地域力活性化支援事業や生活支援体制整備事業の担当者と連携して、対象者や資源開拓(下記②参照)について情報を共有しました。 ・対象者：相談業務や相談支援調整会議等において、既存の制度では支援が困難と判断された者 ・実績：相談受付件数9件、プラン策定件数3件(目標値10件) イ. 地域福祉推進会議〔上記1-(1)参照〕へ参加しました。(計1回) ・ひきこもり問題の解決に向けて、支援方法などについて検討しました。(令和5年度へ継続課題となっています)</p>																								
<p>②-1 相談業務や相談支援調整会議等を通じ、対象者の状況把握、アセスメント、支援メニューのマッチングを行います。</p>	100%	<p>②-1 ア. 実績〔上記①参照〕 イ. 資質向上のため関係する研修会へ参加しました。(地域力活性化支援事業担当者を含む)</p> <table border="1" data-bbox="792 1086 2152 1437"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>研修名</th> <th>主催(主体)</th> <th>本会出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>重層的支援体制整備事業及びアセスメント研修(5/20, 23)</td> <td>志摩市社会福祉協議会</td> <td>職員3人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>三重大学前期集中講義【講師派遣】(7/9)</td> <td>高等教育コンソーシアムみえ</td> <td>職員1人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会【基礎編】(7/16)</td> <td rowspan="3">特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会</td> <td>職員1人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会【実践編】家族支援(7/17)</td> <td>職員1人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会【実践編】本人支援(7/18)</td> <td>職員1人</td> </tr> </tbody> </table>			No.	研修名	主催(主体)	本会出席者	1	重層的支援体制整備事業及びアセスメント研修(5/20, 23)	志摩市社会福祉協議会	職員3人	2	三重大学前期集中講義【講師派遣】(7/9)	高等教育コンソーシアムみえ	職員1人	3	ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会【基礎編】(7/16)	特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会	職員1人	4	ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会【実践編】家族支援(7/17)	職員1人	5	ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会【実践編】本人支援(7/18)	職員1人
No.	研修名	主催(主体)	本会出席者																							
1	重層的支援体制整備事業及びアセスメント研修(5/20, 23)	志摩市社会福祉協議会	職員3人																							
2	三重大学前期集中講義【講師派遣】(7/9)	高等教育コンソーシアムみえ	職員1人																							
3	ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会【基礎編】(7/16)	特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会	職員1人																							
4	ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会【実践編】家族支援(7/17)		職員1人																							
5	ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会【実践編】本人支援(7/18)		職員1人																							

		6	ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会【実践編】地域づくり(7/23)		職員1人		
		7	ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会【実践編】多様な状況における支援(7/24)		職員1人		
		8	ひきこもり地域支援センター職員等への人材養成研修【初任者研修】(7/28, 29)	厚生労働省	職員1人		
		9	ひきこもり支援者スキルアップ研修(9/2)	三重県こころの健康センター	職員1人		
		10	志摩地区民生委員児童委員協議会 ひきこもり支援研修【講師派遣】(10/4)	志摩地区民生委員児童委員協議会	職員1人		
		11	ひきこもり地域支援センター職員等への人材養成研修【フォローアップ研修】(10/24, 25)	厚生労働省	職員1人		
		12	市町村における包括的支援体制整備に向けたテーマ別研修【連続研修】(11/8, 29, 12/2, 9)	三重県社会福祉協議会	職員4人		
		13	相談支援包括化推進員等養成事業 地域福祉実践力向上研修(12/8, 9)	三重県社会福祉協議会	職員2人		
		14	広報講習会(12/20)	ソウェルクラブ	職員2人		
		15	ネコ問題を知る！多頭飼育問題と生活困窮者支援の現状～正しい知識が地域と小さな命を救う～(1/26)	志摩市社会福祉協議会	職員1人		
		16	地域包括ケア報告会(2/25)	三重県医師会	職員1人		
		17	三重県ボランティア連絡協議会 総合研修(2/25)	三重県ボランティア連絡協議会	職員2人		
		18	地域支援課内部研修(3/13, 14)	志摩市社会福祉協議会	職員2人		
		②-2 既存の社会資源の把握、拡充、新たな社会資源への働きかけを行います。	100%	<p>②-2 支援方策の検討やプラン実施等において資源を開拓しました。</p> <p>就労体験（企業等）：0件、居場所・過ごし場：7件、制度外支援：7件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開拓の進め方を下半期の地域福祉推進会議で検討する予定でしたが、関連課題（ひきこもり課題やボランティア登録制度の見直し等）の検討を優先したため、令和5年度の継続課題となっています。 ・三重県主催のひきこもり関連会議（市町連携会議・居場所づくり検討会）へ出席しました。（計4回） 			
		②-3 つながり指標（つながり評価）を確認し、地域共生への評価を行います。	100%	<p>②-3 つながり評価は、支援対象者の生活上の意欲、自己肯定感、対人関係、社会参加、相談できる場所から自立に向けた変化を評価するものです。このことからつながり評価は、地域共生社会の実現度合を評価するものではありませんが、参加支援事業において支援対象者を支援することで自立に向かう過程を確認することができました。</p>			

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業であるため進め方を模索しながらも、概ね計画どおりに進行しています。 ・多問題世帯の支援においては、既存制度にない支援を地域支援コーディネーターとともに支援方策についてコーディネートしました。 ・2つの事業ともに新規相談受付件数が上半期から大きく増加しました。本会担当者と関係機関のこの新規事業の理解が深まり、連携が促進されてきたと評価できます。しかし、支援要請があつてケースにかかわるものの、支援の申し込みに至るまで時間がかかることも多く、アウトリーチ・参加支援ともに支援プランの作成数は伸びていません。 ・社会資源の開拓の進め方は、令和5年度から検討に入りますが、制度にない支援を検討・実施することで資源開拓を積み上げることができました。
----------------	--

(4) 救急医療情報キット配付事業（志摩市受託事業）

■目標

①高齢者等の急な傷病など万が一に備えるため、救急医療情報キットを必要とする独居高齢者や高齢者世帯等へ配付します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 自治会や民生委員・児童委員等と協議し、対象者へ救急医療情報キットを配付します。 ・配付時期：令和4年7月から ・対象年齢：70歳以上独居高齢者、高齢者世帯等 ・配付数：令和4年度新規対象者約500世帯	100%	①-1 令和4年度の新規対象者へ7月から救急医療情報キットの配付を開始しました。 ・自治会や民生委員・児童委員等と相談・協議し、配付時期や配付方法について検討しました。 ・キットの容器へ保管する「あんしんカード（医療情報記入用紙）」の適正な活用に向けて用紙を見直し、血液欄を削除しました。 ・自治会や民生委員・児童委員等を通じて追加配付の希望（対象外等）があつた場合、地域支援コーディネーターが相談等を受けて、必要な方へキットを配付しました。
①-2 医療情報等の更新を促します。（年1回）	100%	①-2 過年度配付したキット情報（あんしんカード）については、最新の情報として有事の際に役立つように、社協だよりや広報しま、ホームページを活用し情報の更新について啓発しました。また、自治会回覧・全戸配布、介護サービス事業者連絡会を通じた情報更新の啓発も併せて実施しました。

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会や民生委員・児童委員、地域団体の協力の元、配付方法等を協議し、対象者へ救急医療情報キットを配付しました。また、地域からの要望等について志摩市へ報告し、実施方法について協議しました。 ・社協だよりや広報しま、自治会回覧、全戸配布を通じて事業を啓発するとともに、過年度にキットを配付した方に対してキット情報（あんしんカード）の更新について啓発しました。
----------------	---

(5) その他の取り組み

1) 成年後見制度の利用支援

■目標

①認知症、知的・精神障がいなどにより、判断能力に不安のある人の自己選択や自己決定を支援するため、成年後見制度の利用を支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																			
<p>①-1 支援に要する財源の確保に努め、後見業務を担当する職員数（配置）に見合った支援を継続していきます。</p>	100%	<p>①-1 利用状況</p> <table border="1" data-bbox="813 475 1977 722"> <thead> <tr> <th></th> <th>後見</th> <th>保佐</th> <th>補助</th> <th>任意後見</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度当初受任者数</td> <td>8人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>新規受任者数</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>後見終了者数</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>利用者数合計</td> <td>7人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援課生活支援係に法人後見事務の担当者を置き、生活支援係及び訪問介護事業所の職員にて成年後見制度の利用を支援しています。 ・令和5年3月に被後見人1人が他界されたことにより終結となりました。 							後見	保佐	補助	任意後見	合計	年度当初受任者数	8人	2人	0人	0人	10人	新規受任者数	0人	0人	0人	0人	0人	後見終了者数	1人	0人	0人	0人	1人	利用者数合計	7人	2人	0人	0人	9人
	後見	保佐	補助	任意後見	合計																																
年度当初受任者数	8人	2人	0人	0人	10人																																
新規受任者数	0人	0人	0人	0人	0人																																
後見終了者数	1人	0人	0人	0人	1人																																
利用者数合計	7人	2人	0人	0人	9人																																
<p>①-2 「志摩市成年後見制度利用促進基本計画」に基づき、相談支援、周知啓発など、関係機関との連携を図ります。</p>	0%	<p>①-2 成年後見制度利用促進基本計画について</p> <p>(1) 成年後見制度利用促進に関する意見交換会（津家庭裁判所主催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の開催はありませんでした。令和5年度に開催があれば、出席する予定です。 																																			
<p>①-3 成年後見専門委員会へ参加します。 (年2回程度)</p>	100%	<p>①-3 成年後見専門委員会への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志摩市が設置している権利擁護専門委員会へ1人が出席しました。 <p>その他</p> <p>(1) 法人後見担当者会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後見等業務の実施状況と対応方法を共有するなど、意見交換を行いました。（年6回の開催） ・講師を招き、勉強会を開催しました。（令和4年11月に開催） 																																			

		(2) 研修会への参加 ・「成年後見と今後の生活保障について考える」 1人参加 ・「令和4年度成年後見制度利用促進市町支援事業 スキルアップ研修」 2人参加
--	--	--

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> ・法人後見受任件数は、1人が亡くなられたため、年度当初の10人から1人減となりました。月1回～2回の定期的な訪問等により、被後見人等の身上保護と財産管理を行い、家庭裁判所へ適切に報告事務を行いました。現在は、地域支援課生活支援係と訪問介護事業所の職員が兼務により成年後見制度の利用を支援しています。令和4年度は法人後見を担当している職員を対象とした勉強会を開催し、日々後見等職務を行う中で起きる悩みや葛藤などを話し合い、講師から助言をいただきました。このことにより担当者それぞれの後見等職務への理解が深まったため、令和5年度も引き続き開催していきたいと考えています。 ・志摩市設置の権利擁護専門委員会へ本会から委員として1人が出席しています。本会からは、後見人の確保や市民後見人講座の組み立て方などについて提言していきます。
----------------	---

2) 福祉人材の育成支援

■目標

①次世代を担う介護・福祉の人材を育成するため、高等学校、大学、事業所などの機関より実習希望者を受け入れます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況		
①-1 社会福祉士を取得するための相談援助実習の希望者を受け入れます。(2人以内)	-	①-1 福祉・介護人材の育成支援		
			人数	備考
		社会福祉士相談援助実習	0人	社会福祉士受験資格取得に係る実習(180時間以上)
		介護等体験実習	0人	小中学校教員免許資格取得に係る実習(40時間)
		その他	0人	
		合計	0人	

■評価

目標の達成度 評価 E	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士相談援助実習について受入れはありませんでした。 ・介護等体験実習については、新型コロナウイルス感染症の感染対策により、通所介護事業所での受入れは中止しました。(担当:在宅サービス課)
----------------	--

3) 福祉関係団体の支援

■目標

①地区民生委員児童委員協議会との連携強化を図り、小地域での福祉活動を推進します。

②当事者団体の自主運営のための側面支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																									
<p>①-1 地区民生委員児童委員協議会の事務局を担当します。(5地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区定例会、専門部会の事務調整 (定例会 各地区年6回、専門部会 随時) ・研修会の企画、開催支援 ・相談連携(同行訪問等 随時) 	100%	<p>①-1 民生委員児童委員協議会</p> <table border="1" data-bbox="804 475 2094 774"> <thead> <tr> <th>協議会名</th> <th>定数</th> <th>委員数</th> <th>定例会</th> <th>役員会</th> <th>専門部会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜島地区民生委員児童委員協議会</td> <td>18人</td> <td>13人</td> <td>5回</td> <td>6回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>大王地区民生委員児童委員協議会</td> <td>20人</td> <td>15人</td> <td>5回</td> <td>3回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>志摩地区民生委員児童委員協議会</td> <td>31人</td> <td>28人</td> <td>6回</td> <td>12回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>阿児地区民生委員児童委員協議会</td> <td>49人</td> <td>45人</td> <td>5回</td> <td>7回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>磯部地区民生委員児童委員協議会</td> <td>23人</td> <td>23人</td> <td>5回</td> <td>7回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員からの相談、問い合わせ等：各地区1月平均26件 						協議会名	定数	委員数	定例会	役員会	専門部会	浜島地区民生委員児童委員協議会	18人	13人	5回	6回	0回	大王地区民生委員児童委員協議会	20人	15人	5回	3回	6回	志摩地区民生委員児童委員協議会	31人	28人	6回	12回	3回	阿児地区民生委員児童委員協議会	49人	45人	5回	7回	0回	磯部地区民生委員児童委員協議会	23人	23人	5回	7回	2回
協議会名	定数	委員数	定例会	役員会	専門部会																																						
浜島地区民生委員児童委員協議会	18人	13人	5回	6回	0回																																						
大王地区民生委員児童委員協議会	20人	15人	5回	3回	6回																																						
志摩地区民生委員児童委員協議会	31人	28人	6回	12回	3回																																						
阿児地区民生委員児童委員協議会	49人	45人	5回	7回	0回																																						
磯部地区民生委員児童委員協議会	23人	23人	5回	7回	2回																																						
<p>②-1 志摩市老人クラブ連合会の自主運営を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会等への参加(年8回程度) ・行事等への協力参加(年2回) 	100%	<p>②-1 志摩市老人クラブ連合会の会議に参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長会議 4/28、5/17、9/15、1/27、3/3 ・役員会 5/24、11/16、1/12 ・役員研修会 2/10 																																									
<p>②-2 志摩市障がい者福祉会の自主運営を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会等への参加(年6回程度) ・行事等への協力参加(年2回) 	100%	<p>②-2</p> <p>◇志摩市障がい者福祉会(連合会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志摩市障がい者福祉会は、会員の高齢化に伴い、各町の会の存続が困難となったことから、6月17日の会議において、浜島、大王、志摩、阿児の身体障がい者福祉会が連合会から脱退し、同時に解散となりました。志摩市障がい者福祉会において取り組んでいた活動は、福祉会を構成していた磯部町福祉共生会、志摩市視覚障がい者福祉会、みしま会により事業規模を縮小して継続していくことを基本に協議をすすめることとなりました。 ・会議への参加協力、市への補助金申請、決算報告等の事務的な手続きは、継続して支援しました。 																																									

<p>②-3 志摩市視覚障がい者福祉会の自主運営を支援します。</p> <p>・総会への参加（年1回）</p>	-	<p>・以下の会議へ参加しました。</p> <p>・定期総会（5/6：2人参加） ・理事会（6/17：3人参加）</p> <p>②-2</p> <p>◇志摩市視覚障がい者福祉会</p> <p>・定期総会 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から書面開催となったため、不参加でした。</p>
---	---	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <p>評価 B</p>	<p>・各地区民生委員児童委員協議会の事務局を担当し、民生委員・児童委員活動を通じて小地域福祉活動を推進しました。また、令和4年度は任期満了による一斉改選があり、3月末現在で、新任委員が約4割を占めています。連合会の事務局である市地域福祉課と連携を図りながら、民生委員・児童委員活動を支援しています。</p> <p>・老人クラブなどの当事者団体は、地域福祉活動を推進する団体でもあることから、当事者団体の自主運営を側面支援しました。</p>
---------------------------	--

4) 災害時要援護者支援

■目標

①志摩市とともに地域連携を図り、災害弱者支援を進めながら、地域の日常的な支え合いの環境づくりを支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①-1 地域共生社会の実現に向け、志摩市と連携して避難行動要支援者制度に取り組みます。</p> <p>（災害時等において支援を希望する対象者の情報を自治会等と共有し、日頃の見守りや災害時の避難支援等に役立てていくための地域づくりを推進します。）</p>	100%	<p>①-1 令和3年9月から「避難行動要支援者制度」が新制度として始まりました。支援を希望する住民は志摩市にて名簿（地域ささえあい名簿）に整理され、自治会や民生委員・児童委員へ貸与されています。避難行動要支援者制度（地域ささえあい名簿）について下記のとおり支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民から相談を（1件）受け付け、志摩市と連携して対応しました。 ・民生委員・児童委員へ貸与中である地域ささえあい名簿の更新方法について志摩市と協議し、更新を支援しました。 ・地域ささえあい名簿の具体的な活用方法については、現在検討中です。

■評価

<p>目標の達成度</p> <p>評価 B</p>	<p>・避難行動要支援者制度における地域住民や自治会、民生委員・児童委員からの相談・問い合わせに対し、志摩市と連携しながら支援しました。</p> <p>・避難行動要支援者制度における本会が担う役割を明確にし、地域支援に結びつけます。</p>
---------------------------	--

2. 共同募金配分金事業・・・・・・・・支出予算 4,900千円

(1) 地域見守り事業

■目標

①地域での支えあい活動や交流、見守り活動の促進に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況						
①-1 関係団体、協力ボランティア等と協力し、地域での見守り活動を実施します。日頃の様子と異なる場合などは、親族や関係機関に速やかにつながります。 (定期訪問 各地区年12回)	100%	①-1 定期訪問						
			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
		延べ実施回数	12回	12回	12回	12回	12回	60回
		延べ利用者数	273人	125人	862人	316人	715人	2,291人
		・訪問時に留守や体調の変化等があった場合は、親族や関係機関等へ連絡し、安否確認等の必要な支援を行いました。						

■評価

目標の達成度 評価 B	・新型コロナウイルス感染症における感染対策を行い、ボランティアや民生委員・児童委員、福祉委員と連携し、地域での見守り活動を実施しました。
----------------	--

(2) ボランティアセンター事業 【評価は1～4共通】

1) ボランティア活動の支援

■目標

- ①ボランティア・市民活動のための体系的な学びの機会を提供します。
- ②日常的な活動支援機能の充実を目指します。
- ③活動経験や抱えている課題などを話し合い、活動に対する想いを共有する場を作ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 ボランティア養成講座・発展講座を開催します。(年1回以上)	100%	①-1 音訳ボランティアの担い手不足の課題に対し、音訳ボランティア養成講座(連続講座4回)を開催しました。市内で活動している音訳ボランティアとともに企画することでより良い講座となりました。予想以上の反響があり、多くの方が既存の団体へ加入されました。

回	開催日	時間	内容	講師など	会場	参加者
1	11月17日	10:00～12:00	音訳ボランティアの基礎知識	伊勢ひばり朗読 奉仕会	かがやき	21人
2	11月24日					19人
3	12月1日					21人
4	12月10日	13:30～15:00	市内の音訳ボランティア（3団体）の活動へ参加			3人
	12月15日					13人
	12月16日					3人

(その他) ひきこもりサポーター養成を計画していましたが、先ずこれまで志摩市になかったひきこもり支援の文化を作っていくため、下記の2つの事業を開催しました。開催にあたって、講師が所属する法人と市から積極的な協力が得られました。

ア. ひきこもり講演会（市民へ広くひきこもりの理解を求める講演会）

開催日	時間	内容・講師	会場	参加者
11月26日	13:30～15:30	オンラインによる講義（ひきこもりの現状と理解）	磯部生涯学習センター	37人
11月29日	10:00～12:00		大王公民館	12人

講師：特定非営利活動法人KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 副理事長／宮崎大学教育学部 教授 境 泉洋 氏

イ. ひきこもり家族教室（ひきこもり家族に対して、ひきこもりと当事者への関わり方の学びを提供する連続講座）

回	開催日	時間	内容	会場	参加者
1	12月23日	10:00～12:00	なぜひきこもっているのか	阿児アリーナ	6人
2	1月27日		子どもとの関わり方	阿児ライブラリー	7人
3	2月20日		子どもの思いに寄り添うには		6人
4	3月24日		親の安心と生き方が子どもを変える		6人

講師：特定非営利活動法人KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 本部事務局長 上田 理香 氏

①-2 ボランティア等に関心をもつ人びとが活動を体験できる機会としてトライアル制度を実施します。（年2回程度）

100%

①-2 ボランティアの高齢化や世代交代が課題となる中、新たな担い手の発掘を促進するため市民が気軽にボランティア・市民活動を体験（チャレンジ）できる機会をつくるボラチャレ（ボランティアチャレンジ）を今年度から実施しました。

実施期間：令和4年11月15日（火）～令和5年1月31日（火）

協力団体：登録ボランティア団体15団体

実績：7団体で体験を実施、体験希望者：11人（延べ15人）

②-1 ボランティアと支援希望者の橋渡し（マッチング）支援を行います。（随時）

100%

②-1 上記①-2をマッチング強化期間とし、相談があった際は随時支援を行いました。

②-2 HP、SNS等を活用し活動のPRを行います。 (月1回以上の情報発信)	100%	②-2 社協ボランティアセンター及び各団体の活動を随時、情報発信しました。また、ホームページを見直し情報検索しやすいようにしました。ボランティアセンター活動報告「しまのなか」発行や団体取材した内容を公共施設や商業施設でパネル掲示してボランティア活動を広く情報提供しました。										
②-3 助成金の交付を行います。 (25団体、上限10,000円)	100%	②-3 ボランティア団体 25 団体 (246,000 円) へ助成金を交付しました。										
③-1 ボランティア同士の研鑽や交流を目的に、交流会を開催します。(年1回以上)	100%	③-1 社協ボランティアセンター登録団体、サロン活動者、福祉委員を対象にボランティア交流会を開催しました。 <table border="1" data-bbox="790 497 2145 616"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>時間</th> <th>内容</th> <th>会場</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月28日</td> <td>13:00~15:30</td> <td>コロナ禍でもできる活動の紹介や、つながりつづける工夫等について</td> <td>阿児アリーナ</td> <td>15人 (12団体)</td> </tr> </tbody> </table> 講師：公益財団法人 さわやか福祉財団 高橋 望 氏	開催日	時間	内容	会場	参加者	7月28日	13:00~15:30	コロナ禍でもできる活動の紹介や、つながりつづける工夫等について	阿児アリーナ	15人 (12団体)
開催日	時間	内容	会場	参加者								
7月28日	13:00~15:30	コロナ禍でもできる活動の紹介や、つながりつづける工夫等について	阿児アリーナ	15人 (12団体)								

2) 地域ふれあいサロン支援事業

■目標

①地域で孤立することなく安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民が主体となって取り組む交流拠点づくりを支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 住民主体の交流拠点づくりを支援します。 (相談支援・情報提供・活動支援)	100%	①-1 地域支援コーディネーターと連携し、活動を支援しました。コロナ禍でサロン活動を実施するか否かの判断に悩む声を聞き、7月に開催したボランティア交流会にて「コロナ禍でもできる活動の紹介」などについての講演会を行いました。参加者からは、今後の活動に役立った等の前向きな意見が聞けました。 また、各地区で気軽に集まれる場の情報を集約し、これまで作成していたサロンマップを「つどいの場マップ」として更新しました。
①-2 助成金の交付を行います。 (52団体、上限30,000円)	100%	①-2 地域ふれあいサロン 48 団体 (1,391,000 円) へ助成金を交付しました。

3) 福祉学習の支援

■目標

①児童・生徒が体験学習の機会を通して、社会福祉に理解と関心を高め、日常生活の中で相互扶助、社会連帯の思想を浸透させるとともに、家庭及び地域社会への啓発を図り、地域福祉の向上を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																			
①-1学校と協働し福祉体験プログラムを作成し、福祉学習を支援します。	100%	<p>①-1 小中学校にて福祉学習を実施しました。(小学校5校、中学校1校、高等学校1校 計16回)</p> <table border="1" data-bbox="837 424 2063 1238"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>実施日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜島中学校</td> <td>6月30日</td> <td>アイマスク体験</td> </tr> <tr> <td>磯部小学校</td> <td>7月6日</td> <td>車いす体験、施設見学</td> </tr> <tr> <td>東海小学校</td> <td>7月6日</td> <td>手話体験</td> </tr> <tr> <td>磯部小学校</td> <td>7月8日</td> <td>車いす体験、施設見学</td> </tr> <tr> <td>東海小学校</td> <td>9月14日</td> <td>アイマスク体験</td> </tr> <tr> <td>鵜方小学校</td> <td>9月27日</td> <td>車いす体験、高齢者疑似体験、車両展示</td> </tr> <tr> <td>神明小学校</td> <td>10月6日</td> <td>視覚障がい者を招いての講話、アイマスク体験</td> </tr> <tr> <td>志摩高等学校</td> <td>10月7日</td> <td>アイマスク体験</td> </tr> <tr> <td>東海小学校</td> <td>10月11日</td> <td>高齢者疑似体験、防災講話</td> </tr> <tr> <td>志摩高等学校</td> <td>10月13日</td> <td>視覚障がい者を招いての講話</td> </tr> <tr> <td>東海小学校</td> <td>10月24日</td> <td>防災学習</td> </tr> <tr> <td>東海小学校</td> <td>1月19日</td> <td>視覚障がい者を招いての講話</td> </tr> <tr> <td>浜島小学校</td> <td>2月10日</td> <td>アイマスク体験</td> </tr> <tr> <td>東海小学校</td> <td>2月15日</td> <td>手話体験</td> </tr> <tr> <td>東海小学校</td> <td>3月3日</td> <td>車いす体験</td> </tr> <tr> <td>志摩高等学校</td> <td>3月13日</td> <td>車いす体験、アイマスク体験 ユニバーサルデザインについての講話</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中学生を対象にした夏休み福祉体験教室「デイサービス体験」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止ためデイサービスでの受け入れが困難となりました。内容を変更して11月5日に「認知症キッズサポーター養成講座」を実施しました。 (講師：志摩市介護・総合相談支援課)</p>	学校名	実施日	内容	浜島中学校	6月30日	アイマスク体験	磯部小学校	7月6日	車いす体験、施設見学	東海小学校	7月6日	手話体験	磯部小学校	7月8日	車いす体験、施設見学	東海小学校	9月14日	アイマスク体験	鵜方小学校	9月27日	車いす体験、高齢者疑似体験、車両展示	神明小学校	10月6日	視覚障がい者を招いての講話、アイマスク体験	志摩高等学校	10月7日	アイマスク体験	東海小学校	10月11日	高齢者疑似体験、防災講話	志摩高等学校	10月13日	視覚障がい者を招いての講話	東海小学校	10月24日	防災学習	東海小学校	1月19日	視覚障がい者を招いての講話	浜島小学校	2月10日	アイマスク体験	東海小学校	2月15日	手話体験	東海小学校	3月3日	車いす体験	志摩高等学校	3月13日	車いす体験、アイマスク体験 ユニバーサルデザインについての講話
学校名	実施日	内容																																																			
浜島中学校	6月30日	アイマスク体験																																																			
磯部小学校	7月6日	車いす体験、施設見学																																																			
東海小学校	7月6日	手話体験																																																			
磯部小学校	7月8日	車いす体験、施設見学																																																			
東海小学校	9月14日	アイマスク体験																																																			
鵜方小学校	9月27日	車いす体験、高齢者疑似体験、車両展示																																																			
神明小学校	10月6日	視覚障がい者を招いての講話、アイマスク体験																																																			
志摩高等学校	10月7日	アイマスク体験																																																			
東海小学校	10月11日	高齢者疑似体験、防災講話																																																			
志摩高等学校	10月13日	視覚障がい者を招いての講話																																																			
東海小学校	10月24日	防災学習																																																			
東海小学校	1月19日	視覚障がい者を招いての講話																																																			
浜島小学校	2月10日	アイマスク体験																																																			
東海小学校	2月15日	手話体験																																																			
東海小学校	3月3日	車いす体験																																																			
志摩高等学校	3月13日	車いす体験、アイマスク体験 ユニバーサルデザインについての講話																																																			

<p>①-2 令和3年度に作成したパンフレットを学校へ案内し、福祉学習を推進します。また、オンラインを活用したコロナ禍での学習も推進します。</p>	<p>100%</p>	<p>①-2 令和3年度に作成したパンフレットを市内の小中高等学校へ配付しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月にパンフレットを配布したことで福祉学習の相談や依頼が増加しました。 ・過去2年が新型コロナウイルス感染症の影響もあり福祉学習が実施しにくい状況にありましたが、令和4年度は学校のガイドラインも緩和され増加に繋がっています。 																																			
<p>①-3 助成金の交付を行います。 (13校、上限30,000円)</p>	<p>100%</p>	<p>①-3 助成金の交付状況</p> <table border="1" data-bbox="819 424 2078 671"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,000円</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>20,000円</td> <td>0校</td> <td>1校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>30,000円</td> <td>1校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>2校</td> <td>1校</td> <td>4校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30,000円</td> <td>20,000円</td> <td>0円</td> <td>60,000円</td> <td>40,000円</td> <td>150,000円</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	10,000円	0校	0校	0校	0校	1校	1校	20,000円	0校	1校	0校	0校	0校	1校	30,000円	1校	0校	0校	2校	1校	4校	合計	30,000円	20,000円	0円	60,000円	40,000円	150,000円
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																															
10,000円	0校	0校	0校	0校	1校	1校																															
20,000円	0校	1校	0校	0校	0校	1校																															
30,000円	1校	0校	0校	2校	1校	4校																															
合計	30,000円	20,000円	0円	60,000円	40,000円	150,000円																															

4) 災害ボランティアセンターの運営準備

■目標

- ①有事に備え、災害ボランティアセンターが円滑に運営できるよう準備していきます。
- ②有事に備え、県内市町社協の連携強化を進めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況											
<p>①-1 災害ボランティアセンターの運営マニュアルに基づき、災害の規模に応じた具体的な災害ボランティアセンターの運営について検討します。</p>	<p>100%</p>	<p>①-1 10月9日に、災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づき、特定非営利活動法人みえ防災市民会議の協力を得て、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。(本会職員7人、ボランティア12人参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に優先して燃料の供給が受けられるよう市内の業者に協力を求め、本会の特別会員3社と協定を締結しました。 											
<p>①-2 災害ボランティアセンターの運営協力者の養成に向け、災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催します。(年1回)</p>	<p>100%</p>	<p>①-2 災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催しました。(全日19:00~20:30にて、かがやきで開催)</p> <table border="1" data-bbox="790 1350 2145 1442"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>講 師</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月2日</td> <td>水害時の家屋等の片付け方とは?</td> <td>特非) DRT-JAPAN 三重 代表 山本 俊太 氏</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table>				開催日	内 容	講 師	参加者	12月2日	水害時の家屋等の片付け方とは?	特非) DRT-JAPAN 三重 代表 山本 俊太 氏	19人
開催日	内 容	講 師	参加者										
12月2日	水害時の家屋等の片付け方とは?	特非) DRT-JAPAN 三重 代表 山本 俊太 氏	19人										

		12月9日	災害時の福祉の事をいっしょに考えませんか？	高田短期大学 准教授 福田 洋子 氏 ピアサポートみえ 杉田 宏 氏	20人
		12月16日	子ども、女性にやさしい避難所とは？	フレンテみえ 荻原 くるみ 氏・宇田 恭子 氏	19人
①-3 災害ボランティアコーディネーター養成講座 修了者等のネットワーク化を進めます。	100%	①-3 SNS アプリであるLINE のオープンチャットをネットワーク化のツールとして令和3年度から導入しています。これにより容易にスピーディに情報発信や共有ができています。下記②-1 訓練や研修会、市内の防災ボランティアが主催する防災研修会、等を周知しました。			
②-1 南勢志摩ブロック社協災害時広域連携協議会へ参画します。	100%	②-1 8月23日にオンラインで開催された南勢志摩ブロック社協災害時広域連携協議会に出席しました。 ・1月28日に南勢志摩ブロック社協災害時広域連携協議会訓練に参加しました。 ・2月14日に南勢志摩ブロック社協災害時広域連携協議会初動シミュレーション研修会に参加しました。			

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table>	評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足の問題解消のため、音訳ボランティア養成講座とボラチャレを開催、SNS やしまのなか（パネル展）を実施することで参加を促進し、情報を発信しました。 ・地域生活課題として、ひきこもり問題の解決に向けて講演会と家族向け講座を開催しました。講座はどれも学びを深められるものとして連続講座を組み立てました。 ・日常的な活動支援の充実を目指して、SNS 等を活用し、ボランティアや助成金等の情報を発信しました。また、例年どおり事業費の助成も行いました。ボランティアと支援希望者の橋渡し（マッチング）強化は、ボラチャレを強化期間と位置づけ実施しました。令和5年度からはSNS を活用したマッチング機能に着手します。 ・ボランティア交流会では、ボランティア等の共通した課題であるコロナ禍の活動を考える機会を提供しました。 ・多様な交流を支援するため、サロン活動者への相談支援、助成金の交付や物品を貸し出しました。 ・多くの福祉学習の依頼を受けました。パンフレットを刷新し、小・中学校、高等学校へ配付したことから、コロナ禍で停滞していた学校の対外的な交流や学びの一助となったようです。例年どおり助成金の交付も行いました。福祉体験教室は、コロナ拡大の中でも交流メニューを学習メニューに切り替えて開催しました。 ・これまで養成してきた災害ボランティアコーディネーターの参加を得て、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施しました。また災害ボランティア講座も開催しました。なお、災害ボランティアコーディネーターはSNS を活用してネットワーク化を図っています。市内業者と協定を結び災害時の燃料を確保しました。 ・南勢志摩ブロック社協災害時広域連携協議会で災害ボランティアセンターに関する研修会を開催し、連携を図っています。
評価	A		

(3) 専門相談会

■目標

①住民が抱える様々な悩みや困りごとの中で、法律的な問題に対し、解決に向けた必要な情報提供と助言の機会を提供します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況			
①-1 土地、相続、金銭貸借など民法上の相談窓口として、専門相談会を開催します。 (弁護士相談：年10回、法テラス三重の巡回相談：年6回、司法書士相談：年6回)	100%	①-1 専門相談会			
		相談区分	法律相談 (弁護士)	登記・訴訟相談	巡回相談 (法テラス三重)
		開催回数	10回	6回	6回
		相談件数	32件	20件	18件

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・法律相談また登記・訴訟相談は、予約が少ない月もありましたが、概ね計画どおり実施することができました。 ・法律相談への予約は、相談内容によって登記・訴訟相談での対応が可能なケースもあることから、相談内容に応じて柔軟に予約を受け付けました。また、専門相談会において対応できない相談は、他制度を紹介するなど、市民の困りごとに寄り添った対応を心がけました。
評価	B		

(4) 共同募金配分委員会の運営

■目標

- ① 社会福祉を目的とする団体や事業に対し、公平中立な立場で配分金を配分できるよう運営していきます。
- ② 共同募金配分金の効果的な配分方法を見い出します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 共同募金配分金事業を精査・検証し、効果的に事業を実施するため、配分委員会へ意見を求めます。(配分委員会：年3回)	100%	①-1 配分委員会において以下のとおり検討しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回(5/27) ・令和4年度充当事業の変更・計画について ・第2回(6/5) ・共同募金配分助成審査会(プレゼンテーション)とその審査結果から、申請4団体への配分方法と令和4年度の配分事業計画について検討しました。 ・令和4年度先駆的・重点的地域福祉活動助成事業の申請総額が予定額に満たなかったため余剰分の対応について検討し、生活課題の解決に向けた住民主体の福祉事業等に対して2次募集を実施しました。 ・第3回(7/31) ・2次募集の審査会(申請3団体)とその審査結果から配分の在り方について検討しました。 ・第4回(3/10) ・令和4年度事業の見直しを報告しました。また令和5年度事業(見込み)について説明し、助成事業について意見を求めました。

②-1 共同募金配分助成審査会を開催します。 (年1回)	100%	②-1 共同募金配分助成審査会では、配分委員7人と主任児童委員1人、企業代表者2人が審査員となり、申請4団体のプレゼンテーションによる審査を実施しました。また2次募集に伴い、同審査員にて申請3団体のプレゼンテーションによる審査を実施しました。
---------------------------------	------	---

■評価

目標の達成度	・先駆的的重点的地域福祉活動助成事業2次募集により、新たな活動の発掘につながりました。 ・引き続き、配分を受けた団体の活動場面等を訪問し、必要な支援を実施していきます。
評価	A

3. 会員サービス事業・・・・・・・・・・支出予算（法人運営事業に包含）

■目標

- ① 地域が地域課題等を考える機会を持ち、地域福祉の機運と実践力を高められるよう支援し、小地域活動の活性化を図ります。
- ② 社協会費を財源とした新しい助成事業を再編し、令和5年度からの運用を目指します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																												
①-1 地域における様々な生活課題を解決するため 各町の自治会連合会に対して助成金を交付します。（助成額は、地区の規模により算定します。）	100%	①-1 下記のとおり助成金を交付しました。																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>申請者名</th> <th>申請内容</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜島</td> <td>塩屋地区自治会</td> <td>地震等の災害発生時、地域住民が安全・迅速に避難できるよう高齢者等に向けた非常持ち出しグッズを購入し、あらかじめ避難場所へ常備する。</td> <td>99,000円</td> </tr> <tr> <td>大王</td> <td>畔名自治会</td> <td>災害時に備え食品等を準備することで、有事の際に避難者へ温かい食事を提供できるよう防災備蓄品を購入費へ充当する。</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>志摩</td> <td>志摩町自治会連合会</td> <td>敬老意識の高揚と高齢者福祉の向上を目的に、高齢者の長寿を祝福する各地区の敬老会等事業に対して、要する経費の一部を負担する。</td> <td>124,000円</td> </tr> <tr> <td>阿児</td> <td>阿児町自治会連合会</td> <td>高齢者の功績および長寿を祝い、地域の社会福祉の増進に寄与するため、敬老会事業実施経費へ充当する。</td> <td>152,000円</td> </tr> <tr> <td>磯部</td> <td>磯部町地区自治会連合会</td> <td>有事の際に必要な防災物品（食料品、衛生用品）を購入し、各地区へ配付することで防災意識の向上を図る。</td> <td>125,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>600,000円</td> </tr> </tbody> </table>	地区	申請者名	申請内容	助成額	浜島	塩屋地区自治会	地震等の災害発生時、地域住民が安全・迅速に避難できるよう高齢者等に向けた非常持ち出しグッズを購入し、あらかじめ避難場所へ常備する。	99,000円	大王	畔名自治会	災害時に備え食品等を準備することで、有事の際に避難者へ温かい食事を提供できるよう防災備蓄品を購入費へ充当する。	100,000円	志摩	志摩町自治会連合会	敬老意識の高揚と高齢者福祉の向上を目的に、高齢者の長寿を祝福する各地区の敬老会等事業に対して、要する経費の一部を負担する。	124,000円	阿児	阿児町自治会連合会	高齢者の功績および長寿を祝い、地域の社会福祉の増進に寄与するため、敬老会事業実施経費へ充当する。	152,000円	磯部	磯部町地区自治会連合会	有事の際に必要な防災物品（食料品、衛生用品）を購入し、各地区へ配付することで防災意識の向上を図る。	125,000円	合計			600,000円
		地区	申請者名	申請内容	助成額																									
		浜島	塩屋地区自治会	地震等の災害発生時、地域住民が安全・迅速に避難できるよう高齢者等に向けた非常持ち出しグッズを購入し、あらかじめ避難場所へ常備する。	99,000円																									
		大王	畔名自治会	災害時に備え食品等を準備することで、有事の際に避難者へ温かい食事を提供できるよう防災備蓄品を購入費へ充当する。	100,000円																									
		志摩	志摩町自治会連合会	敬老意識の高揚と高齢者福祉の向上を目的に、高齢者の長寿を祝福する各地区の敬老会等事業に対して、要する経費の一部を負担する。	124,000円																									
		阿児	阿児町自治会連合会	高齢者の功績および長寿を祝い、地域の社会福祉の増進に寄与するため、敬老会事業実施経費へ充当する。	152,000円																									
		磯部	磯部町地区自治会連合会	有事の際に必要な防災物品（食料品、衛生用品）を購入し、各地区へ配付することで防災意識の向上を図る。	125,000円																									
合計			600,000円																											

<p>①-2 地域の福祉活動、支え合い活動を実施している福祉委員会に対して助成金を交付します。 (1 地区上限 65,000 円)</p>	<p>100%</p>	<p>①-2 下記のとおり助成金を交付しました。</p> <table border="1" data-bbox="797 180 2085 799"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>委員会名</th> <th>委員数</th> <th>主な活動内容</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">浜島</td> <td>桧山路地区福祉委員会</td> <td>13 人</td> <td>地区行事への参加協力、見守り活動、イベント開催、体験学習会、福祉課題の把握</td> <td>65,000 円</td> </tr> <tr> <td>塩屋地区福祉委員会</td> <td>5 人</td> <td>会議の開催、見守り活動、サロン運営、買い物支援</td> <td>65,000 円</td> </tr> <tr> <td>迫子地区福祉委員会</td> <td>5 人</td> <td>社協事業・地区行事・JA 女性部事業への協力、見守り活動</td> <td>65,000 円</td> </tr> <tr> <td>大王</td> <td>船越地区福祉委員会</td> <td>8 人</td> <td>見守り活動、サロン運営協力、福祉課題の把握</td> <td>65,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">阿児</td> <td>神明地区福祉委員会</td> <td>17 人</td> <td>見守り活動、高齢者ふれあい交流会、福祉・介護等の研修、高齢者の生活支援活動、社協事業への参加・協力</td> <td>65,000 円</td> </tr> <tr> <td>立神地区福祉委員会</td> <td>16 人</td> <td>見守り活動、独居高齢者の不用品整理支援、非常災害時独居老人家庭安否確認、通学見守り、地区行事への協力</td> <td>65,000 円</td> </tr> <tr> <td>志島地区福祉委員会</td> <td>10 人</td> <td>見守り活動、地区福祉課題の把握、講習会</td> <td>65,000 円</td> </tr> <tr> <td>甲賀地区福祉委員会</td> <td>9 人</td> <td>見守り活動、サロン運営、地区福祉課題の把握、地域行事への参加・協力</td> <td>65,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>520,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	地区	委員会名	委員数	主な活動内容	助成額	浜島	桧山路地区福祉委員会	13 人	地区行事への参加協力、見守り活動、イベント開催、体験学習会、福祉課題の把握	65,000 円	塩屋地区福祉委員会	5 人	会議の開催、見守り活動、サロン運営、買い物支援	65,000 円	迫子地区福祉委員会	5 人	社協事業・地区行事・JA 女性部事業への協力、見守り活動	65,000 円	大王	船越地区福祉委員会	8 人	見守り活動、サロン運営協力、福祉課題の把握	65,000 円	阿児	神明地区福祉委員会	17 人	見守り活動、高齢者ふれあい交流会、福祉・介護等の研修、高齢者の生活支援活動、社協事業への参加・協力	65,000 円	立神地区福祉委員会	16 人	見守り活動、独居高齢者の不用品整理支援、非常災害時独居老人家庭安否確認、通学見守り、地区行事への協力	65,000 円	志島地区福祉委員会	10 人	見守り活動、地区福祉課題の把握、講習会	65,000 円	甲賀地区福祉委員会	9 人	見守り活動、サロン運営、地区福祉課題の把握、地域行事への参加・協力	65,000 円	合計				520,000 円
地区	委員会名	委員数	主な活動内容	助成額																																											
浜島	桧山路地区福祉委員会	13 人	地区行事への参加協力、見守り活動、イベント開催、体験学習会、福祉課題の把握	65,000 円																																											
	塩屋地区福祉委員会	5 人	会議の開催、見守り活動、サロン運営、買い物支援	65,000 円																																											
	迫子地区福祉委員会	5 人	社協事業・地区行事・JA 女性部事業への協力、見守り活動	65,000 円																																											
大王	船越地区福祉委員会	8 人	見守り活動、サロン運営協力、福祉課題の把握	65,000 円																																											
阿児	神明地区福祉委員会	17 人	見守り活動、高齢者ふれあい交流会、福祉・介護等の研修、高齢者の生活支援活動、社協事業への参加・協力	65,000 円																																											
	立神地区福祉委員会	16 人	見守り活動、独居高齢者の不用品整理支援、非常災害時独居老人家庭安否確認、通学見守り、地区行事への協力	65,000 円																																											
	志島地区福祉委員会	10 人	見守り活動、地区福祉課題の把握、講習会	65,000 円																																											
	甲賀地区福祉委員会	9 人	見守り活動、サロン運営、地区福祉課題の把握、地域行事への参加・協力	65,000 円																																											
合計				520,000 円																																											
<p>①-3 磯部町内の自治会に対し、見守り支援員活動を委託し、安否確認活動を進めます。 (委託額は地区の規模により算定します。)</p>	<p>100%</p>	<p>①-3 磯部地区内の 23 地区の自治会へ 170 人の見守り支援員活動を委託しました。(総額 950,000 円) 見守り支援員活動は、志摩市が合併する以前から磯部町にて取り組まれていた小地域での福祉活動です。市内全域にて取り組める制度設計にリニューアルすることを目指し、令和 4 年度を以って廃止しました。</p>																																													
<p>②-1 助成事業の見直し・再編方法について協議し、制度設計を確定します。(9 月までに)</p>	<p>70%</p>	<p>②-1 第 4 次地域福祉(活動)計画の重点施策である「ふくし座談会」の推進と自治会と連携した地域福祉を推進するために新たな助成事業を検討しました。各自治会への説明や意見徴収を行いながら制度設計を進めましたが、本会会費を効果的に活用できる助成事業を目指して、令和 5 年度も継続して検討することになりました。</p>																																													
<p>②-2 各町自治会連合会、地区福祉委員会等へ助成事業の再編整備について説明します。 (10~12 月予定)</p>	<p>100%</p>	<p>②-2 会費を財源とした助成事業の再編については、上半期に各自治会を訪問し意見を伺いましたが、上記②-1 のとおり、令和 5 年度において継続して検討することとなりました。このことにより、各町自治会連合会、地区福祉委員会への助成事業は継続することとし、自治会の会議等で説明しました。</p>																																													

■評価

目標の達成度 評価 C	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は磯部町内の自治会に見守り支援員活動に取り組んでいただくことはできましたが、令和4年度末にてこの活動を廃止しました。令和5年度は、小地域での新たな福祉活動の展開を目指し、福祉委員会活動の全市的な普及を支援していきます。 会費を財源とした助成事業の再編は計画どおり検討しましたが、引き続き令和5年度において制度設計を検討していきます。 自治会連合会および福祉委員会への助成金は予定どおり交付しました。コロナ禍で当初の計画が大きく変更する団体もありましたが、事業変更等の手続きを案内し、状況に応じた事業展開を支援しました。
----------------	--

4. 生活福祉資金貸付事業（三重県社会福祉協議会受託事業）・・・・・・支出予算 250千円

■目標

①低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付けと必要な援助指導を行い、経済的に安定した生活が送れるよう支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																			
①-1 生活福祉資金の借り入れについて、貸付相談を実施します。（随時）	100%	①-1 貸付相談件数について (1) 通常貸付について ・相談件数 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>市外</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談・助言</td> <td>4件</td> <td>11件</td> <td>26件</td> <td>67件</td> <td>9件</td> <td>1件</td> <td>118件</td> </tr> </tbody> </table> ・貸付件数 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度当初既貸付件数</td> <td>2件</td> <td>12件</td> <td>21件</td> <td>94件</td> <td>15件</td> <td>144件</td> </tr> <tr> <td>年度内新規貸付件数</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>3件</td> <td>6件</td> <td>0件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>年度内償還完了等件数</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> <td>6件</td> <td>2件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>年度末貸付件数</td> <td>2件</td> <td>14件</td> <td>21件</td> <td>94件</td> <td>13件</td> <td>144件</td> </tr> </tbody> </table> (2) 新型コロナ特例貸付について 令和2年3月25日から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少や失業等により生活資金に困っている方の経済的な相談を支援しました。		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	合計	相談・助言	4件	11件	26件	67件	9件	1件	118件		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	年度当初既貸付件数	2件	12件	21件	94件	15件	144件	年度内新規貸付件数	0件	2件	3件	6件	0件	11件	年度内償還完了等件数	0件	0件	3件	6件	2件	11件	年度末貸付件数	2件	14件	21件	94件	13件	144件
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	合計																																														
相談・助言	4件	11件	26件	67件	9件	1件	118件																																														
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																																															
年度当初既貸付件数	2件	12件	21件	94件	15件	144件																																															
年度内新規貸付件数	0件	2件	3件	6件	0件	11件																																															
年度内償還完了等件数	0件	0件	3件	6件	2件	11件																																															
年度末貸付件数	2件	14件	21件	94件	13件	144件																																															

・相談件数(延べ件数)：令和4年4月1日～令和4年9月30日

(内 訳)

浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外・不明	合 計
2 件	2 件	3 件	9 件	1 件	0 件	17 件

・貸付件数(令和4年4月1日～令和4年9月30日までの申請件数及び貸付決定件数)

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合 計
緊急小口資金(申請)	0 件	1 件	3 件	6 件	0 件	10 件
緊急小口資金(決定)	0 件	1 件	3 件	5 件	0 件	9 件
総合支援資金(申請)	2 件	1 件	0 件	3 件	1 件	7 件
総合支援資金(決定)	2 件	1 件	0 件	3 件	1 件	7 件

※新型コロナ特例貸付は、令和4年9月末をもって受付を終了しました。

・参考(令和元年3月25日～令和4年9月30日までの相談件数、申請件数及び決定件数)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合 計
相談件数	17 件	737 件	220 件	17 件	991 件
緊急小口資金(申請)	5 件	257 件	60 件	10 件	332 件
緊急小口資金(決定)	5 件	241 件	60 件	9 件	315 件
総合支援資金(申請)	0 件	159 件	70 件	7 件	236 件
総合支援資金(決定)	0 件	151 件	56 件	7 件	214 件
総合支援資金延長(申請)		48 件	12 件		60 件
総合支援資金延長(決定)		43 件	7 件		50 件
総合支援資金再貸付(申請)		34 件	46 件		80 件
総合支援資金再貸付(決定)		25 件	32 件		57 件

①-2 現在の貸付世帯の中で、定期的に滞納者の生活状況を確認し、借入れ資金への償還指導を行います。

100%

①-2 生活状況の把握と償還指導

- ・自立、生活意欲の助長促進に向けた更なる相談援助と償還指導を行いました。
- ・償還対象者全員に対し、償還案内を送付(送付時期：6月・9月・12月・3月)し、6ヵ月以上返済が滞っている方には督促状を送付(送付時期：6月・12月)しました。
- ・償還指導対象者の生活状況について民生委員・児童委員等と相談の上、訪問、電話、文書、来所面談により指導しました。

		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
償還指導対象者件数 (内、督促状送付件数)		2件 (2件)	6件 (4件)	9件 (9件)	21件 (21件)	6件 (6件)	44件 (42件)
償還指導実施件数		2件	5件	8件	14件	6件	35件
償還につながった件数		0件	4件	1件	3件	0件	8件

※償還指導対象者：償還が滞っている世帯の内、支援が必要と思われる世帯

①-3 生活福祉資金貸付担当者研修会へ参加します。(年1回)	100%	①-3 生活福祉資金貸付担当者研修会へ参加について ・三重県社協主催/緊急小口資金等特例貸付の償還猶予に係る説明会：12/6、オンライン開催 1人参加		
①-4 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた相談者の生活状況を把握し、生活困窮者自立相談、家計改善相談と連携した支援を行います。	100%	①-4 生活困窮者自立相談支援事業との連携について 新型コロナウイルス感染症特例貸付を相談される方は、失業、休業、時短勤務、負債、疾病、介護、年金など様々な要因が背景にあることが伺えました。この貸付の相談件数は令和元年度～4年度と合わせると991件となり、通常の生活福祉資金貸付では見られなかった生活困窮者の実情を知ることになりました。今後、どのような支援が可能なのか、どうしたら相談者がよりよい生活を取り戻せるのか、担当者としても貸付ありきではなく、「くらしサポートセンターふんばり」とも連携し、自立支援を見据え、多角的に支援しました。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tbody> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症特例貸付から自立相談支援機関への相談につないだ件数</td> <td>7件</td> </tr> </tbody> </table>	新型コロナウイルス感染症特例貸付から自立相談支援機関への相談につないだ件数	7件
新型コロナウイルス感染症特例貸付から自立相談支援機関への相談につないだ件数	7件			
①-5 民生委員・児童委員と連携し、貸付の申請及び償還指導を行います。	100%	①-5 民生委員・児童委員との連携について 貸付申請時や償還指導の際に担当職員と担当地区民生委員・児童委員と同行訪問し、相談者世帯の生活状況の把握に取り組みました。		

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tbody> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </tbody> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金貸付事業を三重県社協から受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付と償還指導を行い、経済的に安定した生活が送れるよう支援しました。中でも、督促状が発行されている滞納者に対しては連絡を促し、現在の生活状況の把握から償還の促進に繋げることができました。また、償還指導をしてもなお償還が困難な世帯に対しては、対象地区の民生委員・児童委員や三重県社協と連携して対応しました。 令和元年度から続く新型コロナウイルス感染症特例貸付は、令和4年9月末をもって受付が終了しました。令和4年度は令和3年度に比べると相談件数は減少しましたが、令和元年度の受付開始当初からの累計では延べ1,000件近くの相談に対応してきました。令和5年1月からこの特例貸付の償還が開始されました。現在、三重県社協では免除申請及び猶予申請手続きが実施されています。償還開始後、貸付者から償還に関する相談があり、その際は1人ひとりに対して丁寧な相談対応を心がけています。引き続き、他の相談支援機関と連携しながら、自立に向けた支援に務めます。
評価	B		

5. 日常生活自立支援事業（三重県社会福祉協議会受託事業）・・・・・・支出予算 7,393千円

■目標

①判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの方に福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、書類等預かりサービスを行い、できる限り地域で自立した生活が送れるよう支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																																																																																					
<p>①-1 新規利用者の相談支援を行います。 (随時)</p>	100%	<p>①-1 実施状況 令和5年3月31日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">相談・助言</td> <td>5件</td> <td>6件</td> <td>0件</td> <td>21件</td> <td>5件</td> <td>37件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">利用契約数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>7件</td> <td>0件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">解約数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td>0件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">利用者数</td> <td>7人</td> <td>7人</td> <td>1人</td> <td>25人</td> <td>7人</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">内 訳</td> <td>認知症</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>5人</td> <td>1人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>知的障がい</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>10人</td> <td>2人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>精神障がい</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>8人</td> <td>4人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">生活支援員数</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">生活支援員訪問回数</td> <td>161回</td> <td>119回</td> <td>30回</td> <td>350回</td> <td>134回</td> <td>794回</td> </tr> <tr> <td colspan="2">専門員訪問回数</td> <td>12回</td> <td>8回</td> <td>3回</td> <td>13回</td> <td>5回</td> <td>41回</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他</td> <td>246回</td> <td>352回</td> <td>186回</td> <td>1,135回</td> <td>484回</td> <td>2,403回</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="6">相談・助言／問い合わせ件数、初回相談件数</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="6">その他 /生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数</td> </tr> </tbody> </table>			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	相談・助言		5件	6件	0件	21件	5件	37件	利用契約数		1件	1件	0件	7件	0件	9件	解約数		1件	1件	1件	3件	0件	6件	利用者数		7人	7人	1人	25人	7人	47人	内 訳	認知症	1人	4人	0人	5人	1人	11人	知的障がい	3人	1人	1人	10人	2人	17人	精神障がい	2人	2人	0人	8人	4人	16人	その他	1人	0人	0人	2人	0人	3人	生活支援員数		3人	1人	1人	2人	0人	7人	生活支援員訪問回数		161回	119回	30回	350回	134回	794回	専門員訪問回数		12回	8回	3回	13回	5回	41回	その他		246回	352回	186回	1,135回	484回	2,403回			相談・助言／問い合わせ件数、初回相談件数								その他 /生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数					
		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																																																																																																																
相談・助言		5件	6件	0件	21件	5件	37件																																																																																																																
利用契約数		1件	1件	0件	7件	0件	9件																																																																																																																
解約数		1件	1件	1件	3件	0件	6件																																																																																																																
利用者数		7人	7人	1人	25人	7人	47人																																																																																																																
内 訳	認知症	1人	4人	0人	5人	1人	11人																																																																																																																
	知的障がい	3人	1人	1人	10人	2人	17人																																																																																																																
	精神障がい	2人	2人	0人	8人	4人	16人																																																																																																																
	その他	1人	0人	0人	2人	0人	3人																																																																																																																
生活支援員数		3人	1人	1人	2人	0人	7人																																																																																																																
生活支援員訪問回数		161回	119回	30回	350回	134回	794回																																																																																																																
専門員訪問回数		12回	8回	3回	13回	5回	41回																																																																																																																
その他		246回	352回	186回	1,135回	484回	2,403回																																																																																																																
		相談・助言／問い合わせ件数、初回相談件数																																																																																																																					
		その他 /生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数																																																																																																																					
<p>①-2 三重県社会福祉協議会が主管する契約締結審査会へ参加します。 (オンライン審査会：月1回)</p>	100%	<p>①-2 契約締結審査会</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインによる会議となっています。ただし、審査案件がある場合は、集合会議への出席が原則となりました。(報告案件のみの場合は出席なし)</p>																																																																																																																					

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出席者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
審査案件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
契約報告数	1件	0件	1件	1件	0件	1件	0件	1件	1件	0件	3件	0件
再評価報告数	10件	4件	8件	3件	5件	8件	7件	8件	9件	3件	5件	8件
解約報告数	0件	0件	1件	1件	1件	0件	1件	1件	0件	0件	1件	0件

・令和4年度は審査案件が無く、集合会議への出席はありません。

審査案件：契約や解約を行うにあたり、専門員で判断し難い場合に審議を求めて提出する案件

報告案件：契約・解約・再評価を行ったことを報告するために提出する案件

①-3 専門員の資質向上に努めます。
 ・専門員研修会への参加
 ・成年後見制度研修会への参加
 ・その他 専門員として必要な研修への参加

100%

①-3 研修会への参加

・専門員の研修会への参加：三重県社協主催/専門員意見交換会 2人参加
 全社協主催/専門員実践力強化研修会 1人参加
 三重県社協主催/専門員資質向上研修 2人参加
 三重県主催/「アドバンスケアプランニングの進め方」研修会 1人参加
 三重県社協主催/成年後見スキルアップ研修 1人参加
 地域支援課内研修/獣害に負けない地域づくり 1人参加
 ・新人専門員小研修(6/8)：令和4年6月から専門員として1人採用しました。三重県社協の新人研修資料をベースに事業内容に係る研修会を本会内で実施しました。

①-4 生活支援員の資質向上に努めます。
 ・生活支援員研修会への参加 (年1回)
 ・本会が主催する研修会への参加

100%

①-4 生活支援員等研修会

・三重県社協主催/「いつもと違うきざしを見逃さない事の意義と方法」生活支援員5人、専門員2人参加
 ・ふんばり主催/「ネコ問題を知る」生活支援員1人参加
 ・本会主催/気をつけたい感染症について 生活支援員7人参加

①-5 利用者の再評価を定期に実施します。

100%

①-5 再評価 (利用者の自立支援に向けた再評価の定期実施)

・3ヵ月毎に実施する新規ケースの再評価 (5件)
 ・6ヵ月毎の継続ケース再評価 (78件)

①-6 成年後見制度へのつなぎ支援や本会の法人後見との連携を図ります。

100%

①-6 成年後見制度との連携

本会実施の法人後見受任者と関わりがあるケースについては、情報や支援方法を共有するなど、随時連携を図っています。

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は新規契約件数が9件、解約件数が6件となり、年度当初と比べると利用者数は3件の増加となりました。新規の相談については、複合的な課題を抱えている方の割合が高く、関係機関と連携して情報共有などを図りながら契約手続きを進めました。解約件数6件の理由としては、死亡と施設入所です。 ・新型コロナウイルス感染症に伴う面会制限は現在も続いており、入院及び施設入所中の利用者への面接については緩和されつつあるものの、まだまだ困難な状況となっています。このことについては、病院や施設担当者と連携しながら生活支援活動に支障をきたすことなく取り組んできました。引き続き、関係機関との連携した支援に心がけ、利用者本位の支援ができるように取り組んでいきます。
----------------	--

6. 生活困窮者自立支援事業（志摩市受託事業）・・・・・・支出予算 24,790千円

■目標

- ①自立相談支援事業・就労準備支援事業・家計改善支援事業の三事業が一体となって複合的な生活課題がある生活困窮者に対して相談支援を行います。
- ②関係機関や地域の協力者と連携しながら生活困窮者の早期発見に努め、支援につながりにくい方が相談につながるよう取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 集合研やオンライン研修へ参加し、相談員の資質向上に努めます。	100%	①-1、①-2、①-3 以下の研修会へ参加し、職員の資質向上に努めました。 <ul style="list-style-type: none"> ・全方位型アセスメント研修(YouTube 視聴)：1人参加 ・国研修/家計改善支援従事者研修：オンデマンド研修及びオンライン開催での研修(9/1～9/2) 1人参加 ・三重県主催/ひきこもり居場所づくり検討会議及びひきこもり支援連携会議：5/23、10/5、3/8 県伊勢庁舎 1人参加 ・志摩市主催/第1回地域の医療と介護に関わる研修会 7/14、志摩市本庁 1人参加 ・銀行協会主催/消費生活相談員等勉強会：7/27、オンライン開催 1人参加 ・国研修/就労支援員・就労準備支援事業従事者養成研修：オンデマンド研修及びオンライン開催での研修(9/15) 1人参加 ・国研修/自立相談支援事業従事者養成研修：オンデマンド研修及びオンライン開催での研修(10/12、10/21) 1人参加(前期のみ) ・自立支援協議会主催/障がい福祉事業所・関係機関向け就労支援研修会：10/14、オンライン開催 1人参加 ・生困ネットワーク主催/生活困窮者自立支援全国研究交流大会：11/20、11/23、11/26、11/27 オンライン開催 1人参加 ・三重県社協主催/緊急小口資金等特例貸付の償還猶予に係る説明会：12/6、オンライン開催 1人参加 ・こころの医療センター主催/三重県若年層の自殺対策推進体制構築事業研修会：1/21、オンライン開催 1人参加 ・三重県社協主催/地域福祉活動ステップアップ事業報告会：2/22、県社協 1人参加
①-2 国が主催する研修、都道府県が主催する研修ブロック別研修へ参加します。	90%	
①-3 関係機関が主催する研修会へ参加します。 (関係機関：就労支援、ひきこもり支援、子どもの貧困、こころの健康づくり、障がい者支援、高齢者支援)	100%	

<p>①-4 生活に困窮している人が自立に向かうための支援プランを作成します。</p>	100%	<p>①-4 自立相談支援事業機関について</p> <p>(1)相談実績</p> <table border="1" data-bbox="846 220 1541 319"> <thead> <tr> <th></th> <th>新規相談件数</th> <th>プラン作成件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談支援状況</td> <td>90件</td> <td>45件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)みえ福祉の「わ」創造事業利用実績</p> <table border="1" data-bbox="846 363 1883 451"> <thead> <tr> <th></th> <th>緊急食糧提供事業</th> <th>緊急時物品等支援事業</th> <th>就労支援事業 (交通費助成)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用実績</td> <td>42件</td> <td>10件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>		新規相談件数	プラン作成件数	相談支援状況	90件	45件		緊急食糧提供事業	緊急時物品等支援事業	就労支援事業 (交通費助成)	利用実績	42件	10件	0件
	新規相談件数	プラン作成件数														
相談支援状況	90件	45件														
	緊急食糧提供事業	緊急時物品等支援事業	就労支援事業 (交通費助成)													
利用実績	42件	10件	0件													
<p>①-5 支援調整会議を開催し、支援方針を決定します。</p>	100%	<p>①-5 支援調整会議の開催 (月1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立相談支援機関 (ふんばり) が主催となり、新型コロナウイルス感染症対策の上で自立支援プランや家計再生プランの承認手続きと新規相談ケースの報告を通じて、情報共有や意見集約を図りました。 <p>(出席した相談機関)</p> <p>本 会：就労準備支援事業担当者、家計改善支援事業担当者、(生活福祉資金担当者)</p> <p>志摩市：志摩市生活支援課、志摩市介護・総合相談支援課、志摩市健康推進課、(こども家庭課)</p> <p>他機関：志摩市障がい者相談支援センターこだま</p> <p>※ ()は、ケースにより随時参加する機関または担当者</p>														
<p>①-6 複雑化した生活課題は、ケース会議、相談支援調整会議、重層的支援体制整事業と連携し、支援方針を検討します。</p>	100%	<p>①-6 他機関連携とのケース検討のための会議への参加</p> <p>担当者会議や志摩市に設置されている相談支援調整会議へ参加し、複雑化した生活課題のあるケースについて積極的に連携を求めました。</p>														
<p>①-7 支援を必要とする人の情報をキャッチし、積極的な訪問活動 (アウトリーチ) に務めます。</p>	100%	<p>①-7 アウトリーチ</p> <p>生活に困窮しているが、すぐに相談に来ることができない方に対しては、訪問するなどして相談支援を行っています。</p>														
<p>①-8 就労が困難な人への支援として就労準備支援プログラムを作成します。</p>	70%	<p>①-8、①-9、①-10 就労準備支援事業について</p> <table border="1" data-bbox="813 1268 1435 1356"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者数</th> <th>プログラム作成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援状況</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>		利用者数	プログラム作成	支援状況	0人	1人								
	利用者数	プログラム作成														
支援状況	0人	1人														
<p>①-9 直ちに就労が難しい人 (高齢者を含む) の就労体験、生活習慣の改善を支援し、自立意</p>	70%	<p>利用者数=3月末時点の利用者数</p> <p>プログラム作成の支援メニュー(1)~(6)</p>														

<p>欲の増進を図ります。</p>		<p>(1)障がい者就労支援事業所での就労体験 (2)日課の見直し、体力づくり (3)就職試験に向けた取り組み (4)介護事業所での介護体験 (5)自力通勤への取り組み (6)パソコン入力の練習</p>						
<p>①-10 就労体験場所を増やし、本人の意向に合わせた就労体験ができるようにします。</p>	100%	<ul style="list-style-type: none"> 相談者の特性に合わせ、就労意欲が喚起されるための活動機会を提供することにより、相談者1人ひとりに寄り添った支援を実施しました。 年度当初は1人の利用がありましたが、体調不良により継続困難となり支援を終了しました。その後は、自立相談支援事業担当者へ支援を引継ぎました。 就労体験場所を増やすため、自立相談支援事業担当者とともに企業訪問を実施し、新規開拓に向けた取り組みを行いました。 						
<p>①-11 収入と支出のバランスを図るため、家計再生プランを作成します。</p>	100%	<p>①-11、①-12、①-13 家計改善支援事業について</p> <table border="1" data-bbox="840 558 1512 646"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者数</th> <th>プラン作成件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援状況</td> <td>6人</td> <td>16件</td> </tr> </tbody> </table> <p>利用者数=3月末時点の利用者数</p>		利用者数	プラン作成件数	支援状況	6人	16件
	利用者数	プラン作成件数						
支援状況	6人	16件						
<p>①-12 債務相談等への対応として、司法書士や弁護士に速やかに繋げていきます。</p>	100%	<ul style="list-style-type: none"> 専任の担当者として職員1人を配置しました。 債務から生活困窮状態に陥っているケースがあったため、司法書士や弁護士への債務整理の相談につなぎました。 						
<p>①-13 一時的な生活資金が必要な相談に対しては、生活福祉資金担当者と連携した支援を行います。</p>	100%	<ul style="list-style-type: none"> 家計表、キャッシュフロー表を本人と一緒に作成し、家計の「見える化」を図ることにより、相談者自身が家計上の課題に気づき、見直しができるように支援を行いました。 生活福祉資金貸付の申込者のうち、家計面の課題がある方に対し、家計再建に向けた支援を行いました。(2件の貸付決定者に対し、生活福祉資金担当者と連携した支援を実施しました。) 						
<p>②-1 関係機関が主催する会議等へ参加します。 (三重県や志摩市が主催する会議、ハローワーク主催の会議、民児協定例会等)</p>	100%	<p>②-1 関係機関が開催する会議への出席</p> <p>以下の会議へ出席し、連携強化に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談支援調整会議と地域支援コーディネーター連携会議(月1回開催)：開催毎1人出席 志摩地域自立支援協議会「働く」プロジェクト(月1回開催)：開催毎1人出席 地域福祉(活動)計画推進会議：5/17、志摩市磯部支所 1人出席 伊勢志摩地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会：5/30、県伊勢庁舎 2人出席 自殺対策ネットワーク会議：8/1、3/9 志摩市本庁 1人出席 三重県主催/主任相談支援員意見交換会：2/9、オンライン開催 1人参加 						
<p>②-2 研修会等を実施し、事業の啓発を行います。</p>	100%	<p>②-2 研修会の開催、事業啓発活動</p>						

<p>②-3 個別事例の課題から社会資源の開発についての検討や地域資源の把握を行います。 (認定訓練事業、連携企業の開拓、連携企業開拓会議の実施、居場所作り等)</p>	<p>100%</p>	<p>◇研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：令和5年1月26日(木) 13:30～15:30 ・場 所：阿児アリーナ ベイホール ・内 容：講演「ネコ問題を知る！ 多頭飼育問題と生活困窮者支援の現状」 講師 ネコリパブリック 代表 河瀬麻花 氏 ・参加者：36人 <p>◇事業啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの配付：サンライフあごからの事務所移転及び出先窓口の設置に伴い、社協、市役所、ハローワークの各窓口へ設置してあるパンフレットの差し替えを行いました。 ・志摩市生活支援課のケースワーカー勉強会での講師：7/27、志摩市本庁 1人参加 <p>②-3 企業開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志摩市内の企業への訪問等により事業啓発を行い、企業担当者との「顔の見える関係」づくりに努めました。 ・関係機関からの紹介により企業を訪問しました。(9企業) 資源再利用会社、土木会社、警備会社、派遣会社 食品加工会社、工場、障がい者支援事業所 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重大学の教授が実施する調査研究へ協力しました。 ・令和5年度の事業運営について、志摩市生活支援課担当者と協議を行いました。 ・令和4年11月から志摩市生活支援課内に自立相談支援事業の出先窓口が開設され、出先窓口でも生活困窮者の相談を受けられるようになりました。
--	-------------	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1098 282 1150"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新規相談件数は90件でした。令和3年度が121件であるため、31件の減少となります。これについては、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金特例貸付の相談件数の減少によるものが大きいと考えます。また、自立支援プラン作成件数は45件でした。令和3年度が49件であったため、減少となっています。生活困窮者には、経済的に生活が苦しいというだけでなく、ひきこもりや障がいの疑い及び多頭飼育など、相談者を取り巻く環境は様々です。これらの複合的な課題のある相談について、関係機関との連携・協議を重ねながら支援方針を検討してきました。また、令和4年度から新たに実施された重層的支援体制整備事業の各事業との連携に努め、令和4年11月には志摩市生活支援課内に先窓口が設置されたため、さらに市役所各課との連携が求められることになりました。ふんばりとしては、1人1人の相談者の思いを受け止め、助言・提案を行いながら相談者に伴走する姿勢で相談支援を実施することができました。 ・就労準備支援事業は、直ちに就労へつながりにくい相談者に寄り添いながら、自立に向けた支援を行っていますが、利用者の減少が課題となっています。令和5年度は、就労が困難な人が支援につながるよう働きかけるとともに、企業訪問を通じた就労体験の開拓に引き続き取り組んでいきます。 ・今後も生活困窮者支援についての啓発活動を続け、志摩市内において本事業の周知・理解等が促進されるように努めます。
評価	B		

Ⅲ. 在宅福祉サービス事業

○居宅介護支援課（事業方針）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、本人や家族との面会、サービス担当者会議などに制限が出てきています。ICTを活用する等して、感染予防対策をしっかりとしながら、ケアマネジャーの役割が果たせるように努めていきます。

また、法令を遵守し「新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱い」に従い業務を行っていきます。



1. 居宅介護支援事業・・・支出予算 124,035千円

(1) 居宅介護支援事業

■目標

- ①介護支援専門員としての専門性を発揮し、要支援・要介護認定を受けた方への適切な予防プラン及びケアプランを作成します。
- ②高齢者がより充実した在宅生活を送ることができるよう、行政、サービス事業者、医療機関など関係機関との連携を密にし、信頼性の高い事業所を目指します。
- ③研修会、事例検討会、勉強会等に積極的に参加し、職員の資質向上に努めます。
- ④ICTを活用して事務業務の効率化を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																									
①-1 ケアプラン作成数の目標値は、職員1人あたり介護プラン月35件、予防プラン月4件を目安とします。	83.8%	<p>①-1 ケアプラン作成数は、職員1人あたり介護プラン月平均28.4件、予防プラン月4.3件となっています。</p> <p>営業実績 ・経営状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">大王事業所</th> <th colspan="2">磯部事業所</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>介護プラン</th> <th>予防プラン</th> <th>介護プラン</th> <th>予防プラン</th> <th>介護プラン</th> <th>予防プラン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアプラン作成件数</td> <td>3,261件</td> <td>553件</td> <td>4,584件</td> <td>631件</td> <td>7,845件</td> <td>1,184件</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-180件</td> <td>-3件</td> <td>-21件</td> <td>-55件</td> <td>-201件</td> <td>-58件</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td colspan="2">-1,889,869円</td> <td colspan="2">6,311,262円</td> <td colspan="2">4,421,393円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td colspan="2">-1,650,973円</td> <td colspan="2">-2,792,933円</td> <td colspan="2">-4,443,906円</td> </tr> </tbody> </table>		大王事業所		磯部事業所		合計		介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン	ケアプラン作成件数	3,261件	553件	4,584件	631件	7,845件	1,184件	[前年比]	-180件	-3件	-21件	-55件	-201件	-58件	当期利益	-1,889,869円		6,311,262円		4,421,393円		当期利益増減値 [前年比]	-1,650,973円		-2,792,933円		-4,443,906円	
	大王事業所			磯部事業所		合計																																					
	介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン																																					
ケアプラン作成件数	3,261件	553件	4,584件	631件	7,845件	1,184件																																					
[前年比]	-180件	-3件	-21件	-55件	-201件	-58件																																					
当期利益	-1,889,869円		6,311,262円		4,421,393円																																						
当期利益増減値 [前年比]	-1,650,973円		-2,792,933円		-4,443,906円																																						

・年度別推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
サービス活動収益	142,731,084円	134,513,628円	135,648,637円	140,083,718円	136,727,728円
延べ作成件数	9,011件	8,816件	8,994件	9,288件	9,029件
当期利益	15,696,935円	2,657,316円	7,537,975円	8,865,299円	4,421,393円
当期利益増減値 [前年比]	2,983,773円	-13,039,619円	4,880,659円	1,327,324円	-4,443,906円

・1件当たりのケアプラン作成料（月額）

要支援1.2（予防プラン）…4,170円 要介護1.2（介護プラン）…14,830円、要介護3.4.5（介護プラン）…18,050円

②-1 介護・総合相談支援課等から紹介される困難事例に対応します。

100%

②-1 地域包括支援センターから紹介される困難事例を受け入れる態勢を整え、受け入れています。（受け入れ件数7件）

②-2 24時間連絡体制の確保及び相談に応じる体制を整えます。

100%

②-2 従来からの24時間連絡体制を維持し、時間外相談に随時応じています。

③-1 専門性を担保するため、1人6回以上外部研修に参加します。

175%

③-1 外部研修の参加状況

	行動計画による目標	参加員数	1人あたり平均回数
ゆうゆう	6回×10人（職員数）=60回	118回	11.8回
かがやき	6回×14人（職員数）=84回	134回	9.6回
計	144回	252回	10.5回

③-2 定例会（週1回）及び事業所内研修会（月1回）を開催し、感染症や災害への対応力強化、虐待防止に取り組みます。

100%

③-2 週1回の定例会及び月1回の事業所内研修会を開催しました。

③-3 他の法人が運営する居宅介護支援事業所と共同で事例検討会、研修会等を実施します。（年1回）

100%

③-3 全職員が参加できるよう同内容で10月12日、13日の2回開催。

③-4 自立支援型地域ケア会議へ参加します。	100%	③-4 志摩市役所からの要請に応じて、自立支援型地域ケア会議へ5回参加しています。(5月25日、9月28日、10月26日、12月14日、1月18日)
③-5 居宅介護支援事業所の情報交換会を開催します。(年6回)	100%	③-5 居宅情報交換会を6回開催しました。(4月12日、6月1日、8月2日、10月28日、12月1日、2月10日)
④-1 訪問時に利用者情報等を入力できるタブレット端末を導入したことにより、業務の効率化を図ります。	100%	④-1 タブレット端末は、モニタリング、支援経過、担当者会議録の音声入力機能による記録、利用者宅での資料の閲覧等に活用し、業務の効率化を図りました。(年間291時間35分使用)
⑤-1 その他		⑤-1 感染症の予防及びまん延の防止のための対策を検討する感染対策委員会を定期的に開催しました。 感染対策委員会の実施(3回開催:6月22日、11月22日、3月3日)

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスのケアプラン(介護プラン)、予防サービスのケアプラン(予防プラン)ともに作成件数は減少しています。 ・利用者に満足いただけるサービスを提供できるように、資質向上を目指し、研修会へ積極的に参加しています。 ・タブレットや通信機器を利用して、業務の効率化に役立っています。
----------------	---

(2) 障がい者相談支援事業

■目標

- ①障がい者等の有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、適切なサービス等利用計画を作成します。
- ②相談支援専門員として資質向上に努め、行政、サービス事業者等との連携を密にし、信頼性の高い事業所を目指します。
- ③介護保険制度の介護支援専門員と密接に連携していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 障がい者プラン作成数の目標値は、職員1人あたり月6件を目安とします。	110%	①-1 障がい者プラン作成数は、職員1人あたり月平均6.7件となっています。 (大王事業所660件、磯部事業所460件、合計1,120件) ○営業実績

<p>②-1 専門性を担保するため、1人2回以上外部研修に参加します。</p> <p>③-1 居宅介護支援事業所の情報交換会を開催します。(年6回)</p> <p>④-1 その他</p>	<p>150%</p> <p>100%</p>	<p>・計画相談件数</p> <table border="1" data-bbox="824 180 1749 331"> <thead> <tr> <th></th> <th>大王事業所</th> <th>磯部事業所</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画相談件数</td> <td>153 件</td> <td>109 件</td> <td>262 件</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-11 件</td> <td>-20 件</td> <td>-31 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・年度別推移</p> <table border="1" data-bbox="824 379 2063 560"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> <th>令和 4 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障がい福祉サービス等事業収益</td> <td>3,767,490 円</td> <td>3,935,340 円</td> <td>4,469,330 円</td> <td>4,330,950 円</td> <td>3,982,880 円</td> </tr> <tr> <td>延べ作成件数</td> <td>218 件</td> <td>269 件</td> <td>302 件</td> <td>293 件</td> <td>262 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ケアプラン更新事務 1 件…17,500 円 (1~3 年に 1 回) モニタリング 1 件…14,490 円 (3 か月~6 か月に 1 回) ケアプラ 22333 ン料は更新事務、モニタリング時のみとなります。</p> <p>①-2 外部研修の参加状況</p> <table border="1" data-bbox="824 738 1809 946"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> <th>1 人あたり平均回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゆうゆう</td> <td>2 回×7 人 (職員数) =14 回</td> <td>23 回</td> <td>3.3 回</td> </tr> <tr> <td>かがやき</td> <td>2 回×7 人 (職員数) =14 回</td> <td>19 回</td> <td>2.7 回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28 回</td> <td>42 回</td> <td>3.0 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>③-1 居宅介護支援事業所の情報交換会を 6 回開催しました。(4 月 12 日、6 月 1 日、8 月 2 日、10 月 28 日、12 月 1 日、2 月 10 日)</p> <p>④-1 感染症の予防及びまん延の防止のための対策を検討する感染対策委員会を定期的に開催しました。 感染対策委員会の実施 (4 回開催) 6 月 22 日、9 月 20 日、11 月 22 日、3 月 3 日)</p>		大王事業所	磯部事業所	合計	計画相談件数	153 件	109 件	262 件	[前年比]	-11 件	-20 件	-31 件		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	障がい福祉サービス等事業収益	3,767,490 円	3,935,340 円	4,469,330 円	4,330,950 円	3,982,880 円	延べ作成件数	218 件	269 件	302 件	293 件	262 件		行動計画による目標	参加回数	1 人あたり平均回数	ゆうゆう	2 回×7 人 (職員数) =14 回	23 回	3.3 回	かがやき	2 回×7 人 (職員数) =14 回	19 回	2.7 回	計	28 回	42 回	3.0 回
	大王事業所	磯部事業所	合計																																													
計画相談件数	153 件	109 件	262 件																																													
[前年比]	-11 件	-20 件	-31 件																																													
	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度																																											
障がい福祉サービス等事業収益	3,767,490 円	3,935,340 円	4,469,330 円	4,330,950 円	3,982,880 円																																											
延べ作成件数	218 件	269 件	302 件	293 件	262 件																																											
	行動計画による目標	参加回数	1 人あたり平均回数																																													
ゆうゆう	2 回×7 人 (職員数) =14 回	23 回	3.3 回																																													
かがやき	2 回×7 人 (職員数) =14 回	19 回	2.7 回																																													
計	28 回	42 回	3.0 回																																													

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1337 282 1385"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>・利用者数、対応件数は昨年度より減少しています。</p> <p>・障がいのある方が地域で生活する上での困りごとについての相談に応じ、関係機関と連携しながら、サービス利用計画を作成し福祉サービス利用の支援を行っています。</p>
評価	B		

○在宅サービス課（事業方針）

訪問系サービスの拠点として運用していた阿児健康福祉センター「サンライフあご」の改修工事に伴い、訪問系のサービスは浜島地域福祉センターさくら苑を拠点として事業を運営していきます。志摩市の中心地域である阿児町からの移転となるため、効率性の低下を最小限にして運営していきます。

訪問介護事業及び訪問入浴介護事業においては、事業所の拠点が浜島地域福祉センターさくら苑となるため、南伊勢町にある介護支援事業所にも空き情報を提供し、新規利用者の獲得を目指します。

訪問入浴介護事業では、志摩市唯一の事業所であるため、リース車両の検討や、収支バランスがとれるよう課内において効率よく事業を運営していきます。

福祉用具貸与事業及び訪問看護事業においては、地域の実情や収支状況を鑑み、今後の事業継続について検討します。

通所介護事業においては、阿児通所介護事業所の閉鎖に伴い、本会の通所介護事業所を希望される利用者の受け入れを調整しました。送迎に時間を要することからこれまでの体制を見直していきます。

課内一丸となって、引き続き新型コロナウイルス等の感染症対策や介護職員の認知症に対する対応力の強化、また、長年の懸案事項である介護人材の確保、人材育成といった課題と向き合いながら、健全な事業所運営に努めます。



1. 訪問介護事業・・・・・・・・・・支出予算 59,311千円

障がい者ヘルパーセンター事業・・・・・・・・支出予算 34,720千円

(1) 訪問介護事業・日常生活支援総合事業第一号訪問事業・障がい者ヘルパーセンター事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質向上に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的に開催します。
- ③市内等の居宅介護支援事業所へ空き状況を報告するなど連携をとりながら、新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数の増加に積極的に取り組んでいきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 情報交換会議を開催します。 (年6回)	100%	1-1 情報交換会議を6回開催（5月、7月、9月、11月、1月、3月）しました。
①-2 課題検討会議において令和3年度に未実施であった事業継続計画（BCP）について協議します。（年6回）	83%	①-2 課題解決会議を5回開催（4月、8月、10月、12月、2月）しました。事業継続計画（BCP）については着手しましたが未完成となっています。

<p>①-3 毎月1回はパート職員を含めた情報交換を行い、支援内容の見直し等につなげます。</p>	100%	<p>①-3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全体で集まらず各地区で情報交換を行いました。</p>																														
<p>②-1 常勤職員は外部研修に参加します。 (1人1回以上)</p>	25%	<p>②-1 外部研修の参加状況</p> <table border="1" data-bbox="808 373 1749 478"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> <th>1人あたり平均回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あんず</td> <td>1回×8人(職員数) = 8回</td> <td>2回</td> <td>0.3回</td> </tr> </tbody> </table> <p>・参加できる研修会が少なく、計画通りに参加できませんでした。</p>		行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数	あんず	1回×8人(職員数) = 8回	2回	0.3回																						
	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数																													
あんず	1回×8人(職員数) = 8回	2回	0.3回																													
<p>②-2 資質向上のため、勉強会を開催します。 (年4回 テマ:安全運転、腰痛対策、接遇、介護保険制度)</p>	100%	<p>②-2 6月に「腰痛対策について」、7月に「接遇について」、11月に「安全運転について」、3月に「介護保険制度について」の勉強会を開催しました。</p>																														
<p>③-1 訪問介護事業においては1カ月の平均サービス提供時間の目標値を1,750時間とします。</p>	92%	<p>③-1 ③-2 営業実績</p> <p>・延べ利用者数及び延べサービス提供時間(訪問介護事業)</p> <table border="1" data-bbox="770 855 2145 1088"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">延べ利用者数</th> <th rowspan="2">延べサービス提供時間数</th> <th rowspan="2">1カ月平均サービス提供時間数</th> <th colspan="4">サービス提供時間数</th> </tr> <tr> <th>身体介護</th> <th>生活援助</th> <th>身体生活</th> <th>総合事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス提供状況</td> <td>21,296人</td> <td>19,271時間 15分</td> <td>1,606時間</td> <td>5,527時間</td> <td>4,593時間</td> <td>6,980時間 15分</td> <td>2,057時間</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-999人</td> <td>-1,462時間 45分</td> <td>-83時間</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table>		延べ利用者数	延べサービス提供時間数	1カ月平均サービス提供時間数	サービス提供時間数				身体介護	生活援助	身体生活	総合事業	サービス提供状況	21,296人	19,271時間 15分	1,606時間	5,527時間	4,593時間	6,980時間 15分	2,057時間	[前年比]	-999人	-1,462時間 45分	-83時間						
	延べ利用者数	延べサービス提供時間数					1カ月平均サービス提供時間数	サービス提供時間数																								
			身体介護	生活援助	身体生活	総合事業																										
サービス提供状況	21,296人	19,271時間 15分	1,606時間	5,527時間	4,593時間	6,980時間 15分	2,057時間																									
[前年比]	-999人	-1,462時間 45分	-83時間																													
<p>③-2 障がい者ヘルパーセンター事業においては1カ月の平均サービス提供時間の目標値を850時間とします。</p>	112%	<p>・年度別推移</p> <table border="1" data-bbox="770 1134 2007 1410"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>65,074,903円</td> <td>71,292,263円</td> <td>66,693,782円</td> <td>77,149,206円</td> <td>74,997,398円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>21,946人</td> <td>22,894人</td> <td>20,846人</td> <td>22,295人</td> <td>21,296人</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>3,412,451円</td> <td>13,124,854円</td> <td>11,204,207円</td> <td>17,582,214円</td> <td>17,986,686円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>2,102,155円</td> <td>9,712,403円</td> <td>-1,920,647円</td> <td>6,378,007円</td> <td>404,472円</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	サービス活動収益	65,074,903円	71,292,263円	66,693,782円	77,149,206円	74,997,398円	延べ利用者数	21,946人	22,894人	20,846人	22,295人	21,296人	当期利益	3,412,451円	13,124,854円	11,204,207円	17,582,214円	17,986,686円	当期利益増減値 [前年比]	2,102,155円	9,712,403円	-1,920,647円	6,378,007円	404,472円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																											
サービス活動収益	65,074,903円	71,292,263円	66,693,782円	77,149,206円	74,997,398円																											
延べ利用者数	21,946人	22,894人	20,846人	22,295人	21,296人																											
当期利益	3,412,451円	13,124,854円	11,204,207円	17,582,214円	17,986,686円																											
当期利益増減値 [前年比]	2,102,155円	9,712,403円	-1,920,647円	6,378,007円	404,472円																											

		・延べ利用者数及びサービス提供時間（障がい者ヘルパーセンター事業）				
		自立支援給付 (居宅、重度訪問、同行援護)		受託事業（移動支援）		1ヵ月平均サービス提供時間数
		延べ利用者数	延べ提供時間数(A)	延べ利用者数	延べ提供時間数(B)	(A+B)÷12
サービス提供状況		8,963人	10,763時間15分	271人	624時間45分	949時間
[前年比]		574人	799時間45分	-27人	58時間15分	71時間30分
		・年度別推移				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
サービス活動収益		47,553,937円	55,465,187円	57,572,344円	53,812,530円	59,617,401円
延べ利用者数		7,973人	8,809人	8,851人	8,687人	9,234人
当期利益		13,986,012円	19,011,067円	13,470,327円	13,129,557円	14,676,526円
当期利益増減値 [前年比]		9,054,690円	5,025,055円	-5,540,740円	-250,770円	1,456,969円

■評価

目標の達成度 評価 B	・訪問介護事業については、新型コロナウイルス感染症の影響によりサービス提供時間が目標値より下回ったため、収益は減りました。しかしながら正職員1人減で運営したため、利益は前年と同水準となっています。 ・障がい者ヘルパーセンター事業については、身体介護及び同行援護の依頼が増えたため、収益は大幅に増えました。
----------------	---

2. 訪問入浴介護事業・・・・・・支出予算 16,205千円

(1) 訪問入浴介護事業・介護予防訪問入浴介護事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質向上に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的に開催します。
- ③市内等の居宅介護支援事業所へ空き状況を報告するなど連携をとりながら、新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数の増加に積極的に取り組んでいきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 情報交換会議を開催します。(年6回)	100%	①-1 情報交換会議を6回開催(5月、7月、9月、11月、1月、3月)しました。

<p>①-2 課題検討会議において令和3年度に未実施であった事業継続計画（BCP）について協議します。（年6回）</p>	83%	<p>①-2 課題解決会議を5回開催（4月、8月、10月、12月、2月）しました。事業継続計画（BCP）については着手しましたが未完成となっています。</p>																																							
<p>①-3 看護師会議を開催します（年3回）</p>	100%	<p>①-3 新型コロナウイルス感染症の感染対策や看護師の応援体制について3回開催（8月、12月、3月）しました。</p>																																							
<p>②-1 常勤職員は外部研修に参加します。 （1人1回以上）</p>	0%	<p>②-1 外部研修の参加状況</p> <table border="1" data-bbox="801 470 1751 574"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> <th>1人あたり平均回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問入浴</td> <td>1回×2人（職員数）=2回</td> <td>0回</td> <td>0.0回</td> </tr> </tbody> </table> <p>・参加できる外部研修はありませんでした。</p>		行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数	訪問入浴	1回×2人（職員数）=2回	0回	0.0回																															
	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数																																						
訪問入浴	1回×2人（職員数）=2回	0回	0.0回																																						
<p>②-2 資質向上のため、勉強会を開催します。 （年4回 テマ：安全運転、腰痛対策、 接遇、介護保険制度）</p>	100%	<p>②-2 5月に「腰痛対策について」、7月に「接遇について」、11月に「安全運転について」、3月に「介護保険制度について」の勉強会を開催しました。</p>																																							
<p>③-1 1カ月の平均利用回数の目標値を110件とします。</p>	88%	<p>③-1 営業実績</p> <p>・延べ利用者数</p> <table border="1" data-bbox="808 949 1509 1098"> <thead> <tr> <th></th> <th>延べ利用者数</th> <th>1カ月の平均利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス提供状況</td> <td>1,167人</td> <td>97人</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-10人</td> <td>-1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・年度別推移</p> <table border="1" data-bbox="808 1145 2087 1422"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>16,351,091円</td> <td>17,094,500円</td> <td>17,667,360円</td> <td>15,997,450円</td> <td>16,023,650円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,238人</td> <td>1,281人</td> <td>1,281人</td> <td>1,177人</td> <td>1,167人</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>-450,122円</td> <td>-295,066円</td> <td>350,428円</td> <td>-667,518円</td> <td>-805,631円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>-1,338,980円</td> <td>155,056円</td> <td>645,494円</td> <td>-1,017,946円</td> <td>-138,113円</td> </tr> </tbody> </table>		延べ利用者数	1カ月の平均利用者数	サービス提供状況	1,167人	97人	[前年比]	-10人	-1人		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	サービス活動収益	16,351,091円	17,094,500円	17,667,360円	15,997,450円	16,023,650円	延べ利用者数	1,238人	1,281人	1,281人	1,177人	1,167人	当期利益	-450,122円	-295,066円	350,428円	-667,518円	-805,631円	当期利益増減値 [前年比]	-1,338,980円	155,056円	645,494円	-1,017,946円	-138,113円
	延べ利用者数	1カ月の平均利用者数																																							
サービス提供状況	1,167人	97人																																							
[前年比]	-10人	-1人																																							
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																				
サービス活動収益	16,351,091円	17,094,500円	17,667,360円	15,997,450円	16,023,650円																																				
延べ利用者数	1,238人	1,281人	1,281人	1,177人	1,167人																																				
当期利益	-450,122円	-295,066円	350,428円	-667,518円	-805,631円																																				
当期利益増減値 [前年比]	-1,338,980円	155,056円	645,494円	-1,017,946円	-138,113円																																				

■評価

目標の達成度 評価 C	<ul style="list-style-type: none"> ・南伊勢町にある介護支援事業所にも空き情報を提供しましたが、新規の利用者はありませんでした。 ・入浴車は3台ありますが、1台はボイラーの調子が悪くなり、使用できなくなっています。現状の利用者数であれば入浴車2台で事業は運営できていますが、その2台の入浴車も年数が経過しており、リース車両の導入を検討するものの費用が高く見送りました。 ・訪問入浴は市内で唯一の事業所であるため、事業が継続できるよう他事業と応援体制を講じながら事業運営をしていきます。
----------------	--

3. 福祉用具貸与事業・・・・・・・・支出予算 1,706千円

(1) 福祉用具貸与事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿った福祉用具を提供することにより、利用者の心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質向上に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的で開催します。
- ③市内等の居宅介護支援事業所への周知を行うなど連携をとりながら、新規利用者の獲得に取り組んでいきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 情報交換会議を開催します。(年6回)	50%	①-1 情報交換会議を3回開催(5月、7月、9月)しました。
①-2 課題検討会議を開催します。(年6回)	33%	①-2 事業の廃止について、理事会へ協議事項として提案しました。
②-1 常勤職員は外部研修に参加します。 (1人1回以上)	0%	②-1 効果が期待できる研修会の開催案内はなく参加できませんでした。
②-2 資質向上のため、勉強会を開催します。 (年4回 テーマ:安全運転、腰痛対策、 接遇、介護保険制度)	50%	②-2 5月に「腰痛対策について」7月に「接遇について」の勉強会を開催しました。
③-1 1ヵ月の平均貸与利用者数の目標値を20人とします。	40%	③-1 営業実績(9月末で事業を廃止)

		・延べ利用者数																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>貸与利用者数</th> <th>販売利用者数</th> <th>1ヵ月の平均貸与数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>48人</td> <td>0人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-62人</td> <td>-3人</td> <td>-1人</td> </tr> </tbody> </table>		貸与利用者数	販売利用者数	1ヵ月の平均貸与数	延べ利用者数	48人	0人	8人	[前年比]	-62人	-3人	-1人																		
	貸与利用者数	販売利用者数	1ヵ月の平均貸与数																													
延べ利用者数	48人	0人	8人																													
[前年比]	-62人	-3人	-1人																													
		・年度別推移																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>2,361,667円</td> <td>2,411,738円</td> <td>2,020,710円</td> <td>1,637,380円</td> <td>689,620円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>152人</td> <td>163人</td> <td>128人</td> <td>110人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>935,927円</td> <td>410,475円</td> <td>233,734円</td> <td>115,493円</td> <td>56,622円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>39,196円</td> <td>-525,452円</td> <td>-176,741円</td> <td>-118,241円</td> <td>-58,871円</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	サービス活動収益	2,361,667円	2,411,738円	2,020,710円	1,637,380円	689,620円	延べ利用者数	152人	163人	128人	110人	48人	当期利益	935,927円	410,475円	233,734円	115,493円	56,622円	当期利益増減値 [前年比]	39,196円	-525,452円	-176,741円	-118,241円	-58,871円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																											
サービス活動収益	2,361,667円	2,411,738円	2,020,710円	1,637,380円	689,620円																											
延べ利用者数	152人	163人	128人	110人	48人																											
当期利益	935,927円	410,475円	233,734円	115,493円	56,622円																											
当期利益増減値 [前年比]	39,196円	-525,452円	-176,741円	-118,241円	-58,871円																											

■評価

目標の達成度	・福祉用具貸与事業の今後の方向性について、6月開催の理事会において事業展開を協議し9月末をもって廃止の手続きを進めました。
評価	D

4. 訪問看護事業・・・・・・・・支出予算 13,230千円

(1) 訪問看護事業

■目標

- ① 利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ② 職員の資質向上に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的に行います。
- ③ 市内等の居宅介護支援事業所へ空き状況を報告するなど連携をとりながら、新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数の増加に積極的に取り組んでいきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 情報交換会議を開催します。(年6回)	100%	①-1 情報交換会議を6回開催(5月、7月、9月、11月、1月、3月)しました。
①-2 課題検討会議において令和3年度に未実施であった事業継続計画(BCP)について協議します。(年6回)	83%	①-2 課題解決会議を5回開催(4月、8月、10月、12月、2月)しました。事業継続計画(BCP)については着手しましたが未完成となっています。

①-3 看護師会議を開催します（年3回）	33%	①-3 新型コロナウイルス感染症の感染対策や看護師の応援体制について1回開催（8月）出席しました。																																							
①-4 毎月1回訪問看護連絡協議会での事業所 管理者会議へ出席します。	83%	①-4 新型コロナウイルス感染症の対策を行い、管理者会議に10回出席し、情報共有・資質の向上に努めました。																																							
②-1 常勤職員は外部研修に参加します。 （1人6回以上）	100%	②-1 外部研修の参加状況 <table border="1" data-bbox="824 406 1769 510"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> <th>1人あたり平均回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問看護</td> <td>6回×2人（職員数）=12回</td> <td>12回</td> <td>6.0回</td> </tr> </tbody> </table> <p>（新型コロナウイルス感染症等の対応、災害時の対応、令和4年度診療報酬改定、薬剤師との協働体制、虐待研修、心の距離を縮めるコミュニケーション、パーキンソン病等）</p> <p>オンライン研修会を活用することで、研修会に参加しやすい環境ができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員再研修を10日間1人受講しました。 		行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数	訪問看護	6回×2人（職員数）=12回	12回	6.0回																															
	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数																																						
訪問看護	6回×2人（職員数）=12回	12回	6.0回																																						
②-2 資質向上のため、勉強会を開催します。 （年4回 テマ：安全運転、腰痛対策、 接遇、介護保険制度）	100%	②-2 5月に「腰痛対策について」、7月に「接遇について」、11月に「安全運転について」、3月に「介護保険制度について」の勉強会を開催しました。																																							
③-1 1月の平均サービス提供時間の目標値を 105時間とします。	110%	③-1 営業実績 <ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供状況 <table border="1" data-bbox="806 1002 1939 1177"> <thead> <tr> <th></th> <th>介護保険 延べ利用者数</th> <th>医療保険 延べ利用者数</th> <th>延べサービス 提供時間数</th> <th>1ヵ月平均サービス 提供時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス提供状況</td> <td>1,843人</td> <td>120人</td> <td>1,393時間30分</td> <td>116時間</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>+43人</td> <td>+35人</td> <td>+78時間30分</td> <td>+6時間30分</td> </tr> </tbody> </table> ・年度別推移 <table border="1" data-bbox="810 1225 2083 1425"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>11,146,590円</td> <td>10,947,290円</td> <td>12,393,769円</td> <td>11,652,250円</td> <td>12,484,012円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,924人</td> <td>1,791人</td> <td>1,938人</td> <td>1,885人</td> <td>1,963人</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>1,771,213円</td> <td>-2,124,547円</td> <td>-1,742,243円</td> <td>-2,034,284円</td> <td>-2,013,452円</td> </tr> </tbody> </table> 		介護保険 延べ利用者数	医療保険 延べ利用者数	延べサービス 提供時間数	1ヵ月平均サービス 提供時間数	サービス提供状況	1,843人	120人	1,393時間30分	116時間	[前年比]	+43人	+35人	+78時間30分	+6時間30分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	サービス活動収益	11,146,590円	10,947,290円	12,393,769円	11,652,250円	12,484,012円	延べ利用者数	1,924人	1,791人	1,938人	1,885人	1,963人	当期利益	1,771,213円	-2,124,547円	-1,742,243円	-2,034,284円	-2,013,452円
	介護保険 延べ利用者数	医療保険 延べ利用者数	延べサービス 提供時間数	1ヵ月平均サービス 提供時間数																																					
サービス提供状況	1,843人	120人	1,393時間30分	116時間																																					
[前年比]	+43人	+35人	+78時間30分	+6時間30分																																					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																				
サービス活動収益	11,146,590円	10,947,290円	12,393,769円	11,652,250円	12,484,012円																																				
延べ利用者数	1,924人	1,791人	1,938人	1,885人	1,963人																																				
当期利益	1,771,213円	-2,124,547円	-1,742,243円	-2,034,284円	-2,013,452円																																				

		当期利益増減値 [前年比]	1,970,159円	-3,895,760円	382,304円	-292,041円	20,832円
--	--	------------------	------------	-------------	----------	-----------	---------

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・1ヵ月の平均サービス提供時間は目標値を上回りましたが、令和4年12月からは1ヵ月の平均サービス提供時間が100時間を下回っています。 ・当期利益は赤字が続いており、今後の事業継続について検討が必要です。
評価	C

5. 通所介護事業・・・・・・・・支出予算 241,750千円

(1) 通所介護事業及び介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービス

■目標

- ① 利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ② 職員の資質向上に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的に開催します。
- ③ 市内等の居宅介護支援事業所に空き情報をこまめに報告するなど連携をとりながら、新規利用者の獲得及び利用者のサービス提供回数の増加に積極的に取り組みます。
- ④ 利用者の地域における社会参加活動や地域住民との交流を促進する観点から、事業の運営に当たって、感染症対策を講じながら地域住民やボランティア団体等との連携・協力をを行い地域との交流に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 情報交換会議を開催します。 (年6回)	100%	①-1 通所会議を6回開催(5月、7月、9月、11月、1月、3月)しました。
①-2 課題検討会議を開催します。 (年6回)	100%	①-2 課題解決会議を6回開催(4月、6月、8月、10月、12月、2月)しました。
①-3 看護師会議を開催します(年3回)	100%	①-3 新型コロナウイルス感染症の感染対策や看護師の応援体制について3回開催(8月、12月、3月)しました。
②-1 常勤職員は外部研修に参加します。 (1人2回以上)	86%	②-1 外部研修の参加状況

	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数
浜島通所	2回×10人(職員数) =20回	16回	1.6回
大王通所	2回×8人(職員数) =16回	16回	2.0回
磯部通所	2回×7人(職員数) =14回	11回	1.6回
計	50回	43回	1.7回

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため参加予定の研修会が急きょ中止になり、計画どおり参加できませんでした。

②-2 資質向上のため、勉強会を開催します。(年4回 テマ:安全運転、腰痛対策、接遇、介護保険制度)

100%

②-2 各事業所において、5月に「腰痛対策について」、7月に「接遇について」、11月に「安全運転について、」3月に「介護保険制度について」の勉強会を開催しました。

③-1 1日の平均利用者数の目標を以下のとおりとします。

浜島 97%

大王 95%

磯部 90%

③-1 営業実績

・経営状況

	浜島事業所	大王事業所	磯部事業所	合計
利用定員	45人	40人	45人	130人
延べ利用者数	11,174人	9,136人	9,518人	29,828人
[前年比]	-537人	+367人	-302人	-472人
サービス提供日数	302日	301日	302日	
1日平均利用者数	37.0人	30.4人	31.5人	98.9人
令和3年度 1日平均利用者数	38.1人	28.5人	32.1人	96.7人
当期利益	-1,790,887円	2,803,870円	2,567,297円	3,580,280円
当期利益増減値 [前年比]	-14,694,153円	-2,203,362円	-7,307,833円	-24,205,348円

・年度別推移

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
④-1 ボランティア団体等によるボランティア活動により、話し相手（傾聴）や余興（演奏、舞踏、マジックなど）の受入れなど地域との交流に努めます。また、保育園や小学校との交流活動を通じて、福祉連帯の気持ちを育みます。 ⑤ その他（計画外）	33%	サービス活動収益	280,098,404円	274,740,914円	295,860,053円	304,080,184円	
		延べ利用者数	32,921人	32,856人	33,868人	35,118人	29,828人
		当期利益	2,131,961円	-4,589,461円	21,099,609円	22,161,530円	3,580,280円
		当期利益増減値 [前年比]	-11,790,754円	-6,721,422円	25,689,070円	1,061,921円	-24,205,348円
		④-1 磯部通所介護事業所において、小学校と交流活動を3回行いました。 ⑤ 磯部通所介護事業所において新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したため、県の情報分析班から、現場確認及び今後の対応について指導・助言を受け、対応しました。					

■評価

目標の達成度 評価 C	<ul style="list-style-type: none"> ・阿児通所介護事業所の閉鎖により収益は大幅に減少しました。 ・新型コロナウイルス感染症の陽性者が複数人発症した影響で、浜島通所6.5日間、大王通所7日間、磯部通所6.5日間休業しました。
----------------	--

6. 介護予防事業・・・支出予算 5,558千円

(1) 生きがい活動支援通所事業（志摩市受託事業）

■目標

- ① 外出の機会が少ない高齢者等が、要介護に陥らず、生きがいを持ち地域で自立した生活を送ることができるよう支援します。
- ② 職員の資質向上に取り組み、課内で開催される勉強会に参加します。
- ③ 利用者の地域における社会参加活動や地域住民との交流を促進する観点から、事業の運営に当たって、感染症対策を講じながら地域住民やボランティア団体等との連携・協力をを行い地域との交流に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																							
<p>①-1 菜の花館の運営を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きがい活動支援通所事業の実施（水曜日、金曜日） ・一般利用（火曜日、木曜日） 	<p>100%</p>	<p>①-1 営業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ利用者数 <table border="1" data-bbox="810 280 1845 424"> <thead> <tr> <th></th> <th>生きがい活動支援通所（水・金）</th> <th>一般高齢者通所（火・木）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>768 人</td> <td>927 人</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-39 人</td> <td>+716 人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・年度別推移 <table border="1" data-bbox="815 472 2047 737"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> <th>令和 4 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>3,859,000 円</td> <td>3,239,700 円</td> <td>2,536,100 円</td> <td>3,572,500 円</td> <td>3,626,300 円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数(生きがい)</td> <td>826 人</td> <td>686 人</td> <td>542 人</td> <td>807 人</td> <td>768 人</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>-631,409 円</td> <td>-1,335,438 円</td> <td>-1,813,058 円</td> <td>-940,764 円</td> <td>-2,100,194 円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>-639,570 円</td> <td>-704,029 円</td> <td>-477,620 円</td> <td>872,294 円</td> <td>-1,159,430 円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、閉館することなく運営しました。 		生きがい活動支援通所（水・金）	一般高齢者通所（火・木）	延べ利用者数	768 人	927 人	[前年比]	-39 人	+716 人		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	サービス活動収益	3,859,000 円	3,239,700 円	2,536,100 円	3,572,500 円	3,626,300 円	延べ利用者数(生きがい)	826 人	686 人	542 人	807 人	768 人	当期利益	-631,409 円	-1,335,438 円	-1,813,058 円	-940,764 円	-2,100,194 円	当期利益増減値 [前年比]	-639,570 円	-704,029 円	-477,620 円	872,294 円	-1,159,430 円
	生きがい活動支援通所（水・金）	一般高齢者通所（火・木）																																							
延べ利用者数	768 人	927 人																																							
[前年比]	-39 人	+716 人																																							
	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度																																				
サービス活動収益	3,859,000 円	3,239,700 円	2,536,100 円	3,572,500 円	3,626,300 円																																				
延べ利用者数(生きがい)	826 人	686 人	542 人	807 人	768 人																																				
当期利益	-631,409 円	-1,335,438 円	-1,813,058 円	-940,764 円	-2,100,194 円																																				
当期利益増減値 [前年比]	-639,570 円	-704,029 円	-477,620 円	872,294 円	-1,159,430 円																																				
<p>②-1 資質向上のため、勉強会を開催します。 (年4回 テマ：安全運転、腰痛対策、 接遇、介護保険制度)</p>	<p>100%</p>	<p>②-1 5月に「腰痛対策について」、7月に「接遇について」、11月に「安全運転について」、3月に「介護保険制度について」の勉強会を開催しました。</p>																																							
<p>③-1 市が実施している介護予防ボランティアポイント事業を活用し、ボランティアの受け入れを行なっていきます。</p>	<p>100%</p>	<p>③-1 ボランティア 1 人を受け入れました。</p>																																							

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1257 282 1305"> <tr> <td>評価</td> <td>C</td> </tr> </table>	評価	C	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度中の新規の利用者は 1 人でした。 ・介護保険を申請し、要介護になった利用者が 3 人で、菜の花館の実利用者は 9 人となっています。 ・受託事業にも関わらず、毎年度赤字となっており、市とも菜の花館の運営に関して協議しましたが、令和 5 年度以降も継続して協議することとしています。 ・光熱水費が高騰しており、令和 5 年度以降さらに赤字が膨らむと見込んでいます。
評価	C		

○障がい福祉課（事業方針）

障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、関係機関と連携しながら事業を運営していくため、次の事業に取り組みます。特に、障がい福祉分野で必要となる資格取得に向けて、障がい福祉課において一元管理していきます。

また、事業所ごとに各種行事やイベント等での交流を通じて、障がいのある人に対する理解を深め、障がいの有無にかかわらず誰もがお互いを尊重し、ともに生きる社会を作っていくよう取り組んでいきます。

大災害などの非常時において、本会の担うべき業務と事業の再開・継続に向けた過程を明らかにするために、障がい福祉課としての事業継続計画（BCP）を構築していきます。

新型コロナウイルス感染症拡大予防のための感染症対策に向けた訓練の実施や、虐待防止委員会の定期的開催により、利用者の権利を擁護する仕組みづくりに努めていきます。



1. 障がい者生活介護センター事業・・・支出予算 94,561千円

(1) 障がい者生活介護センター事業

■目標

①介護を要する障がいのある方に対し、通所による入浴、排せつ及び食事等の介護、創作活動や生産活動の機会の提供、その他身体機能及び生活能力の向上のために必要な援助を行います。

また、家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。

②浸水想定区域となっているきらり事業所及びはばたき事業所の高台移転について検討していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況												
①-1 常勤職員は、年2回以上の外部研修に参加するとともに事業所内での伝達講習を行うことにより、職員の資質向上を図ります。	33%	<p>①-1 外部研修参加の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> <th>1人あたり平均回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かがやき</td> <td>2回×17人（職員数）＝34回</td> <td>7回</td> <td>0.4回</td> </tr> <tr> <td>きらり</td> <td>2回×17人（職員数）＝34回</td> <td>16回</td> <td>0.9回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【かがやき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でオンライン研修が中心となってきているため、可能な限り職員の知識や意欲向上に繋がる研修に参加するよう促しました。下半期では、虐待防止伝達講習を行い、パート職員も参加し資質向上を図ることができました。利用者支援が優先となってしまう、パート職員を外部研修へ参加する機会が確保できませんでした。 <p>【きらり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修参加回数は16回で年間進捗率は47%となり、外部研修の目標回数は達成できませんでした。その他の研修内訳としては、法人内研修53回、事業所内研修29回の実施により、内部研修の参加延べ回数は82回の実績となりました。 		行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数	かがやき	2回×17人（職員数）＝34回	7回	0.4回	きらり	2回×17人（職員数）＝34回	16回	0.9回
	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数											
かがやき	2回×17人（職員数）＝34回	7回	0.4回											
きらり	2回×17人（職員数）＝34回	16回	0.9回											

<p>①-2 毎月1回事業所連携会議を開催し、情報の共有、課題等の検討に取り組みます。</p>	<p>104%</p>	<p>①-2 会議開催の状況</p> <table border="1" data-bbox="824 181 1653 331"> <thead> <tr> <th></th> <th>職員会議</th> <th>支援会議等</th> <th>計 (回数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かがやき</td> <td>14 回</td> <td>12 回</td> <td>26 回</td> </tr> <tr> <td>きらり</td> <td>12 回</td> <td>12 回</td> <td>24 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【かがやき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の常勤職員会議で、情報共有とサービスの質の向上に向けた事業所内研修に取り組むことができました。感染対策を行いながら全職員の会議も2回開催することができ、職員間の情報共有や利用者支援に活かすことができました。 <p>【きらり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議12回、支援会議12回を開催し、参加できなかった職員へは会議内容の伝達も行き、職員間で情報共有したことにより利用者支援に活かすことができました。 		職員会議	支援会議等	計 (回数)	かがやき	14 回	12 回	26 回	きらり	12 回	12 回	24 回												
	職員会議	支援会議等	計 (回数)																							
かがやき	14 回	12 回	26 回																							
きらり	12 回	12 回	24 回																							
<p>①-3 職員のスキルアップのため、勉強会の機会を確保します。(年1回以上)</p>	<p>50%</p>	<p>①-3</p> <p>【かがやき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止伝達研修の後、身体拘束の禁止についての勉強会を実施しました。 <p>【きらり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全運転管理者講習の資料に基づき事業所内で伝達研修を行いました。また、鳥羽警察署から、交通安全活動の推進と交通事故防止を目的として、令和4年9月21日から11月30日の期間で「安全運転管理推奨像」を預かり、「横断歩行者事故ゼロ運動推進事業所」として指定を受け推進期間を終了しました。 																								
<p>①-4 1日の平均利用者数の目標を以下のとおりとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きらり事業所：17人 ・かがやき事業所：13人 	<p>きらり 94%</p> <p>かがやき 91%</p>	<p>①-4 営業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営状況 <table border="1" data-bbox="824 1145 1787 1442"> <thead> <tr> <th></th> <th>かがやき事業所</th> <th>きらり事業所</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用定員</td> <td>20 人</td> <td>20 人</td> <td>40 人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>2,890 人</td> <td>3,900 人</td> <td>6,790 人</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-29 人</td> <td>-191 人</td> <td>-220 人</td> </tr> <tr> <td>サービス提供日数</td> <td>243 日</td> <td>242 日</td> <td>485 日</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用者数</td> <td>11.9 人</td> <td>16.1 人</td> <td>14.0 人</td> </tr> </tbody> </table>		かがやき事業所	きらり事業所	合計	利用定員	20 人	20 人	40 人	延べ利用者数	2,890 人	3,900 人	6,790 人	[前年比]	-29 人	-191 人	-220 人	サービス提供日数	243 日	242 日	485 日	1日平均利用者数	11.9 人	16.1 人	14.0 人
	かがやき事業所	きらり事業所	合計																							
利用定員	20 人	20 人	40 人																							
延べ利用者数	2,890 人	3,900 人	6,790 人																							
[前年比]	-29 人	-191 人	-220 人																							
サービス提供日数	243 日	242 日	485 日																							
1日平均利用者数	11.9 人	16.1 人	14.0 人																							

令和3年度 1日平均利用者数	12.0人	16.8人	14.4人
当期利益	3,397,323円	-11,965,109円	-8,567,786円
当期利益増減値 [前年比]	-1,603,833円	-3,199,685円	-4,803,518円

・年度別推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
サービス活動収益	100,385,715円	97,404,172円	101,791,077円	94,205,875円	92,363,004円
延べ利用者数	7,571人	7,368人	7,328人	7,010人	6,790人
当期利益	11,288,870円	2,743,391円	-6,351,627円	-3,764,268円	-8,567,786円
当期利益増減値 [前年比]	-4,570,848円	-8,545,479円	-9,095,017円	2,587,359円	-4,803,518円

【かがやき】

・令和4年5月に1人が退所となりました。6月から2人の増員がありました。ショートステイを利用される方や、入院となる利用者3人も見受けられました。1日平均利用者数が11.9人となり目標数に達成できていない状況となりました。また週2回利用の1人の方が、週1回の利用となったために、利用者数の減少となりました。

【きらり】

・1日平均利用者数は16.1人で進捗率は94%となり、目標数17人を達成することができませんでした。令和4年3月末で週1～2回の利用者が2人退所、毎日利用の方が5月に1人、10月に1人退所となり、令和4年度新規利用者の方が2月末で退所となりました。また、コロナ禍の状況で、感染者や濃厚接触者が急増したことにより、8月に1日のみですが休業いたしました。そのため、グループホームからサービスを利用している2人は、入所施設内の感染拡大に配慮して数日間利用を控える結果となりました。在宅からの通所利用者も2人程度、コロナ禍による感染の恐れにより3～4カ月程度の期間において利用を控える結果となりました。これらの影響から、年間延べ利用者数と1日平均利用者数が、令和3年度と比較して減少する実績となりました。

②-1 「高台移転プロジェクト検討会」(仮)において、はばたき事業所と連携し高台移転について検討します。(会議年4回)

25%

②-1 第1回高台移転プロジェクト検討会議を下記のとおり実施しました。
実施日：令和5年1月26日(木)13:30～15:00
場 所：障がい者生活介護センターきらり
参加者：4人

	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を参照しながら、障がい福祉サービスの利用実績について、現状を確認しました。 ・高台移転を検討すると合わせて、事業統合についても今後検討していくことになりました。 <p>【その他】</p> <p>志摩市社会福祉協議会虐待防止委員会</p> <p><定例会></p> <p>利用者の権利を擁護するための虐待防止委員会を定期的に開催しました。虐待防止委員会の実施（11回開催）</p> <p>5月12日（木）、6月16日（木）、7月14日（木）、9月15日（木）、10月7日（金）、10月14日（金）、10月27日（木）、11月9日（水）、12月16日（金）、1月24日（火）、3月13日（月）</p> <p>令和4年度の各事業所における虐待防止取組方法について検討しました。</p> <p><研修会></p> <p>○令和4年度虐待防止研修会の開催（主催：志摩市社会福祉協議会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月16日（水）13:30～15:30 <講師：(有)With A Will 市川 知律 氏> <p>事業所の管理者及びサービス管理責任者が参加<19人></p> <p>「志摩市虐待防止委員会について」「虐待防止法について」「事例検討について」「虐待があった事業所に統一して誤った運営方法についての紹介」「個別支援計画及びマニュアル」等についての研修会を実施しました。</p> <p>○令和4年度障がい者生活介護センターきらり虐待再発防止研修会の開催（主催：志摩市社会福祉協議会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月10日（金）16:30～18:15 <講師：(有)With A Will 市川 知律 氏> <p>障がい者生活介護センターきらり職員を中心に参加<19人></p> <p>きらりでの虐待通報事案における事例検討による研修会を実施しました。</p>
--	---

■評価

<table border="1"> <tr> <td>目標の達成度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	目標の達成度		評価	B	<p>・両事業所とも延べ利用者数は令和3年度より減少となり、それに伴って介護給付費収益においてもそれぞれの事業所が、令和3年度より約121万円程度減額する結果となりました。</p>
目標の達成度					
評価	B				

2. 放課後等デイサービス事業・・・・・・・・支出予算 14,903千円

(1) 障がい児童デイサービスセンター事業

■目標

- ① 障がいのある学齢期の子どもの健全な育成を図るため、授業の終了後または休業日に、生活能力の向上に必要な訓練や指導、集団生活への適応訓練、社会との交流の促進等を行い、様々な体験を通じ個々の子どもの状況に応じた発達支援を提供します。
- ② 提供するサービスを創意工夫し、支援の質の向上を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況										
<p>①-1 毎月支援会議及び事業所連携会議を開催し情報の共有や支援課題の検討等に取り組みます。</p>	41%	<p>①-1 会議開催の状況</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;"></th> <th style="text-align: center;">職員会議</th> <th style="text-align: center;">支援会議等</th> <th style="text-align: center;">計（回数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">くれよん</td> <td style="text-align: center;">5回</td> <td style="text-align: center;">5回</td> <td style="text-align: center;">10回</td> </tr> </tbody> </table>		職員会議	支援会議等	計（回数）	くれよん	5回	5回	10回		
	職員会議	支援会議等	計（回数）									
くれよん	5回	5回	10回									
<p>①-2 職員のスキルアップや事故・虐待防止のために職員全体会議及び勉強会を開催します。 (年4回以上)</p>	25%	<p>①-2 8月に利用者及び職員が新型コロナウイルス感染症に感染したことが確認されました。そのため職員全体会議において、感染症に対する感染対策を協議しました。</p>										
<p>①-3 相談支援事業所と連携しながら、成長の変化が著しい利用者に対応するため、再アセスメントを計画していきます。(年1回) また、少子化により実利用者数が減少しているため、関係機関を通じパンフレット等で啓発していきます。</p>	アセスメント 85% 啓発 0%	<p>①-3 サービス担当者会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者の保護者、相談支援事業所の担当者が全て出席する開催は困難な状況となりました。そのため、書面による情報共有や電話、メールなどの方法により再アセスメントを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用登録者数は14人となり、卒業生を除いた12人の再アセスメントを行いました。 ・関係機関を通じたパンフレット等での啓発活動は実施できませんでした。 										
<p>①-4 1日の平均利用者数の目標を8人とします。</p>	74%	<p>①-4 営業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営状況 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;"></th> <th style="text-align: center;">くれよん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">利用定員</td> <td style="text-align: center;">10人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">延べ利用者数</td> <td style="text-align: center;">1,456人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">[前年比]</td> <td style="text-align: center;">-212人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">サービス提供日数</td> <td style="text-align: center;">243日</td> </tr> </tbody> </table>		くれよん	利用定員	10人	延べ利用者数	1,456人	[前年比]	-212人	サービス提供日数	243日
	くれよん											
利用定員	10人											
延べ利用者数	1,456人											
[前年比]	-212人											
サービス提供日数	243日											

		1日平均利用者数	6.0人																																
		令和3年度1日平均利用者数	6.9人																																
		当期利益	-440,225円																																
		当期利益増減値 [前年比]	3,816,081円																																
②-1 支援の質の向上のため、1人2回以上の外部研修に参加します。	40%	・年度別推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>30,332,397円</td> <td>26,877,689円</td> <td>26,197,232円</td> <td>16,559,780円</td> <td>14,892,795円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>3,250人</td> <td>2,830人</td> <td>2,567人</td> <td>1,668人</td> <td>1,456人</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>1,991,897円</td> <td>-2,617,936円</td> <td>2,918,624円</td> <td>-4,256,306円</td> <td>-440,225円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>-8,428,748円</td> <td>-4,609,833円</td> <td>5,536,559円</td> <td>-7,174,930円</td> <td>3,816,081円</td> </tr> </tbody> </table>					平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	サービス活動収益	30,332,397円	26,877,689円	26,197,232円	16,559,780円	14,892,795円	延べ利用者数	3,250人	2,830人	2,567人	1,668人	1,456人	当期利益	1,991,897円	-2,617,936円	2,918,624円	-4,256,306円	-440,225円	当期利益増減値 [前年比]	-8,428,748円	-4,609,833円	5,536,559円	-7,174,930円	3,816,081円
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																												
サービス活動収益	30,332,397円	26,877,689円	26,197,232円	16,559,780円	14,892,795円																														
延べ利用者数	3,250人	2,830人	2,567人	1,668人	1,456人																														
当期利益	1,991,897円	-2,617,936円	2,918,624円	-4,256,306円	-440,225円																														
当期利益増減値 [前年比]	-8,428,748円	-4,609,833円	5,536,559円	-7,174,930円	3,816,081円																														
②-2 利用者が安心して過ごせるような環境づくりに努めます。	30%	②-1 外部研修参加の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> <th>1人あたり平均回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>くれよん</td> <td>2回×5人(職員数)=10回</td> <td>4回</td> <td>0.8回</td> </tr> </tbody> </table>					行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数	くれよん	2回×5人(職員数)=10回	4回	0.8回																						
	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数																																
くれよん	2回×5人(職員数)=10回	4回	0.8回																																
		②-2 不穏行動になりがちな利用者に対して、ゆうゆう苑2階ロビー、隣接するあいのその施設等を活用して、個別に過ごせる居場所を提供しました。																																	

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>D</td> </tr> </table>	評価	D	・放課後と長期休暇の利用実績数を比較しても特に大きな変化はなく、年間を通して1日平均利用者数は毎月6人程度の推移となりました。 ・コロナ禍の影響や少子化による利用者数の減少等により、延べ利用者数は前年比212人の減少で大きく落ち込む結果となりました。
評価	D		

3. 就労支援事業・・・・・・支出予算 162,953千円

(1) 就労継続支援B型事業

■目標

- ①一般企業等での就労が困難な障がいのある方に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。
- ②浸水想定区域となっているきらり事業所及びびはばたき事業所の高台移転について検討していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																														
<p>【全事業所共通】</p> <p>①-1 職員会議を毎月1回開催します。また、その他必要に応じて職員会議・支援会議等を適宜開催します。</p>	81%	<p>【全事業所共通】</p> <p>①-1 会議開催の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>職員会議</th> <th>支援会議等</th> <th>計(回数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はばたき</td> <td>5回</td> <td>5回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>あいのその</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>えりはら</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>ひまわり</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>20回</td> </tr> </tbody> </table> <p>*目標：各事業所24回/年×4事業所 実績：78回/96回</p>		職員会議	支援会議等	計(回数)	はばたき	5回	5回	10回	あいのその	12回	12回	24回	えりはら	12回	12回	24回	ひまわり	10回	10回	20回										
	職員会議	支援会議等	計(回数)																													
はばたき	5回	5回	10回																													
あいのその	12回	12回	24回																													
えりはら	12回	12回	24回																													
ひまわり	10回	10回	20回																													
<p>①-2 外部研修に積極的に参加するとともに、事業所内での伝達講習を行うことにより、職員の資質向上を図ります。</p>	103%	<p>①-2 外部研修参加の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> <th>1人あたり平均回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はばたき</td> <td>2回×16人(職員数) = 32回</td> <td>37回</td> <td>2.3回</td> </tr> <tr> <td>あいのその</td> <td>2回×10人(職員数) = 20回</td> <td>21回</td> <td>2.1回</td> </tr> <tr> <td>えりはら</td> <td>2回×15人(職員数) = 30回</td> <td>36回</td> <td>2.4回</td> </tr> <tr> <td>ひまわり</td> <td>2回×8人(職員数) = 16回</td> <td>7回</td> <td>0.9回</td> </tr> </tbody> </table>		行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数	はばたき	2回×16人(職員数) = 32回	37回	2.3回	あいのその	2回×10人(職員数) = 20回	21回	2.1回	えりはら	2回×15人(職員数) = 30回	36回	2.4回	ひまわり	2回×8人(職員数) = 16回	7回	0.9回										
	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数																													
はばたき	2回×16人(職員数) = 32回	37回	2.3回																													
あいのその	2回×10人(職員数) = 20回	21回	2.1回																													
えりはら	2回×15人(職員数) = 30回	36回	2.4回																													
ひまわり	2回×8人(職員数) = 16回	7回	0.9回																													
<p>①-3 1日の平均利用者数の目標を以下のとおりとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はばたき事業所：17人 ・あいのその事業所：17人 ・えりはら事業所：18人 	<p>はばたき 98%</p> <p>あいのその 102%</p> <p>えりはら 95%</p>	<p>①-3 就労支援事業営業実績</p> <p>・経営状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>はばたき</th> <th>あいのその</th> <th>えりはら</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用定員</td> <td>20人</td> <td>20人</td> <td>20人</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>4,137人</td> <td>4,311人</td> <td>4,371人</td> <td>12,819人</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-263人</td> <td>+210人</td> <td>-281人</td> <td>-334人</td> </tr> <tr> <td>サービス提供日数</td> <td>246日</td> <td>247日</td> <td>254日</td> <td>747日</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用者数</td> <td>16.8人</td> <td>17.5人</td> <td>17.2人</td> <td>17.2人</td> </tr> </tbody> </table>		はばたき	あいのその	えりはら	合計	利用定員	20人	20人	20人	60人	延べ利用者数	4,137人	4,311人	4,371人	12,819人	[前年比]	-263人	+210人	-281人	-334人	サービス提供日数	246日	247日	254日	747日	1日平均利用者数	16.8人	17.5人	17.2人	17.2人
	はばたき	あいのその	えりはら	合計																												
利用定員	20人	20人	20人	60人																												
延べ利用者数	4,137人	4,311人	4,371人	12,819人																												
[前年比]	-263人	+210人	-281人	-334人																												
サービス提供日数	246日	247日	254日	747日																												
1日平均利用者数	16.8人	17.5人	17.2人	17.2人																												

令和3年度 1日平均利用者数	16.4人	16.7人	18.3人	17.1人
当期利益	-5,083,701円	4,452,426円	-3,796,684円	-4,427,959円
当期利益増減値 [前年比]	-2,973,447円	2,576,146円	-3,075,409円	-3,472,710円

・年度別推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
サービス活動収益	158,583,471円	159,374,375円	156,996,096円	151,113,909円	151,393,848円
延べ利用者数	14,495人	14,119人	13,965人	13,153人	12,819人
当期利益	14,366,383円	12,173,445円	1,410,128円	-955,249円	-4,427,959円
当期利益増減値 [前年比]	1,057,142円	-2,192,938円	-10,763,317円	-2,365,377円	-3,472,710円

【はばたき】

- ・4月に1人、7月に1人新規の利用者がありましたが、8月に1人、10月に2人、3月に1人がA型事業所に利用移行となりました。
- ・12月～1月に体調不良で1人、2月～3月に家庭の都合で1人利用控えとなりましたが、1日平均利用者数は令和3年度並みの実績となりました。

【あいのその】

- ・令和4年4月から、週4日利用の方が1人、週5日利用の方が1人新規による利用となりました。
- ・令和4年4月から、令和3年の夏頃から骨折で入院や自宅療養をしていた利用者が、週5日の利用再開となりました。

【えりはら】

- ・令和4年10月から令和5年3月まで、家族の都合により毎日利用の方が1人利用控えとなりました。また、新規による利用者実績はありませんでした。
- ・内職作業は、新たに榎福屋より海産物加工品の箱詰め作業を請負い、利用者に適した作業をいただくことができました。

【はばたき】

①-4

- ・農園は、天候にも左右されやすい作業ではありますが、常に地域の方々や委託先と連携をとり代替えの作業準備を行いました。
- ・味処については、利用者が参加でき、かつコストの低いメニューを取り入れるなどの工夫をし、工賃の維持に取り組みました。
- ・エスパスについては、福祉市場レインボーの運営をひまわりに移行したことから販売経路の縮小となりましたが、取引先とのコミュニケーションに努め、新商品の提案を行う等工賃の維持に取り組みました。

【障がい者支援施設はばたき】

①-4 様々な環境下においても工賃を維持できるように作業計画の充実を図ります。

100%

<p>①-5 常勤職員は、年2回以上の外部研修に参加します。また、パート職員を含めた勉強会を開催します。(年1回以上)</p>	<p>100%</p>	<p>・就労収入が就労支出を大幅に上回ったため、12月～3月分の利用者工賃の時間給を通常より上乗せして支払うことができました。</p> <p>①-5</p> <p>・障がい者特化した研修の他、虐待研修、防災研修等を受講しました。(常勤職員延べ21回参加)</p> <p>・下半期には、パート職員を含めた虐待研修の伝達研修を実施しました。本会が実施したハラスメント研修、感染症予防研修には職員全員が参加 (YouTube視聴を含む) しました。</p>
<p>①-6 作業メニューを様々な状況に合わせて柔軟に対応できるように構築していきます。</p>	<p>100%</p>	<p>①-6</p> <p>・利用者の希望を尊重しながら本人の体力面や個性を考慮するとともに、常に職員間で情報交換を行い、個別支援計画に基づいた支援を行ってきました。また、下半期には、積極的に個別支援計画や支援方法について見直しを行い、サービスの質の向上に努めました。</p>
<p>①-7 令和3年度に引き続き、現状の事業を見直し、整理を行います。</p>	<p>50%</p>	<p>①-7</p> <p>・3事業に分かれています。繁忙期や職員が一時的に不足する時には、お互いが応援するバックアップ体制の構築に努めました。</p> <p>・あいのその事業所と情報交換しながら、必要な時には職員を派遣し効率的な運営に努めましたが、まだ課題が山積しており、今後も課題検討が必要との認識を持っています。</p>
<p>②-1 「高台移転プロジェクト検討会」(仮)において、きらり事業所と連携し高台移転について検討します。(会議年4回)</p>	<p>25%</p>	<p>②-1</p> <p>・会議開催は1回のみでしたが、肢体不自由者の避難と防災について考える特別支援学校主催の研修に参加し、障がいを持つ方のリスクの再確認や情報の収集に努めました。</p>
<p>【障がい者支援施設あいのその】</p>		<p>【あいのその】</p>
<p>①-8 就労支援事業収入を増やす方法を考えていきます。</p>	<p>50%</p>	<p>①-8</p> <p>・価格改定：味工房ともやまで製造する昼食弁当の価格改定を行いました。</p> <p>・販路拡大：7月20日から道の駅伊勢志摩での自主製品販売を再開しました。新たに、7月28日からわたせい阿児店での委託販売を開始することができました。</p> <p>・新規自主製品：マスクチェーンを新規で販売メニューに加えました。</p> <p>・新規作業：カネウフーズよりアオサのごみ選別作業、榊福屋より海産物加工品の箱詰め作業の請負を開始しました。</p>

<p>①-9 事業継続計画（BCP）及び新型コロナウイルス感染症発生時におけるBCPを策定します。</p>	<p>50%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・検討した新規事業：現在JAが行っている「船越味噌」の製造販売事業 ・検討中の事業：アコヤガイの貝肉の堆肥化事業とタイアップできないか三重県に打診している状況です。 <p>①-9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原案は、ほぼ完成しています。新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが2類から5類に変わることによる変更等を行い、令和5年度に修正することで正式な発行を予定していきます。
<p>①-10 人事異動や職員の長期休暇など職員体制が不安定な場合でも適切に利用者を支援できるようマニュアルや職員体制の整備を目指します。</p>	<p>20%</p>	<p>①-10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの整備を随時行いました。あいのそのから職員1人、ひかり作業場から職員1人が退職しましたが、それぞれに1人ずつパート職員を新規採用したことにより、利用者支援において落ち着きのある良い環境を提供できるようになりました。
<p>①-11 味工房ともやまの運営を維持するための体制を整備します。</p>	<p>0%</p>	<p>①-11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味工房ともやまの主担当となっている契約職員の年齢は60歳代で、今後の後継者となる職員配置体制の整備が早期に必要となつてきています。事業の在り方とともに協議を継続します。
<p>【障がい者支援施設えりはら】</p>		<p>【えりはら】</p>
<p>①-12 就労支援事業収入を維持し、工賃確保につながるよう作業内容を考えていきます。</p>	<p>75%</p>	<p>①-12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎員が担っていた特定の業務を、常勤職員が担当することにより人件費支出を抑制することができました。 ・材料費の高騰に対応するために、令和4年10月からパン商品の値上げを実施しました。 ・今後、値上げによる買い渋りや顧客離れが心配されますが、原材料費高騰による減収の抑制に期待したいと考えています。 ・内職作業として(株)福屋より海産物加工品の箱詰め作業の請負を開始しました。 ・コロナ禍の影響がありましたが、販売経路を新規に2ヵ所確保できました。
<p>①-13 皇學館大学のCLL活動（「伊勢志摩定住自立共生学」教育プログラムによる地域人材育成）と協働し、手作りパンの製品企画、毎月のフェアパンのチラシのデザイン及び PR動画の企画・作成等を検討</p>	<p>90%</p>	<p>①-13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、毎月のフェアパンの広報活動と、下半期で手作りパンの製品企画を実施しました。 ・販売していく客層の設定と予想を行うことで、実際の売上数とお客様の声及び評価、実際に購入した客層が設定や予想したものであったのかをCLL活動メンバーと確認を行いました。これらのデータを参考にして、改善点や反省点を抽出してCLL活動の総まとめの実績としました。

<p>して実施していきます。</p> <p>①-14 パンの製造販売について、新型コロナウイルス感染症の影響により販売先の数が減少傾向にあるため、新しい販路の確保と売れる新商品の開発に努めます。</p> <p>①-15 職員資質向上を目的とした研修等へ積極的に参加していきます。</p>	<p>70%</p> <p>120%</p>	<p>・令和4年度のCLL活動は終了となりましたが、活動メンバーの7人が全員卒業していくため、今後の活動を引き継いでいく学生の確保が課題となってきております。引き続き、皇學館大学CLL活動の担当者に依頼し活動メンバーを募っていきます。</p> <p>※フェアパン：えりはらにて、毎月、限定販売しているパン</p> <p>①-14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売経路を代々木高校（磯部町夏草）と伊勢市社協（伊勢市八日市）の2カ所拡充することができました。 ・商品開発に関しては、毎月のフェアパン及び焼き菓子やシュトーレンなどの季節や期間限定商品等を開発してきました。また、CLL活動において、皇學館大学生とのコラボパンを2種類程度出品しました。 ・販売先の夏草サロンは、コロナ禍で当日の販売中止もあったため、前日及び当日にサロン担当者へ連絡確認し、パンの売れ残り防止や当日の販売先変更などに随時対応して이었습니다。 <p>①-15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修が主流になったことで、外部研修へ積極的に参加することができました。 <p>外部研修参加状況 参加実績：36回/参加目標回数：30回</p>
---	------------------------	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <p>評価 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業収益は、はばたき・あいのその事業所が令和3年度より増額決算となりましたが、えりはら事業所は約47万円の減額決算となりました。 ・障がい福祉サービス等事業収益は、はばたき事業所のみが令和3年度から減額の決算額となりました。 ・就労系事業所では、あいのその事業所の1事業所のみが、当期利益決算額が黒字となる決算状況となりました。
---------------------------	---

(2) 就労移行支援事業

■目標

①一般企業などへの就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①-1 一般企業などへの就労を希望する人に情報を提供し、企業との面接機会を増やします。</p>	<p>50%</p>	<p>①-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークからの求人案内を利用者全員に周知することで、一般就労へ向けた意識づけを行ってきました。また、利用者にハローワークの求人票を随時閲覧するように促しました。その結果、利用者1人が、4月中旬から市内のA型事業所に移行することができましたが、約1か月程度で体調不良等により退所し、再度本会事業を利用することになりました。

①-2 1日の平均利用者数の目標を2人とします。

51%

①-2 就労支援事業営業実績

・経営状況

	ひまわり (移行)
利用定員	10人
延べ利用者数	273人
[前年比]	-167人
サービス提供日数	266日
1日平均利用者数	1.0人
令和3年度 1日平均利用者数	1.8人
当期利益	-4,431,850円
当期利益増減値 [前年比]	-2,063,676円

・年度別推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
サービス活動収益	3,838,162円	2,986,705円	3,052,648円	5,107,498円	4,138,998円
延べ利用者数	124人	261人	251人	440人	273人
当期利益	2,709,090円	-3,059,626円	-3,319,297円	-2,368,174円	-4,431,850円
当期利益増減値 [前年比]	-5,225,279円	-350,536円	-259,671円	951,123円	-2,063,676円

令和4年度は、実利用者数2人で開始しましたが、1人が退所から再利用となり、令和4年5月に1人が市内のB型事業所に移行となりました。その後、利用者が今後利用する事業所を選択するための短期の利用者（約10日間程度）が年間を通して、就労移行サービスを5人利用しました。なお、令和5年3月末時点での実利用者数は1人となっています。

目標の達成度	・利用登録者数は令和5年3月末時点で1人となりました。市内においては、本会が唯一、就労移行サービスを提供している事業所であるため、短期的な利用者は確保できますが、延べ利用者数を増加させることが困難な状況となってきました。
評価 C	

(3) 就労継続支援A型事業

■目標

①本会と雇用契約を結び、就労の機会を提供するとともに、就労に必要な知識及び能力の向上を目指した支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																		
①-1 牡蠣の販売方法及び販売ルートを開拓します。	50%	①-1 <ul style="list-style-type: none"> ・的矢の牡蠣養殖会社からいただいている貝掃除などの仕事は、令和4年度も引き続きいただくことができました。 ・本会が養殖している岩牡蠣は、三ヶ所の漁協に購入していただくことができました。また、真牡蠣は令和4年11月よりホームページで啓発し販売を開始しました。12月から1月には出荷が最盛期となり、リピーターなどからの多くの注文が寄せられました。3月からは注文が少なくなったことから段階的に販売価格を値下げして販売を継続しました。近隣の社協への営業活動も展開し、新たな販路を開拓することにもチャレンジしました。 																		
①-2 1日の平均利用者数の目標を3人とします。	78%	①-2 就労支援事業営業実績 <ul style="list-style-type: none"> ・経営状況 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>ひまわり (A型)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用定員</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>567人</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-90人</td> </tr> <tr> <td>サービス提供日数</td> <td>241日</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用者数</td> <td>2.4人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度 1日平均利用者数</td> <td>2.7人</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>-3,543,009円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>-2,389,142円</td> </tr> </tbody> </table>		ひまわり (A型)	利用定員	10人	延べ利用者数	567人	[前年比]	-90人	サービス提供日数	241日	1日平均利用者数	2.4人	令和3年度 1日平均利用者数	2.7人	当期利益	-3,543,009円	当期利益増減値 [前年比]	-2,389,142円
	ひまわり (A型)																			
利用定員	10人																			
延べ利用者数	567人																			
[前年比]	-90人																			
サービス提供日数	241日																			
1日平均利用者数	2.4人																			
令和3年度 1日平均利用者数	2.7人																			
当期利益	-3,543,009円																			
当期利益増減値 [前年比]	-2,389,142円																			

・年度別推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
サービス活動収益	8,696,905 円	8,557,877 円	10,142,591 円	10,204,882 円	11,022,590 円
延べ利用者数	546 人	521 人	678 人	657 人	567 人
当期利益	-2,791,694 円	-4,435,834 円	-6,900,219 円	-1,153,867 円	-3,543,009 円
当期利益増減値 [前年比]	-2,791,694 円	-1,644,140 円	-2,464,385 円	5,746,352 円	-2,389,142 円

令和 4 年度は、実利用者数 3 人で開始しましたが、外国籍の利用者 1 人が長期間帰国したことにより、各作業場には就労移行利用者を含めても、それぞれに人員配置することができない状況がありました。

■評価

目標の達成度

評価

C

・利用登録者数は令和 5 年 3 月末時点で令和 3 年度と同様に 3 人となっていますが、利用者 1 人が約 3 ヶ月程度の長期休暇をしていたため、障がい福祉サービス等事業収益は対前年比で減額の結果となりました。

社会福祉法人志摩市社会福祉協議会

〒517-0214 三重県志摩市磯部町迫間 955

TEL 0599-56-1600

FAX 0599-56-1601

E-mail : honsho@shima-fukushikyo.or.jp

<https://shima-fukushikyo.or.jp>